

令和 8 年 第 3 回 定例会
福祉保険委員会資料No.19
令和 8 年 9 月 9 日

2025(令和 7)年度 事業報告書



社会福祉法人

くにたち子どもの夢・未来事業団

設立趣意書

少子高齢・人口減少社会の到来を見据え、次世代社会を担う子どもたちが健やかに成長できる環境を整えるとともに、安心して子育てができる環境づくりを進めていくことが急務となっています。また、急速に進展するICT、AI重視の社会においては、様々なコミュニケーションの形態と可能性が生まれる一方で、人と人の直接的な対話によるつながりの希薄化も危惧されていて、人間の社会性の育ちへの懸念も表明されています。さらに解が一通りではなかったりまだ解の見つかっていない課題が増大することも予想されていて、それらに創造的に解をつくりだし解決していく力を育成することは私たちの焦眉の課題となっています。

国立市はこれまでインクルージョンをキーワードにするまちづくりを進めてきましたが、少子化の進行や家族形態の多様化、地域のつながりの希薄化等は全国と同じように進行しています。これら家族をとりまく環境の変化による世帯の孤立化、格差社会の進行や子どもの貧困の問題など、子どもや子育てをめぐる課題は複雑多様化してきて、ときには深刻化しています。行政のみならず、地域ぐるみで良好な親子関係の形成を支えていく必要性は、今後ますます高まりをみせていくものと思われます。

こうした課題を乗り越えていくためには、多世代・多様な主体がかかわるような地域社会の活性化とそれと連動した子ども育成活動を充実させるとともに、乳幼児からの教育すなわち保育・幼児教育を充実させその質を高めることが肝要です。そうしてこそ貧困の連鎖を断ち切り、安心して子どもを産み育てることのできる環境を創ることができるからです。今世界中で、乳幼児期からの丁寧な関わりによる育ての保障が重視されるようになってきています。幼い頃からの大人との愛着・信頼関係の構築、子どもたちの、自己肯定感の丁寧な育て、そして最後までやり抜こうとする力、他者と対話する力、自分の気持ちを表現しコントロールする力などの「非認知スキル」の育てを乳幼児期から丹念に保障する必要性が急速に高まってきているのです。

私たちは、こうした状況に前向きにそして積極的に対応していきたいと考えています。そのため、この地に新たに「社会福祉事業団」を設立することにいたします。本事業団は、全国に先駆けて国立市が推し進めるソーシャル・インクルージョンのまちづくりの理念の下、その一環として、保育・幼児教育環境を積極的に向上させるべく、必要な調査・研究・実践を熱意をもって行います。そして、子ども一人ひとりが夢と希望を叶え、未来に向かって光り輝き、自立した生活を営むことができるようになることをめざして、次世代育成のまちづくりに貢献し、「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指してまいります。

目次

I	法人全体事業報告	1
1.	法人概要	2
2.	法人組織	3
3.	職員の状況	4
(1)	職員の配置状況	4
(2)	国立市職員の受入状況	5
(3)	職員採用活動の状況	6
(4)	自主研修助成制度の活用状況	6
4.	苦情解決の状況	7
(1)	苦情処理の方法	7
(2)	苦情処理の状況	7
5.	2025（令和7）年度ハイライト	8
II	拠点別事業報告	10
1	本部拠点	10
1-1	理事会・評議員会等の開催状況.....	11
(1)	理事会の開催状況	11
(2)	評議員会の開催状況	12
(3)	評議員選任・解任委員会の開催状況	13
(4)	ハラスメント防止対策委員会の開催状況	13
1-2	監査の実施状況.....	14
(1)	内部監査	14
(2)	外部監査	14
1-3	決算報告及び予算立案の取組.....	15
(1)	2024（令和6）年度決算報告業務	15
(2)	2026（令和8）年度事業計画及び予算立案業務	15
2	矢川保育園拠点	16
2-1	矢川保育園の概要.....	17
2-2	矢川保育園の運営状況.....	18
(1)	開園時間・保育時間	18
(2)	利用料金	18
(3)	福祉サービス第三者評価	18
(4)	2025（令和7）年度の主な保育行事の実施状況	19
(5)	健康診断等の実施状況	22
(6)	地域交流事業の実施状況	22
(7)	保護者懇談会等の実施状況	22
(8)	保育実習生の受入状況	23
(9)	学生ボランティアの受入状況	23
2-3	矢川保育園職員研修の状況.....	24
(1)	園内研修等の実施状況	24
(2)	保育士等キャリアアップ研修の受講状況	25
(3)	個別研修の受講状況	25
(4)	救急救命講習の受講状況	26
2-4	矢川保育園の施設維持管理.....	26
(1)	光熱水費の使用状況	26
(2)	保守点検・業務委託の状況	26

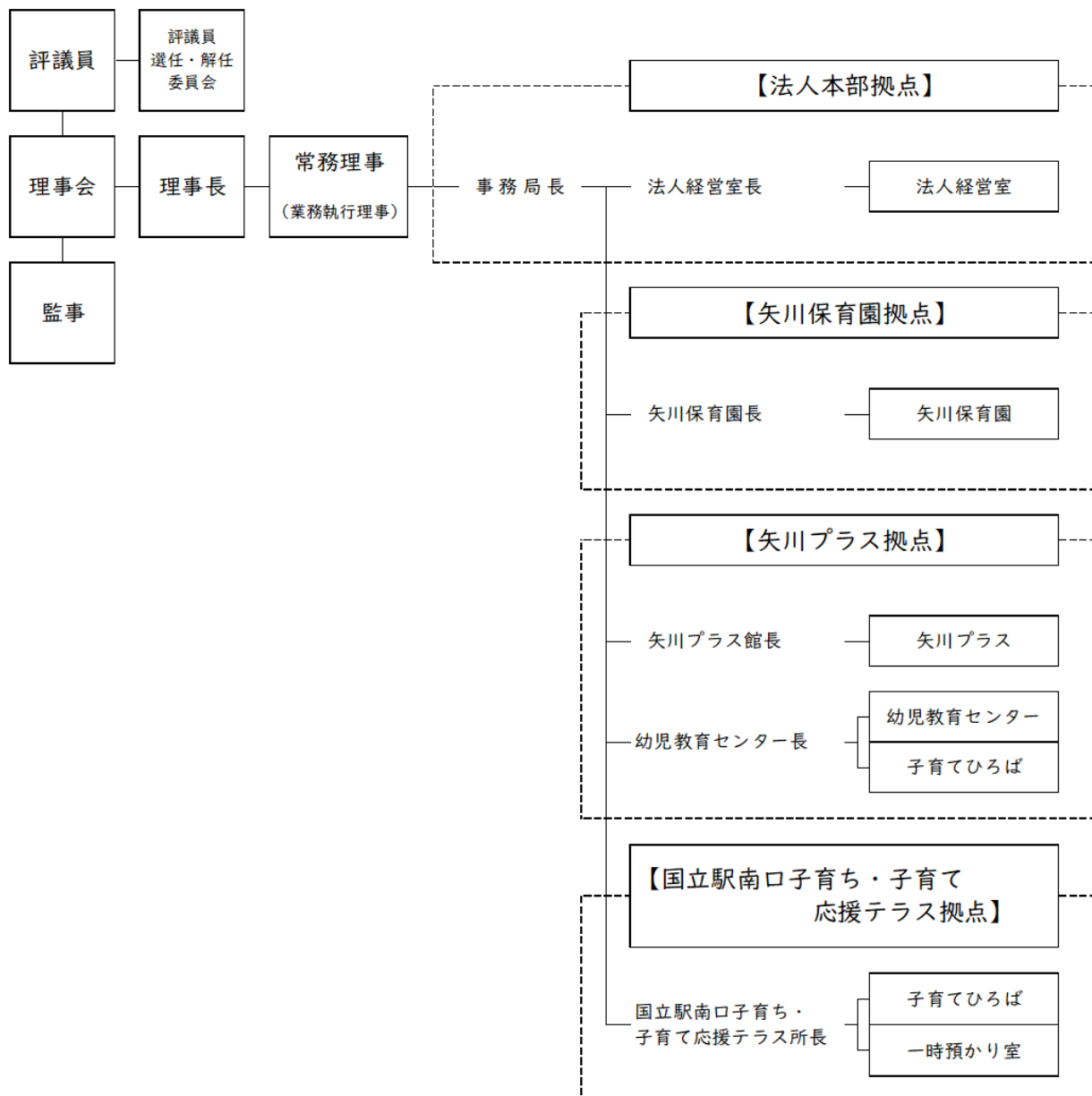
(3) 設備修繕の実施状況	27
(4) 賃貸借の状況	27
3 矢川プラス拠点	28
3-1 矢川プラスの概要	29
(1) 施設の概要	29
(2) 拠点内サービス区分の概要	29
3-2 幼児教育センター（こどもラボ）運営事業	30
(1) 市内幼児教育施設との関係性の強化	30
(2) 大学等研究機関や保育実践現場との共同研究事業	30
(3) 啓発・情報発信事業	31
(4) 研修事業	33
(5) 連携事業	47
(6) 発達支援事業	49
3-3 子育てひろば運営事業	54
(1) 子育てひろば「ここすき」の運営	54
(2) 子育てひろば相談事業	59
(3) 子育て支援講座	61
(4) その他の子育て支援事業	73
(5) ボランティア活動・自主グループづくり	77
3-4 矢川プラス管理運営事業	86
(1) 施設維持管理事業	86
(2) 広報・情報発信事業	88
(3) 施設活用事業	89
(4) イベント調整事業	99
(5) 地域連携事業	106
(6) ユースワーク事業	115
3-5 矢川プラス外部視察の状況	125
4 国立駅南口子育て・子育て応援テラス拠点	126
4-1 国立駅南口子育て・子育て応援テラスの概要	127
(1) 施設の概要	127
(2) 拠点内サービス区分の概要	127
4-2 子育てひろば運営事業	128
(1) ここすきひろばの運営	128
(2) 子育て支援講座等の実施	129
(3) 関係機関との連携	130
(4) 施設管理業務	132
4-3 一時預かり室運営事業	141
(1) ひととき保育室の運営	141

I 法人全体事業報告

I. 法人概要

法人名称	社会福祉法人 くにたち子どもの夢・未来事業団
法人番号	8012805002872
代表者	理事長 汐見 稔幸
設立日	2019（令和1）年9月2日
評議員数	評議員11名（2026年3月31日現在）
役員数	理事10名 監事2名（2026年3月31日現在）
職員数	94名（2026年3月31日現在）※非常勤職員及び市派遣職員を含む
経営理念	くにたち子どもの夢・未来事業団は、ソーシャル・インクルージョンのまちづくりの理念の下、全ての人々が共に生き、子ども一人ひとりが夢と希望を叶え、未来に向かって光り輝き、自立した生活を営むことができるために、乳幼児期からの丁寧な関わりによる育ての保障と子育て家庭の豊かな暮らしにつながる取組を追求します。
基本目標	豊かな子育て環境を創造するため、その源となる自然や地域の文化を重んじ、多世代・多様な主体が関わるような地域社会の活性化とそれと連動した子ども育成活動を充実させるとともに、乳幼児からの保育・幼児教育を充実させ、その質を高めていきます。この取組をもって、次世代育成のまちづくりに貢献し、「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指していきます。
経営方針	① 事業の実施に当たっては、一人ひとりがかけがえのない存在であると認められ、年齢、性、しょうがい、国籍、その他あらゆる事柄に起因する差別を受けることなく、共に暮らせる環境づくりに取り組みます。（基本原則・平等性） ② 子どもの育成を第一に考え、子育て家庭の声を大切に、支援のニーズを的確に把握し実行します。（信頼性・必要性） ③ 施設運営や子育て関連事業の実施に当たっては、安全・安心を心がけ、信頼される運営に努めます。（信頼性・安全性） ④ 地域の共生という視点に立ち、地域の交流と力を大切にして、日頃から地域に根ざした活動をもって、地域全体で子育て家庭を支援する取組を進めます。（公共性） ⑤ 子育て家庭の生活が豊かになるための取組を進めるに当たっては、創意工夫に心がけ、魅力的かつ創造的な取組を先駆的に進めるよう努めます。（発展性・創造性） ⑥ 職員一人ひとりが生きがいをもって安心して働くことができ、組織全体が活性化し発展できる組織風土を造ります。（発展性・効率性）
沿革	【2019（令和1）年】 ・ 8月 国立市より社会福祉法人設立認可を受ける ・ 9月 法人設立（9月2日） 初代理事長に汐見稔幸氏が就任する 【2020（令和2）年】 ・ 4月 ここすき！ひろば事業を開始（2019年度まで国立市実施事業を継承） 【2021（令和3）年】 ・ 2月 矢川保育園竣工 ・ 3月 東京都知事から矢川保育園の児童福祉施設設置認可を受ける ・ 4月 矢川保育園開園（国立市立保育園民営化に伴うもの） 【2022（令和4）年】 ・ 10月 くにたち未来共創拠点矢川プラスの指定管理者として指定を受ける 【2023（令和5）年】 ・ 4月 くにたち未来共創拠点矢川プラス開業（指定管理者として施設運営） 【2024（令和6）年】 ・ 11月 国立駅南口子育て・子育て応援テラスの指定管理者として指定を受ける 【2025（令和7）年】 ・ 7月 国立駅南口子育て・子育て応援テラスの開業（指定管理者として施設運営）

2. 法人組織



3. 職員の状況

(1) 職員の配置状況

事業区分	拠点区分	職 種	2025年4月1日職員数						2026年4月1日職員数					
			合計	正規 (事)	正規 (市)	嘱託 (事)	非常 (事)	派遣 職員	合計	正規 (事)	正規 (市)	嘱託 (事)	非常 (事)	派遣 職員
社会福祉事業	本部	事 務	4	1	2	1			5	2	2	1		
	拠点合計		4	1	2	1			5	2	2	1		
	矢川 保育園	保育士等	34	16	2	7	9		36	20			15	1
		栄養士	2	2					2	2				
		調理員	5			4	1		5			3	1	1
		看護師	1	1					1	1				
		用務員	2			2			2			2		
		その他	3				3		3				3	
		事 務	1			1			1			1		
	拠点合計		48	19	2	14	13		50	23		6	19	2
	国立駅 南口 子育て 応援 テラス	保育士等	4	2		2			11	1		2	8	
		専門職												
		看護師												
		その他	1				1		3				3	
	事 務		1		1				2		2			
	拠点合計		6	2	1	2	1		16	1	2	2	11	
公益事業	矢川 プラス	保育士等	11	1		6	4		12	3		5	4	
		専門職	2	2					2	2				
		看護師	1				1		1			1		
		その他	5				5		5				5	
		事 務	7	2	2	3			8	4	1	3		
	拠点合計		26	5	2	9	10		28	9	1	9	9	
合 計	4拠点	保育士等	49	19	2	15	13		59	24		7	27	1
		栄養士	2	2					2	2				
		調理員	5			4	1		5			3	1	1
		看護師	2	1			1		2	1		1		
		用務員	2			2			2			2		
		専門職	2	2					2	2				
		その他	9				9		11				11	
		事 務	13	3	5	5			16	6	5	5		
	4拠点合計		84	27	7	26	24		99	35	5	18	39	2
	※職員数の欄中、「(事)」は事業団固有職員、「(市)」は国立市派遣職員を表す。 ※定年退職後の再雇用制度による職員がいる場合には正規(事)の欄中に含まれる。 ※嘱託職員・非常勤職員には、1週間当たりの勤務時間数に差異がある。(例:週8時間勤務、週30時間勤務等) ※職種の「栄養士」には管理栄養士,「看護師」には保健師の資格を有する者が含まれる。													

(2) 国立市職員の受入状況

2019（令和1）年9月の法人設立以来、「公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律」及び「公益的法人等への国立市職員の派遣等に関する条例」に基づき、①法人運営にあたる本部職員、②保育士の大幅な入れ替えによる児童への影響を最小限にし、矢川保育園の継続運営にあたる保育園職員、③くにたち未来共創拠点矢川プラスの指定管理業務にあたる事務職員、④国立駅南口子育て・子育て応援テラスの指定管理業務にあたる事務職員として、国立市から派遣職員を受け入れてきました。矢川保育園では、2025年度末をもって、国立市から派遣が可能で5年間（最長）を迎えたことにより、民営化当初から矢川保育園の運営を支えていただいた国立市派遣職員は0人となりました。

これまでの国立市派遣職員の受入状況については下記のとおりです。

①法人本部職員

年	日付	内容	人数	内訳	在籍人数
2019年	9月1日	派遣受入	+2人	事務職+2人	2人
2022年	3月31日	派遣終了	▲1人	事務職▲1人	1人
	4月1日	派遣受入	+1人	事務職+1人	2人
2023年	7月1日	派遣受入	+1人	事務職+1人	3人
2024年	3月31日	派遣終了	▲1人	事務職▲1人	2人
2025年	4月1日	法人内異動	+1人	事務職+1人	3人
	3月31日	普通退職	▲1人	事務職▲1人	2人

②矢川保育園職員

年	日付	内容	人数	内訳	在籍人数
2021年	4月1日	派遣受入	+15人	保育士+13人 保健師+1人 栄養士+1人	15人
	6月30日	普通退職	▲1人	保育士▲1人	14人
2022年	3月31日	派遣終了	▲3人	保育士▲2人 保健師▲1人	11人
2023年	3月31日	普通退職 派遣終了	▲2人 ▲2人	保育士▲4人	7人
2024年	3月31日	派遣終了	▲2人	保育士▲2人	5人
2025年	3月31日	派遣終了	▲3人	保育士▲2人 栄養士▲1人	2人
2026年	3月31日	普通退職 派遣終了	▲1人 ▲1人		0人

③くにたち未来共創拠点矢川プラス職員

年	日付	内容	人数	内訳	在籍人数
2022年	11月1日	派遣受入	+2人	事務職+2人	2人
2023年	4月1日	派遣受入	+1人	事務職+1人	3人
2024年	4月1日	法人内異動	▲1人	事務職▲1人	2人
2025年	4月1日	派遣受入	+1人	事務職+1人	2人
		法人内異動	▲1人	事務職▲1人	
	9月30日	派遣終了	▲1人	事務職▲1人	1人

④国立駅南口子育て・子育て応援テラス職員

年	日付	内容	人数	内訳	在籍人数
2025 年	4 月 1 日	法人内異動	+1 人	事務職+1 人	1 人
	7 月 1 日	派遣受入	+1 人	事務職+1 人	2 人

(3) 職員採用活動の状況

2025 年度途中及び 2026 年 4 月 1 日入職の職員採用並びに派遣会社契約社員の状況は以下のとおりです。

①正規職員採用

拠点区分	職種	採用数
法人本部	事務職	1 人
矢川保育園	保育士	5 人
くにたち未来共創拠点矢川プラス	事務職	2 人

②嘱託職員採用

嘱託職員の新たな採用はありませんでした。

③非常勤職員採用

拠点区分	職種	採用数
矢川保育園	保育士	3 人

④派遣会社派遣契約社員

拠点区分	職種	採用数
矢川保育園	保育士	1 人
	調理員	1 人

(4) 自主研修助成制度の活用状況

職員が業務時間外に自主的に、①職務に関する知識及び技能の習得が期待できる研修、②当法人の課題及び運営の効率化に関する研修、③その他当法人の定款に定める事業の推進に関して参考となる研修を受講した際の受講料を助成する制度。当法人が業務として参加させる研修を除きます。研修内容が上記に合致する場合、受講する費用を支給します。なお、交通費、入会金、資格審査・認定・更新料は除きます。助成金額は、2 万円を上限として実費金額とし、申請は一人年 1 回まですることができます。

拠点	交付決定件数	交付金額
矢川プラス	5 件	65,420 円
矢川保育園	11 件	198,000 円
合計	16 件	263,420 円

4. 苦情解決の状況

(1) 苦情処理の方法

当法人では、社会福祉法第82条に規定されている苦情解決の仕組みとして、「社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団苦情解決に関する規程」を定め、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員を配置して取り組んでいます。矢川保育園においては、苦情解決責任者を園長、苦情受付担当者を主任保育士として、理事長から任命しています。苦情解決第三者委員には、厚生労働省通知において例示されている中から評議員1名、監事1名を充てることとして、理事長から委嘱しています。

また、より中立的に苦情内容を精査するため、国立市オンブズマンと当法人との間で協定を締結し、当法人に対する苦情についても、国立市オンブズマンにおいて調整を行うことが可能となっています。

(2) 苦情処理の状況

① 苦情解決第三者委員

2025(令和7)年度に、苦情解決第三者委員に寄せられた苦情はありませんでした。

※苦情解決第三者委員…藤澤行男氏(評議員・民生委員), 笠井香奈氏(監事・弁護士)

② 国立市オンブズマン

「国立市総合オンブズマン苦情等処理に関する協定書(令和3年3月31日付)」に基づき、国立市総合オンブズマンに寄せられた当法人に係る苦情はありませんでした。

5. 2025（令和 7）年度ハイライト

4月

矢川保育園入園・進級式

幼児教育センター通信『こどもと。』創刊 P31

5月

矢川プラス来館者数延べ70万人突破

ユースワーク事業がスタート P115～

リーダーゼミ開講（全3回）P45

ノーバディ・パーフェクト（NP）プログラムスタート（前後期各6回）P69

6月

矢川保育園 園庭プロジェクトスタート P21

国立テラス プレオープン記念トークイベント

国立駅南口子育て・子育て応援テラスの開業 P126～

7月

矢川プラス音楽の日 のど自慢大会 P102

矢川保育園 タ涼み会 P20

矢川保育園 ほっと子育てカフェ（7月・10月） P23

みんなでデイキャンプ・みんなでコンサート P52

8月

児童館まつり

魔改造ワークショップ P101

矢川プラス来館者数延べ80万人突破

9月

第11回矢川まつりサマーデイズナイト（矢川メルカード商店会主催） P113

子どものせかいラボスタート P72

矢川保育園 親子ふれあいデー P20

10月

学習応援ROOM利用者数延べ1,000人突破 P91

矢川保育園 園内自主研修（清里） P24

保育士等キャリアアップ研修【新規】食育・アレルギー分野スタート P39

介護予防教室特別企画（東京女子体育大学）P107

11月

矢川保育園 矢川元気っこデー P20

市民も参加できる講座『「人間学」としての「保育学」』（全3回）P46

介護予防教室を「たのから体操」に名称変更してリニューアル P106

12月

矢川保育園 ひまわりの日 P21

矢川プラス音楽の日 クリスマスコンサート P104

1月

矢川プラス来館者数延べ90万人突破

NHK Eテレ「すくすく子育て」（星山理事監修）収録 ※2026年4月放映 P31

心が軽くなるお話カフェ（傾聴ボランティアみみずく主催）P110

子育てひろば利用者主体の「（仮）ここすきかいぎ」スタート P55

国立テラス ジャックとダンディがやってくる！ P131

国立テラス えほんのじかん（毎月1回）スタート P130

2月

アフタースクール充実事業「one talk Café」P119

保育士等キャリアアップ研修【新規】保健衛生・安全対策分野スタート P40

国立テラス ほっこり赤ちゃんひろばスタート P129

3月

矢川プラス ボランティア交流会の開催 P81

矢川保育園 卒園式

発達サポーター交流会 P50

Ⅱ 拠点別事業報告

Ⅰ 本部拠点

1-1 理事会・評議員会等の開催状況

(1) 理事会の開催状況

【第1回】

- 日 時 2025（令和7）年6月5日（木）18:00～19:30
 ○会 場 国立駅南口子育て・子育て応援テラス
 ○出席者 理事長，理事8名（欠席1名），監事2名，説明員9名
 ○議 事 ◆業務執行報告
 ◆決議事項

議案番号	議案名（議案の法人名は記載省略）	決議結果
1	2024年度事業報告及び決算の承認について	原案可決
2	次期役員（理事・監事）選任案	原案可決
3	2025年度第1回評議員会の招集について	原案可決

- ◆報告事項
 その他報告

【第2回】

- 日 時 2025（令和7）年6月23日（月）18:45～18:57
 ○会 場 国立駅南口子育て・子育て応援テラス（オンライン会議併用）
 ○出席者 理事長，理事6名（欠席 理事3名），監事2名，説明員7名
 ○議 事 ◆決議事項

議案番号	議案名（議案の法人名は記載省略）	決議結果
4	理事長及び常務理事（業務執行理事）の選任について	以下の者を選出 理事長 汐見 稔幸 常務理事 平 康浩
5	2025年度役員賠償責任保険の加入契約の締結について	原案可決

- ◆報告事項
 その他報告

【第3回】

- 日 時 2025（令和7）年12月12日（金）17:00～19:10
 ○会 場 くになち未来共創拠点矢川プラス1階多目的ルーム
 ○出席者 理事長，理事6名（欠席3名），監事1名（欠席1名），説明員9名
 ○議 事 ◆業務執行報告
 ◆決議事項

議案番号	議案名（議案の法人名は記載省略）	決議結果
6	矢川保育園の短時間勤務職員制度の運用方法の変更及び制度改正について	原案可決
7	短時間勤務職員就業規則の一部改正案	原案可決
8	2025年度補正予算（第1号）案	原案可決

- ◆報告事項
 報告事項Ⅰ 2026（令和8）年度事業計画（素案）について
 その他報告

【第4回】

- 日 時 2026（令和8）年3月3日（火）18:00～20:10
 ○会 場 くにたち未来共創拠点矢川プラス 1階多目的ルーム
 ○出席者 理事長，理事7名（欠席2名），監事2名，説明員11名
 ○議 事 ◆業務執行報告

◆決議事項

議案番号	議案名（議案の法人名は記載省略）	決議結果
9	評議員候補者の推薦について	原案可決
10	評議員選任・解任委員会委員の選任及び解任案	原案可決
11	2025年度第1回評議員選任解任委員会の招集について	原案可決
12	職員就業規則の一部改正について	原案可決
13	職員給与規程の一部改正について	原案可決
14	短時間勤務職員就業規則の一部改正について	原案可決
15	2025年度補正予算（第2号）案	原案可決
16	くにたち未来共創拠点矢川プラスの指定管理に関する基本協定の変更について	原案可決
17	国立駅南口子育て・子育て応援テラスの指定管理に関する基本協定の変更について	原案可決
18	2026年度事業計画案	修正可決
19	定款変更案	原案可決
20	2026年度矢川プラス建物総合管理業務委託契約の締結について	原案可決
21	国立駅南口子育て・子育て応援テラス一時預かり事業運営業務委託の契約変更について	原案可決
22	2026年度予算案	原案可決
23	2025年度第2回評議員会の招集について	原案可決

◆報告事項

その他報告

(2) 評議員会の開催状況

【第1回】

- 日 時 2025（令和7）年6月23日（月）17:00～18:32
 ○会 場 国立駅南口子育て・子育て応援テラス
 ○出席者 評議員11名（欠席なし）
 ○説明員 理事長，理事2名，監事1名，事務局8名
 ○議 事 ◆決議事項

議案番号	議案名（議案の法人名は記載省略）	審議結果
第1号	2024（令和6）年度決算の承認について	原案可決
第2号	次期役員選任案 ※理事10名，監事2名	全員選任

◆報告事項

国立駅南口子育て・子育て応援テラスの取組状況について

◆意見交換

【第2回】

- 日時 2026（令和8）年3月25日（水）18:00～19:55
- 会場 くにたち未来共創拠点矢川プラス1階多目的ルーム
- 出席者 評議員9名（欠席2名）
- 説明員 理事長，理事2名，監事2名，事務局10名
- 議事 ◆報告事項

報告事項Ⅰ 各事業の運営状況について

◆決議事項

議案番号	議案名（議案の法人名は記載省略）	審議結果
第3号	2026（令和8）年度事業計画案	原案可決
第4号	定款変更案	原案可決
第5号	2026（令和8）年度予算案	原案可決

◆報告事項

その他報告

◆意見交換

（3）評議員選任・解任委員会の開催状況

【第1回】

- 日時 書面決議（2026（令和8）年3月12日付）
- 提出者 委員5名全員
- 議題 ◆決議事項

議案番号	議案名（議案の法人名は記載省略）	審議結果
第1号	評議員選任案	原案可決

（4）ハラスメント防止対策委員会の開催状況

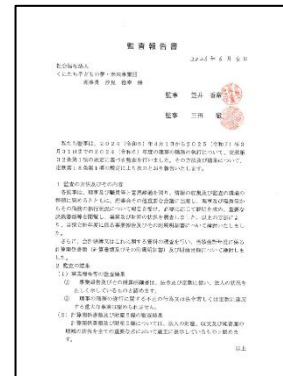
2025（令和7）年度は，ハラスメント防止対策委員会の開催はありませんでした。

1-2 監査の実施状況

(1) 内部監査

①監事決算監査の実施状況

- 日 時 2025（令和 7）年 5 月 23 日（金）
- 場 所 くにたち未来共創拠点矢川プラス スタジオ
- 出席者 監 事 2 名
- 説明員 事務局 3 名
- 内 容 2024 年度事業及び決算に対する監査
※決算書類の確認、理事会等記録、契約書類、
決裁書類等の確認 他
- 結 果 ◇指摘事項はなく、6 月 4 日付で適正である旨
の監査報告書を受領しました。



(2) 外部監査

①社会福祉法人実地検査の実施状況

社会福祉法第 56 条に基づき、認可庁による社会福祉法人実地指導検査があり、理事会等の開催状況、規程の整備状況、会計処理及び固定資産の状況、契約手続き等について検査が行われました。

- 対 象 社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団
- 日 時 2026（令和 8）年 3 月 27 日（金）10 時～16 時
- 場 所 くにたち未来共創拠点矢川プラス
矢川保育園
- 検査員 国立市 4 名（運営担当 3 名、会計経理担当 1 名）
- 説明員 事務局職員
- 結 果 ◇一部会計処理において改善事項がありました。
◇その他、議事録記載方法、規程の引用条文の齟齬、小
口現金の限度額、決算書類の注記の記載方法に対する
口頭による助言がありました。



②保育所施設実地検査の実施状況

児童福祉法第 46 条に基づく認可庁（東京都）による保育所施設実地検査については、2025 年度対象施設とならず、実地検査はありませんでした。

※直近実施日：2021（令和 3）年 12 月 8 日（水）矢川保育園

③補助金等に係る実地調査の状況

国立市が東京都から交付を受けている東京都市町村総合交付金が充当されている施設の実地調査がありました。

- 対 象 ・くにたち未来共創拠点矢川プラス
・国立駅南口子育て・子育て応援テラス
- 日 時 2025（令和 7）年 11 月 14 日（金）
- 場 所 ・くにたち未来共創拠点矢川プラス
・国立駅南口子育て・子育て応援テラス
- 検査員 東京都 3 名（国立市随員 2 名）
- 説明員 事務局職員
- 結 果 ◇指摘事項はありませんでした。

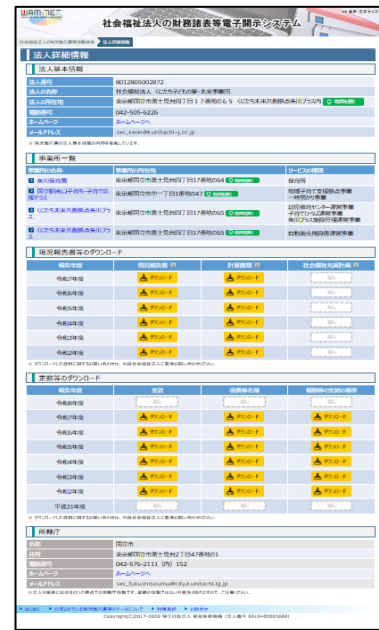
1-3 決算報告及び予算立案の取組

(1) 2024（令和6）年度決算報告業務

2020（令和2）年度から導入した財務会計システムを活用して、効率的に決算業務を進めました。また、事業報告書の作成にあたっては、写真等の掲載も行いながら、わかりやすい報告書の作成に努めました。

決算関係書類については、福祉医療機構の電子開示システムに届出するとともに、法人ホームページ上にも公表しております。

5月23日（金）	監事監査	決算に係る監査
6月5日（木）	第1回理事会	決算の承認
6月23日（月）	第1回評議員会	決算の承認
6月27日（金）	登記	財産総額の変更
6月30日（月）	現況報告書の提出	電子開示システム届出
6月30日（月）	ホームページ公開	ホームページに掲載



▲WAM-NET 公開ページ

(2) 2026（令和8）年度事業計画及び予算立案業務

2025（令和7）年度の各事業の進捗及び予算執行状況並びに新規事業を勘案しながら、2026（令和8）年度予算編成を行いました。予算編成にあたっては、法人運営及び各種事業実施に対して国、東京都、国立市から補助金を受領している関係上、新規補助金の獲得に向けた準備など国立市と綿密な連携のもと取り組みました。

作成した事業計画及び予算については、3月開催の理事会及び評議員会において承認の決議を得ました。また、定款の定めにより、国立市長の承認手続きを行い、2025（令和7）年度事業計画及び予算について承認を得ました。

Ⅱ 拠点別事業報告

2 矢川保育園拠点



2-1 矢川保育園の概要

種別	認可保育所									
所在地	〒186-0003 東京都国立市富士見台 4 丁目 17 番地の 64									
電話	042-575-3177 (FAX 兼用)									
ホームページ	https://yagawa-plus.jp/yagawahoikuen_gaiyou/									
開設日	2021 (令和 3) 年 4 月 1 日 ※国立市からの民間移譲				施設 の 状 況	敷地面積	1,660.02 ㎡ うち屋外遊技場 823 ㎡			
特別保育	延長保育事業, 障害児保育事業					園舎構造	RC 造一部木造 地上 2 階			
利用定員	定員人数		108 人			建築面積	629.98 ㎡			
	内 訳	年齢	クラス名	定員		延床面積	869.09 ㎡			
		0 歳児	ひなぎく	6 人		内 訳	乳児室・ほふく室	95.31 ㎡		
			1 歳児	なでしこ			9 人	保育室	226.63 ㎡	
				すみれ			9 人	遊戯室	150.62 ㎡	
		2 歳児	たんぽぽ	18 人			調理室	34.62 ㎡		
		3 歳児	ちゅうりっぷ	20 人			医務コーナー	3.51 ㎡		
		4 歳児	すずらん	22 人			乳幼児用トイレ	44.09 ㎡		
5 歳児	ひまわり	24 人	その他	314.31 ㎡						
目的	入所する乳児及び幼児に対し、適正な保育・教育を提供することを目的とする									
基本理念	1. ソーシャル・インクルージョンの理念の下、子どもの最善の利益とかけがえない生命を守る 2. 子ども一人ひとりが夢と希望を叶え、未来に向かって光り輝き、自立できる子どもを育成する									
基本方針	1. 生涯にわたる人間形成の基礎を担う重要な乳幼児期に人への安心と信頼を育みます 2. 全身を使って楽しく遊び、食事、睡眠、排泄等の快い生活習慣を身につけていきます 3. 自分の体「命」を大切にし、「自分と同じように大切な仲間」と共感できる心を育てます 4. 人との関わりを通して、一人一人が自分の気持ちや考えを十分に表現できる豊かな心を育てます 5. 保護者・家族の生活を支える一役を担い、地域の子育て家庭や保護者を支援していきます									
園目標	『みんなで 楽しくあそぼう… 明日も！』 ➤ 人と人とのつながりを通して、自分も他人も認め合い、大切にできるように ➤ 遊びは子どもたちの学びそのもの 探究活動を存分に楽しみ、夢中になって友だちと遊ぶ中で、社会性・自分で考え判断する力・創造する力が培われます。 ➤ 今日の友だちとの楽しさを、明日へつなげていけるように									

2-2 矢川保育園の運営状況

(1) 開園時間・保育時間

開園日	月曜日から土曜日まで	
休園日	日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、 年未年始（12月29日～1月3日）	
開園時間	午前7時15分から午後7時15分まで	
保育時間	標準時間認定	午前7時15分から午後6時15分まで
	短時間認定	午前8時30分から午後4時30分まで
延長保育	標準時間認定	午後6時15分から午後7時15分まで
	短時間認定	午後4時30分から午後7時15分まで

(2) 利用料金

保育料 (利用者負担)	保護者が居住する市町村が定める利用料（市が徴収） ※幼児教育・保育の無償化により下記の者は無償となる 2号認定：すべての児童 / 3号認定：市民税非課税世帯の児童		
延長保育料	標準時間認定	午後6時15分～午後7時15分	月極 2,500円/月 スポット 500円/回
	短時間認定	早朝延長 午前7時15分～午前8時30分	500円/回
		午後延長 午後4時30分～午後6時15分	500円/回
		通常延長 午後6時15分～午後7時15分	500円/回
給食費	副食費（3歳児～5歳児クラス） ※3歳児～5歳児クラスで、保育所等に在籍する第3子以降のお子さんや市民税の所得割額が57,700円未満の世帯は給食費（副食費）を免除。		月極 4,500円/月

(3) 福祉サービス第三者評価

東京都福祉サービス評価推進機構の定める福祉サービス第三者評価については、東京都キャリアアップ補助金の交付要件にもなっており、3年に1度の受審が求められているものです。2024（令和6）年度に受審し、結果については東京都福祉ナビゲーションのホームページに公表されています。



福祉サービス第三者評価	
評価結果	令和06年度（2024年度）
法人名称	社会福祉法人くになち子どもの夢・未来事業団
事業所名称	矢川保育園
評価機関名称	公益財団法人 T C P
第三者評価結果の構成	
- 事業者の理念・方針 - 全体の評価結果 - 事業者が特に力を入れている取り組み - 利用者満足結果 - 組織マネジメント分析結果 - サービス分析結果 - 事業者のコメント	

【福ナビホームページ】 <https://www.fukunavi.or.jp/fukunavi/hyoka/search.html>

(4) 2025（令和 7）年度の主な保育行事の実施状況

①保育行事一覧

月日	内容
4 月 1 日（火）	入園式・進級式
5 月 20 日（火）	5 歳児ひまわり組遠足（羽村動物園）
5 月 28 日（水）	4 歳児すずらん組遠足（羽村動物園）
6 月 4 日（水）	3 歳児ちゅうりっぷ組遠足（武蔵国分寺公園）
6 月 17 日（火）	じゃがいも堀り（4～5 歳児クラス）
6 月 18 日（水）	古着交換会（～20 日）
6 月 19 日（木）	交通安全指導
6 月 24 日（火）	お話会（3～5 歳児クラス）
7 月 8 日（火）	笹おくり
7 月 23 日（水）	お祭りごっこ ※異年齢交流（～24 日）
7 月 25 日（金）	夕涼み会
9 月 9 日（火）	5 歳児ひまわり組遠足（六都科学館）
9 月 25 日（木）	引き取り訓練
9 月 27 日（土）	親子ふれあいデー（0～1 歳児クラス親子）
10 月 15 日（水）	3 歳児ちゅうりっぷ組遠足（昭和公園）
10 月 21 日（火）	4 歳児すずらん組遠足（野川公園）
10 月 24 日（金）	保育参観
11 月 1 日（土）	矢川元気っこデー（2 歳児たんぽぽ組～5 歳児ひまわり組）
11 月 5 日（水）	5 歳児ひまわり組さつまいも堀り
11 月 20 日（木）	大根堀り（4～5 歳児クラス）
12 月 5 日（金）	ひまわりの日
12 月 10 日（水）	お餅つき
12 月 13 日（土）	2024（令和 6）年度卒園児同窓会
12 月 16 日（火）	古着交換会（～18 日）
12 月 25 日（木）	お楽しみ会
1 月 13 日（火）	お話ろうそくの会（3～4 歳児クラス）
1 月 15 日（木）	手打ちうどん作り
1 月 21 日（水）	和楽器コンサート
1 月 23 日（金）	「リンゴの話」多摩青果の方
1 月 26 日（月）	はたこうしろう先生のワークショップ（5 歳児クラス）
2 月 12 日（木）	アジさばき（魚に触れてみる）
2 月 18 日（水）	大きくなったお祝い会（3～5 歳児クラス）
2 月 20 日（金）	東保育園との交流（5 歳児クラス）
2 月 27 日（金）	秦好史郎先生ワークショップ（5 歳児クラス）
3 月 4 日（水）	お別れ遠足（三鷹ジブリ美術館）
3 月 7 日（土）	入園説明会
3 月 11 日（水）	お別れ会食
3 月 18 日（水）	お別れパーティ
3 月 21 日（土）	卒園式
※毎月誕生会を実施	

②夕涼み会

7月25日（金）5時30分から乳児クラス・幼児クラスで時間をずらして開催をしました。民営化されて初めての園庭で行う夕涼み会として、園主催で保護者にはお手伝いをしてという形で協力をお願いしました。

焼きそば屋、ヨーヨー釣り、ゲームコーナー、手作りおもちゃ屋、飲み物コーナーなどを用意し、最後には、園庭の隅で花火を行い、帰りには職員の手作り風車を1本ずつ手渡しで渡しました。代々伝わるお神輿を年長クラスが担いだり、園庭で輪になり盆踊りを親子で楽しんだりしました。園庭には提灯を下げたり、職員は法被を着たりでお祭りの雰囲気を盛り上げ、在園児の親子のほぼ全員が参加され、卒園児やご兄弟姉妹の参加もあり、とても賑やかに充実した時間を過ごすことが出来ました。

保育室やホールに焼きそばを食べられるスペースを設けたことで、保護者同士が交流する場ともなり、アンケートでもこの時間が良かったという保護者からの声もきかれました。



③親子ふれあいデー

普段遊んでいるホールを使って、親子での時間をゆっくり楽しむことを目的として、9月27日（土）に親子ふれあいデーを開催しました。0歳児クラス・1歳児クラスの親子で、わらべ歌遊びやふれあい遊び、体を使った遊びを楽しみました。わらべ歌遊びが定着してきていて、大好きな大人の声でその子のリズムに合わせて触れ合いながら遊ぶ様子は、大人との信頼関係がしっかりできていること、その中で子どもたちが一人ひとりその子らしく安心して過ごしている様子が伝わり、また、子どもたちの成長した姿も感じられ、とても心温まる時間になりました。一番は保護者の方々が、ご自分のお子さんだけではなく保育園で共に生活し、遊び、育ち合う子どもたち皆を温かなまなざしで見守っていただいたことが、とても嬉しく感じました。



④矢川元気っこデー（運動会）

今年度のやがわ元気っこデーは、暑さを考慮して昨年よりも日程を1か月程度後倒して、11月1日（土）に2歳児たんぽぽ組から5歳児ひまわり組までが参加して開催しました。

当日は、前日からの雨の影響により全体的にぬかるんでいる状況でしたが、日中は気温も上がり晴れてくるという予報でしたので職員皆7時に出勤し9時からの開始に間に合うように園庭を整え開催することができました。園庭で開催することができたことにより、子どもたちは慣れた場所で、保護者が見てくださっている中で、安心して自分を表現する姿がありました。保護者の方々も限られた空間でしたが、保護者同士が交流し合いながら、子どもたちの成長を喜び合う機会とすることができました。



⑤ひまわりの日

「ひまわりの日」は、5歳児ひまわり組がその1日を自分たちでどう過ごしたいかを考え、関わる大人たちも全力で子ども達の企画を応援して過ごす日です。今年度は12月5日に実施しました。

今年度のひまわり組は、「おまつりごっこ」（ひまわり組を中心にお祭りのイメージでお店屋さんを何店舗か出したり、ゲームコーナーを設定したりして、異年齢で交流する場）と「夕涼み会」がとても楽しかったようで、お祭りの様なイメージで楽しみたいという希望が出ました。また、例年のひまわり組が、好きな場所で午睡をしていたのを見てきていることもあり、テントやネット遊具の中でお昼寝をしたいという希望も出ました。

当日は、谷保駅近くの汽車ポッポ公園に散歩に行き、南武線に乗り矢川駅まで帰る行程であったり、駅から園までの帰り道には、昼食（ラーメンバイキング）夕食（手作りハンバーガー）用の材料を、メルカード商店街で買い物して帰ったりしました。午睡は例年の様に、ホールにテントをいくつも張り寝たり、ネット遊具の中で寝たり、おやつはチョコバナナを手作りして食べました。その後は「担任を探せ！かくれんぼゲーム」2階の保育室・ホールを使い楽しみ、お迎えに見えた保護者とスライドショーで1日を振り返り、花火を見て解散となりました。子どもたちが自分たちで考えたこの一日の活動が、楽しかった経験、思い出としてずっと心に残るものと考えています。

⑥はたこうしろう先生ワークショップ

1月26日に、はた理事を講師としてお迎えし、ワークショップ「世界にひとつだけのへんてこ動物をつくろう！」を開催しました。ひまわり組の子どもたちが参加し、子どもたちの創造力により、ひとつとして同じものがない個性的な動物ができあがりしました。



⑦園庭プロジェクト

東京都の「とうきょう すくわくプログラム補助金」を活用し、子ども達が目を輝かせながら五感を存分に使い遊びこめる園庭・環境づくり」を目標に、職員が話し合いと試行錯誤を重ねながら段階的に整備を進めています。

これまでに園庭や保育室内で使用する机・棚・衝立・黒板などの木製環境物を職員協働で製作・設置し、少人数で落ち着いて遊べる空間や、子どもが自分の遊びを展開しやすい場が少しずつ広がってきました。完成した環境の中で、子どもたちがじっくり関わる姿や遊びが深まる様子も見られ始めています。





12月には築山跡地に丸太で囲った約4m規模の大型砂場を整備しました。新しい砂場に対し、子どもたちは最初「なんだこれ？」の表情から、次第にわくわくの表情に変わり、砂場でダイナミックに遊ぶ姿が生まれました。



実際の子どもの姿や反応を手がかりに「次にどのような環境が必要か」を職員間で検討し、今後も専門家の助言を受けながら、子どもや保護者の声も取り入れつつ、共に環境を育てていくプロジェクトとして継続的に園庭や園内環境の充実を図っていきます。

(5) 健康診断等の実施状況

実施内容	実施日
内科健診	4月22日(火) / 9月16日(火)
耳鼻科健診	5月21日(水)
眼科健診	6月18日(水)
歯科健診	6月12日(木)
口腔衛生指導	6月11日(水) / 11月4日(火)
歯科予防教室	11月13日(木)

(6) 地域交流事業の実施状況

地域交流事業
5月20日(火) / 6月17日(火) / 7月15日(火) / 9月9日(火) / 10月7日(火) / 11月18日(火) / 12月16日(火)

(7) 保護者懇談会等の実施状況

①全体懇談会

懇談会名	実施日
幼児懇談会	5月10日
乳児懇談会	5月31日

②クラス懇談会等

0歳児	1歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
ひなぎく	なでしこ	すみれ	たんぽぽ	ちゅうりっぷ	すずらん	ひまわり
10月24日	10月17日	10月30日	10月28日	11月12日	11月21日	11月18日
2月13日	3月6日	3月6日	3月3日	2月25日	2月27日	2月17日
※幼児個人面談：5月12日（月）～ ※乳児参観：6月4日（水）～／12月9日（火）～ ※幼児参観：11月25日（火）～						

③「ほっと子育てカフェ」

7月19日及び10月11日に汐見理事長と矢川保育園保護者との「ほっと子育てカフェ」を開催しました。矢川保育園からは保護者8名と常勤職員が参加し、汐見理事長からは「AIそしてVUCAの時代における人間のしあわせ」について話題提供があり、その後、保護者からの子育ての疑問や悩みに対し、ご自身のご経験、世界の研究、保育の実践から分かってきていることなど、具体的な相談に対してたくさんのお話頂きました。

保護者からは、父として母としての悩み、夫婦間の基準の違いに関する悩み、子どもがやりたいことを「ダメ」と禁止することへの葛藤、受け止めることと甘やかしの境界線、食事に時間がかかる子の子育ての悩みなど、多様な相談がありました。

(8) 保育実習生の受入状況

保育の専門理論や知識・技術の習得に励む学生の保育実習については、次世代育成を担う保育士を養成する観点から積極的に受け入れをしました。

依頼元（学校等）	実習期間	人数
東京立川こども専門学校	7月 7日～ 7月18日	1名
東京女子体育短期大学	9月 8日～ 9月22日	1名
帝京大学	10月 1日～ 10月15日	1名
東京女子体育短期大学	2月13日～ 2月27日	1名
合 計		4名

(9) 学生ボランティアの受入状況

依頼機関	期間	人数
東京都保育人材・保育所支援センター	7月22日～ 7月23日	1名
東京都保育人材・保育所支援センター	7月29日～ 7月30日	1名
東京都保育人材・保育所支援センター	8月19日～ 8月20日	1名
国立市立国立第一中学校	10月21日～ 10月23日	3名
個人（ドルトン東京学園中等部）	1月6日	1名
合計		7名

2-3 矢川保育園職員研修の状況

(1) 園内研修等の実施状況

年齢発達を理解し、年齢発達にあった保育環境を整備していき保育の質の向上に繋がりたいという意図を大切にとらえ、職員間の共通認識を深め、共に考える機会を設けて、職員皆で学び合ってきました。中でも、園庭については、0歳児から5歳児までの100人を超える園児が在園する園として、子ども達が目を輝かせながら五感を存分に使い遊びこめるような園庭の有り方を継続して学び合いました。

また、他の保育園の施設見学を積極的に行い、様々な実践や保育環境づくり、運営の仕方などを学ぶ機会としています。

①園内研修

月日	研修内容	講師
6月18日(水)	子どもの学びを支える保育環境づくり	高山 静子 氏
7月 4日(金)	発達年齢の合わせたわらべ歌遊びを学ぶ	相京 香世子 氏
9月19日(金)	子どもの遊びと育ちの未来を考える	木村 歩美 氏
10月 4日(土) ～5日(日)	「乳幼児期の育ちを保障する」ための自主研修※	汐見 稔幸理事長
10月17日(金)	わらべ歌研修	相京 香世子 氏
12月12日(金)	乳児を対象とした救命救急(異物除去)	立川消防署員
1月13日(火)	室内環境・園庭環境を考える	井上 寿 氏
3月28日(土)	園庭遊具小型ブランコの製作	井上 寿 氏

◆10月4日～5日の自主研修

清里にあるキープ自然学校で研修を実施し、事務局2名を含む14名が参加しました。

汐見理事長も参加し、1日目は理事長が村長を務める「ぐうたら村」を見学するとともに、夜は理事長も含めてじっくり語り合う時間を設け、保育の根本にある子ども観や、これからの時代に求められる保育の在り方について、対話を通じて理事長の理論や思想に触れ、職員にとって新たな視点を獲得する機会となりました。また、深夜まで職員同士でお互いの保育観について語り合い、自らの実践を省みながら、深く学び合うことができました。



2日目は「キープ自然学校」を中心に、レンジャーの案内による森での体験を通じ、自然の中で身体を動かし、風の音、木々の香り、足裏に伝わる感触といった豊かな体験を通じ、保育者自身が五感を開き、“感じ取る力”を養うことを意識して活動しました。研修を通じ、日々の保育で子どもの感覚世界を尊重し、環境をより丁寧に整える保育実践につなげていきます。



②他保育園施設見学研修

月日	見学施設	内容
6月14日(土)	練馬区豊玉保育園(公設民営)	保育環境等視察
8月30日(土)	鳩の森愛の詩瀬谷保育園	保育環境等視察(園庭環境)
11月29日(土)	松枝保育園	園庭ワークショップ参加

(2) 保育士等キャリアアップ研修の受講状況

研修名	日時	主催者	修了人数
乳児保育	7月25日～12月5日(4日間)	矢川プラス	2名
幼児教育	5月30日～12月2日(5日間)	矢川プラス	2名
障害児保育	10月24日～1月23日(4日間)	矢川プラス	2名
障害児保育	2月7日～2月9日(3日間)	白梅学園大学	1名
食育・アレルギー対応	10月29日～12月23日(4日間)	矢川プラス	3名
保健衛生・安全対策	2月5日～2月19日(3日間)	矢川プラス	2名
保護者支援・子育て支援	6月22日～8月11日(3日間)	矢川プラス	2名
マネジメント	5月16日～10月20日(5日間)	矢川プラス	1名

(3) 個別研修の受講状況

研修名	日時	主催者	受講人数
ベビートイ講座2級	4月5日	オンライン	2名
「子どもへのまなざし」と 「保護者支援」	4月18日	矢川プラス	10名
子どもとの関わり方研修 「子供と対話できる保育者に」	5月9日	矢川プラス	10名
0歳児クラスの保育教室	5月12日～12月1日 (全10回)	子どもの文化学校	1名
2歳児クラスの保育教室	5月13日～12月9日 (全10回)	子どもの文化学校	2名
1歳児クラスの保育教室	5月14日～12月3日 (全10回)	子どもの文化学校	1名
おはなしとわらべうたの教室	5月20日～12月2日 (全8回)	子どもの文化学校	2名
アタッチメント・ベビーマッサージ インストラクター養成講座	5月24日～25日 (全2回)	オンライン	1名
リーダー像の模索 笑顔あふれる園のために	5月28日～7月23日 (全4回)	子どもの文化学校	1名
第17回エデュカーレ 全国読者交流会 in 清里	6月7日～8日 (全2回)	清泉寮	1名
共に育ち合う会	7月19日	矢川プラス	11名
『乳幼児期の発達の土台について ～気になる子の行動から～	2月3日	新宿NSビル	2名
行政説明及び処遇改善等加算に 関する研修会	2月18日	新宿NSビル	1名
医療的ケア児の現状とガイドライン ～園での必要な対応について～	2月25日	オンライン	1名

(4) 救急救命講習の受講状況

講習名	日時	会場	受講人数
上級救命再講習	4月12日(土)	立川防災館	1名
上級救命再講習	7月11日(金)	立川防災館	1名
上級救命再講習	8月22日(金)	立川防災館	1名
上級救命講習	9月26日(金)	立川防災館	1名
上級救命再講習	10月27日(月)	立川防災館	1名

2-4 矢川保育園の施設維持管理

(1) 光熱水費の使用状況

項目	年度	電気	ガス	上下水道	合計
使用量	2025年度	54,301kWh	9,994 m ³	1,552 m ³	
	2024年度	48,916kWh	10,196 m ³	1,706 m ³	
	前年度比	+11.0%	▲2.0%	▲9.0%	
使用料金	2025年度	2,112,601円	1,479,357円	1,131,777円	4,723,735円
	2024年度	1,965,074円	1,545,015円	1,290,451円	4,800,540円
	前年度比	+7.5%	▲4.2%	▲12.3%	▲1.6%
使用用途		電灯/電源/空調	厨房/空調	厨房/水栓	

(2) 保守点検・業務委託の状況

件名	内容	実施頻度
エレベーター保守点検業務委託	エレベーターの保守点検及び法定検査	毎月
消防設備保守点検業務委託	自動火災報知設備や非常用照明等の保守点検	年2回
非常通報装置保守点検業務委託	学校110番の保守点検	毎月
園舎機械警備業務委託	閉園時間帯の機械警備及び非常時対応	毎月
寝具乾燥業務委託	午睡用寝具の毎月の乾燥及び年1回の水洗い	毎月
廃棄物収集・運搬・処分業務委託	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正処分	毎週
害虫防除消毒業務委託	園舎及び園庭の害虫駆除	年2回
園庭整備業務委託	園庭砂場の砂の追加等	年1回
カーテンクリーニング業務委託	園舎内カーテンのクリーニング	年1回
屋内外大型遊具保守点検業務委託	屋外及び園舎内の大型遊具の保守点検	年1回
特定建築物定期報告業務委託	建築基準法第12条の法定報告	3年1回
建築設備定期検査報告業務委託	建築基準法第12条の法定点検(建築設備)	年1回
防火設備定期検査報告業務委託	建築基準法第12条の法定点検(防火設備)	年1回
複合機保守点検業務委託	複合機の保守点検	毎月
職員採用支援業務委託	新規採用職員の専門サイトを活用した募集	1回

(3) 設備修繕の実施状況

件名	内容
エレベーターバッテリー交換修繕	経年劣化したバッテリーの交換
防火シャッター等バッテリー交換修繕	経年劣化したバッテリーの交換
給食室水道止水バルブ修繕	経年劣化したパッキンの交換
給湯器給湯配管パッキン交換修繕	経年劣化した給湯配管のパッキン交換
屋外混合水栓修繕	経年劣化による屋外混合水栓の修理
木製室内遊具修繕	公立園から引き継いだ木製室内遊具の補修
木製建具修繕	木製引戸の開閉不具合の修理
屋内外大型遊具修繕	園舎内及び屋外の大型遊具の安全対策及び補修
ワイヤレスアンプ修繕	公立園から引き継いだアンプの不具合の修理
0歳児室手摺撤去及びロッカー修繕	1歳児室の手すりの撤去及びロッカーの修繕
正面玄関掲示板クロス貼り修繕	正面玄関に掲示板用のクロスを貼付する修繕

(4) 賃貸借の状況

件名	内容
複合機賃貸借	プリント、コピー、FAX機能のある複合機の賃借
無線LAN機器利用	園内内部用LAN機器の利用
保育ICTシステム利用	登降園管理や保護者連絡を有するシステムの利用
園児健康診断滅菌器具レンタル	健康診断で使用する滅菌済器具のレンタル利用

Ⅱ 拠点別事業報告

3 矢川プラス拠点



3-1 矢川プラスの概要

(1) 施設の概要

項目	内容
名 称	くにたち未来共創拠点矢川プラス
所 在 地	国立市富士見台 4 丁目 17 番地の 65
開業年月日	2023（令和 5）年 4 月 1 日
休 館 日	○子育てひろば及び子ども縁側：毎週木曜日 ○全館休館：毎月第 1・第 3 木曜日
延床面積	約 1,900 m ²
施設構成	①児童館 330 m ² ②子育てひろば 230 m ² ③幼児教育センター 150 m ² ④多目的ルーム・スタジオ 230 m ² ⑤共用ホール、とおり土間 960 m ² ⑥多目的ひろば（屋外）1,000 m ² ⑦その他（事務室、倉庫、トイレ等） 660 m ²
業務内容	① 国立市幼児教育センターの運営 ② 子育てひろばの運営 ③ 矢川プラスの施設管理運営

(2) 拠点内サービス区分の概要

サービス区分	内 容
幼児教育センター運営事業	くにたち未来共創拠点矢川プラス内の国立市幼児教育センター（こどもらぼ）の事業として、下記の各事業を実施しています。 ①市内幼児教育施設との関係性の強化（指定管理事業） ②幼児教育に関する調査・研究事業（指定管理事業） ③啓発・情報発信事業（指定管理事業） ④研修事業（自主事業） ⑤連携事業（自主事業） ⑥発達支援事業（自主事業）
子育てひろば運営事業	多世代がつながり育ちあう環境づくりを進め、相談や子育て支援機能を備えるまちに開かれた子育てひろばを運営しています。 ①「ここすきひろば」運営事業（指定管理事業） ②各種子育て相談事業（指定管理事業） ③各種子育て講座事業（指定管理事業）
矢川プラス管理運営事業	くにたち未来共創拠点矢川プラスの施設を適正かつ良好な状態に維持管理するとともに、多世代交流や地域の賑わいを創出する事業として、下記の事業を実施しています。 ①施設維持管理事業（指定管理事業） ②広報・情報発信事業（指定管理事業） ③施設活用事業（指定管理事業） ④イベント調整事業（指定管理事業） ⑤地域連携事業（自主事業）

3-2 幼児教育センター（こどもラボ）運営事業

（1）市内幼児教育施設との関係性の強化

市内全体の保育の傾向と課題・各施設の保育の特色・強み・課題を理解し、信頼関係を構築するとともに、課題解決に向けた研修の企画・情報提供・共同研究等につなげていくことを目的に、市内の私立保育園長会・私立幼稚園長会への定期的な参加や、市内の幼児教育施設への定期的な訪問を行っています。

矢川プラスの多目的ルームで毎月開催される私立保育園長会、また国立音大附属幼稚園で毎月開催される私立幼稚園長会に細田幼児教育センター長が定期的に参加することで、幼児教育センターの活動や新たな研修等の説明を行うとともに、様々な面での意見交換を通じて、関係性の構築に努めてきました。

また、市内の幼児教育施設への定期的な訪問については、2025年度は幼保小連携のスケジュールに合わせて各園を訪問させていただくことで、各園の現在の保育の状況・特色・強み・課題等を理解し、信頼関係を構築するとともに、同時期に園を訪問している小学校の教員に向けて、保育の中の教育的な要素の見方や各園の保育の特色など、小学校教育の土台となる力がどのように育まれているのかを解説し、幼児教育施設と小学校との関係性の強化を仲立ちする役割も果たしてきました。

毎月開催される園長会に参加することで、市内の園の現状や課題を効率的に理解することができ、市内園の共通の課題の1つが多様な発達の子どもたちの保育にあることが把握できました。

この理解と把握を土台にして、こども家庭庁の「地域における保育の質の向上のための体制整備調査研究事業」に応募し採択されたところです。2026年度はこの調査研究事業の枠組みを利用して、市内のすべての園が利用できる、多様な発達の子どもの保育など、難しい保育のケースをサポートできる仕組みの構築へ向けて準備を進めていきます。

また、園訪問した園からは研修のアイデアや保育に関する相談等も寄せられるようになり、保育現場との緊密な連携・協働に向けた関係づくりをより着実に進めることができました。その一つの成果として、不適切保育の防止や保育環境の改善などの園内研修の実施につなげることができました。来年度はより具体的に各園の課題の解決に向けた園内研修の機会を増やせるよう、非常勤の幼児教育アドバイザーを委嘱するなど、地域の保育の質向上のためのより一層の体制整備を進めていきます。

（2）大学等研究機関や保育実践現場との共同研究事業

大学等研究機関や実践現場の保育者・教育者たちと連携して共同研究を進めることにより、市内の保育・教育の課題解決を図るとともに、その取組によって生み出された学術的な知見を市内の実践現場ひいては全国に広めていくことを目的として、共同研究事業を展開しました。

具体的な取組としては、明星大学ラボ（研究代表者：星山麻木先生）のメンバーとして「学校外の子供の多様な学び」に関する東京都の委託研究に参画し、研究結果を5月17日に東京都庁の都民ホールで発表するとともに、実践事例集を作成し、東京都のHPで公開しました。

また、土井晶子先生・堀内亮輔先生ら東京女子体育大学の先生方と共同でおこなった「多様な動きを引き出す園庭環境の研究」については、その成果を論文としてまとめ、東京女子体育大学紀要に掲載しました。

さらに、田園調布学園大学の横尾暁子先生との共同研究「子育てひろばの保護者アンケートの量的分析および質的分析」については、6月27日～29日に開催された日本小児保健協会学術集会において、研究成果についてポスター発表を行ったほか、「子育てひろば通信こすき」においても報告しました。

加えて、市内の保育者自身が主体となって実践研究を深めていくために、保育者有志とともに国立市保育実践研究会の立ち上げに向けた準備を進めました。

共同研究の成果としては、「学校外の子供の多様な学び」に関する研究では、個々の子どもの感覚特性を明らかにする質問紙調査である「SP 感覚プロフィール」による評価を実施するとともに、保護者およびフリースクール関係者へのヒアリングを実施しました。その結果、学校への行きづらさを感じている子どもの多くに感覚の過敏や鈍磨などの感覚特性があることが明らかになり、それが学校への行きづらさの背景にあることがわかりました。その一方で、そうした特性を理解してくれる人がいる人的環境のもとであったり、多様性のある自然環境や古民家のような家庭的環境を利用したりしているフリースクールの物的環境のもとでは、そうした感覚特性が強く表出されることはなく、安心して学び合えることもわかりました。

土井晶子先生・堀内亮輔先生ら東京女子体育大学の先生方と進めてきた共同研究「多様な動きを引き出す園庭環境の研究」については、その研究で得た知見をさらに発展させて社会実装することを目指し、2026（令和8）年度のこども家庭庁が実施する調査研究事業「地域における保育の質の向上のための体制整備事業」に応募し、事業が採択されました。現在は2026（令和8）年度に開始される調査研究の本格的な実施に向けて、準備を進めております。

また、市内の保育者有志と準備を進めてきた「国立市保育実践研究会」については、第1回目の研究会を2026（令和8）年度中に開催できる見通しが立ちました。

（3）啓発・情報発信事業

①幼児教育センター通信『こどもと。』の発行

幼児教育センター通信「こどもと。」を通して、当法人の保育・教育に対する考え方や子どもへの「まなざし」を広く発信し、子どもをまんなかに親子・保育者・教員・地域が手と手を取り合い、保育・教育の質をまちぐるみで向上させていく環境づくりを目指しています。

「こどもと。」は2025年4月に創刊号を発行し、2025年度は第2号までの発行となりましたが、今後も定期的に発行し、幼児教育センターの研究内容や実践の紹介をしていきます。

「こどもと。」の創刊第1号では、汐見理事長の特別インタビュー『オーガニックな保育へ』、細田幼児教育センター長のコラム、2025年度幼児教育センターの研修予定を掲載しました。第2号では、『子どもの「発達」のミカタ：「グレーゾーン」から「虹色の世界」へ』と題して、星山理事のインタビューや、幼児教育センター長のコラム等の記事を掲載しました。「こどもと。」は、国立市内の幼児教育施設、小中学校、児童関係施設などに配布し、ひろばや公共施設等にも配架しています。



②子ども・子育てに関する政策や取組の啓発

（ア）NHK Eテレすくすく子育てへの出演

音楽ムーブメントや発達サポーター養成講座などで矢川プラスの運営を支えていただいている星山麻木理事の監修により、NHK Eテレの子育て番組「すくすく子育て」の収録を2026年1月・2月に矢川プラスで行いました。

4月には、矢川プラスやここすきひろばの普段の様子が放送され、星山理事と一緒に、矢川プラス館長・国立市幼児教育センター長の細田も出演させていただき、「子どもの育ちを支える環境」と「子どもの育ちを支える遊び」をテーマに保護者の疑問にお二人が答える形で2週にわたって放送されました。

引き続き、国立市が推進する子ども政策や、当法人の取組について、様々なメディアを通じて発信してまいります。

①子どもの育ちを支える環境とは	
放送日時	4月4日(土)12時30分
再放送日時	4月9日(木)11時20分
②子どもの育ちを支える遊びとは	
放送日時	4月11日(土)12時30分
再放送日時	4月16日(木)11時20分



(イ)「エデュカーレ」への記事掲載

臨床育児・保育研究会が発行し、汐見理事長が編集長を務める、保育者と親の学び&交流誌「エデュカーレ」3月号に、汐見理事長と細田センター長の対談が収録されました。

対談テーマ「子どもを中心にした21世紀のコミュニティづくり」に対し、矢川プラスや幼児教育センターの実践を紹介しながら、保育・教育についての原理的な話題と、あらゆる世代の人々が希望や幸福を感じて生きられる21世紀のコミュニティづくりについて、汐見理事長と細田幼児教育センター長が大いに語り合った内容が掲載されています。

③外部研修講師派遣事業

子どもを取り巻く環境の重要性を踏まえ、保育環境の質の向上及びより良い施設運営の実現を図るため、他の施設や施設管理者からの依頼に基づき、保育・幼児教育関係職員を対象に専門的知見に基づく研修の講師として、細田直哉幼児教育センター長を派遣しました。

研修実施にあたっては、各依頼者から寄せられた要望に対して下記のような研修テーマを設定し実施しました。

本研修をきっかけに、幼児教育センターへの問い合わせや、新規研修依頼等が増加し、国立市内外における幼児教育センターに対する認知の広がりに関心の高まりが見られました。

◆研修テーマ（抜粋）

- ・保育における環境づくりのポイントを学ぶ
- ・親子の育ちを支える環境づくりのポイントを学ぶ
- ・視点が変われば世界が変わる！子どもの側からみた“保育”と“環境”を学ぶ
- ・子ども・保育者・組織がともに育つ環境：保育の質を高める環境と関わりを学ぶ

◆研修実施状況

実施日時	実施場所	参加人数
4月30日(水)10:00~12:00	くにたち未来共創拠点矢川プラス	12名
6月10日(火)13:30~15:00	裾野市福祉保健会館 (静岡県裾野市)	40名
11月13日(木)9:00~17:00	岡山コンベンションセンター (岡山県岡山市)	120名
1月20日(火)10:00~12:00	くにたち未来共創拠点矢川プラス	20名
1月22日(木)15:00~17:00	くにたち未来共創拠点矢川プラス	37名
2月13日(金)14:00~16:00	TRC 図書館流通センター (東京都文京区)	60名
2月18日(水)13:00~15:00	青梅市役所 (東京都青梅市)	20名

(4) 研修事業

国立市とともに年間研修計画を作成し、その計画に基づいて研修を実施しました。市内の保育士、幼稚園教諭をはじめとして多くの方々に参加いただくことができました。

令和7年度
国立市保育・幼児教育関連職員
年間研修計画

 国立市 子ども家庭部 保育幼児教育推進課
 社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団
国立市幼児教育センター（こどもラボ）

基本方針

保育・教育は、次世代を担う子どもたちが心豊かに生きる力を身につけられるよう、生涯にわたる基礎を培う普遍的かつ重要な役割を担っています。

保育園・幼稚園・認定こども園等の保育・幼児教育施設は、子どもたちが初めて出会う集団生活の場であり、子どもたちの豊かな人間性を培い、一人ひとりに応じた資質や能力をはぐくみ生きる力の基礎を身につけることができるよう、発達段階に応じた保育・教育が求められます。それを実現するため、保育士・幼稚園教諭は資質・専門性の向上を図り、小学校以降の教育に引き継いでいくことが重要となり、各施設の枠組みを越えた連携がこれまでに必要とされています。

また、「保育所保育指針」では、「保育園は、質の高い保育を展開するため、絶えず、一人ひとりの職員についての資質向上および職員全体の専門性の向上を図るよう努めなければならない」と定められています。

これにより、施設長に対する職員の研修の機会の確保等に関する責務や、外部研修の活用の有効性と保育園ごとの保育の課題や各職員のキャリアパス等も見据えて、初任者から管理職員までの職位や職務内容等を踏まえた体系的な研修計画を作成することが必要とされました。また、研修で得た知識や技能を他の職員と共有し、保育園全体としての保育実践の質および専門性の向上につなげることの重要性等が明確に位置付けられています。

幼稚園においては、教育基本法に「自己の崇高な使命を深く自覚し、絶えず研究と修養に励み、その職責の遂行に努めなければならない。」との規定が設けられているとともに、「養成と研修の充実が図られなければならない。」との規定が設けられています。

こうした状況を踏まえ、市では市内全体の保育・幼児教育施設等の職員を対象とした研修を実施し、保育・幼児教育の質および専門性の向上を図っていくため研修計画を策定し実施してまいります。

研修体系												
	キャリアアップ	階層別 職種別	幼保こ合同									市民
園長・施設長		リーダーゼミ	子ども発達サロン	幼保小連携推進研修	「子どもへのまなざし」と「保護者支援」	子どもとの関わり方研修	保育者のための虹色ワークショップ	職場環境向上研修	遊びながら遊びを学ぶ研修（運動あそび・わらべうた）	安全管理研修	発達サポーター養成講座（基礎a）／「人間学」としての保育学	
主任保育士												
副主任保育士や 中堅職員など ミドルリーダー	キャリアアップ研修 マネジメント	キャリアアップ研修 乳児保育／幼児教育／障害児保育／保護者支援・子育て支援 保健衛生・安全対策／食育・アレルギー対応	栄養士研修／ 看護師研修									
1～5年目など フレッシュ職員												

①保育士等キャリアアップ研修

(ア) 乳児保育

【事業目的】

子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育施設に求められている役割も多様化・複雑化する中、保育士の高度な専門性が求められている。そのため、職務内容に応じた保育士等の専門性の向上、リーダー的職員の育成を目的とし、「東京都保育士等キャリアアップ研修」の指定を受けて実施している。

【事業内容】

取り組みたいテーマを設定し、講師による講義・グループワークなどを通し学んだことを園で実践し、成果や課題を持ち寄って学びを深める「往還型研修」で幼児教育について学んだ。

◆研修講師：玉川大学教育学部 教授 岩田 恵子 氏

玉川大学教育学部 講師 上田 よう子 氏

◆募集人数：40 名

【実施日】

第1回 2025（令和7）年 7月25日（金）14：00～17：00

第2回 2025（令和7）年 9月12日（金）14：00～17：00

第3回 2025（令和7）年 10月 3日（金）14：00～17：00

第4回 2025（令和7）年 10月30日（木）14：00～17：00

第5回 2025（令和7）年 12月 5日（金）14：00～17：00

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム

【事業成果】

◆受講者数：第1回：21名、第2回：20名、第3回：20名、第4回：21名

◆修了者数：19名

◆アンケート結果（一部抜粋）

研修内容

非常に良い 80％・良い 15％・普通 0％・やや不満 0％・不満 5％

受講生より「講義型より楽しく、より実践的で良かった」「研修後、自園でも取り組むことが増えた」等の感想があり、グループワークを通して実際に現場で応用し、多くの学びを得た研修となった。



① 保育士等キャリアアップ研修

(イ) 幼児教育

【事業目的】

子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育施設に求められている役割も多様化・複雑化する中で保育士にはより高度な専門性が求められている。そのため、職務内容に応じた保育士等の専門性の向上，リーダー的職員の育成を目的とし、「東京都保育士等キャリアアップ研修」の指定を受けて実施している。

【事業内容】

幼児教育の実践力だけでなく、取り組みたいテーマを設定し、現場で使えるさまざまな手法を体験しながら実際に現場で応用し、その成果から共に学び合う往還型研修を行った。

◆研修講師：和泉短期大学児童福祉学科 教授 松山 洋平 氏

相模女子大学学芸学部 准教授 浅見 佳子 氏

◆募集人数：30 名

【実施日】

第 1 回 2025（令和 7）年 5 月 30 日（金）14：00～17：00

第 2 回 2025（令和 7）年 7 月 18 日（金）14：00～17：00

第 3 回 2025（令和 7）年 9 月 19 日（金）14：00～17：00

第 4 回 2025（令和 7）年 11 月 8 日（土）14：00～17：00

第 5 回 2025（令和 7）年 12 月 2 日（火）14：00～17：00

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム

【事業成果】

◆受講者数：第 1 回：17 名 第 2 回：16 名 第 3 回：16 名 第 4 回：15 名

◆修了者数：15 名

◆アンケート結果(一部抜粋)

研修内容

非常に良い 60%・良い 34%・普通 6%・やや不満 0%・不満 0%

受講生より「自ら課題設定したものを言語化，可視化する機会を得られことが良かった。」

「他園での取り組みはとても興味深く参考になるものがたくさんあり良かった。」等，受講者同士が積極的に意見交換できることで，更に学びが深まる研修となった。



① 保育士等キャリアアップ研修

(ウ) 障害児保育

【事業目的】

子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育施設に求められている役割も多様化・複雑化する中で保育士にはより高度な専門性が求められている。そのため、職務内容に応じた保育士等の専門性の向上，リーダー的職員の育成を目的とし、「東京都保育士等キャリアアップ研修」の指定を受けて実施している。

【事業内容】

発達特性の理解，保育者の関わり，保護者との向き合い方，関係機関との連携等を事例と手段から学び，受講者同士のディスカッションを通して学びを深め合う研修を行った。

◆研修講師：チャイルドフッド・ラボ代表理事 藤原 里美 氏

◆募集人数：30 名

【実施日】

第 1 回 2025（令和 7）年 10 月 24 日（金）13：00～17：00

第 2 回 2025（令和 7）年 11 月 26 日（水）13：00～17：00

第 3 回 2025（令和 7）年 12 月 19 日（金）13：00～17：00

第 4 回 2026（令和 8）年 1 月 23 日（金）13：00～16：00

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム

【事業成果】

◆受講者数：第 1 回：29 名 第 2 回：27 名 第 3 回：27 名 第 4 回：26 名

◆修了者数：26 名

◆アンケート結果(一部抜粋)

研修内容

非常に良い 84％・良い 16％・普通 0％・やや不満 0％・不満 0％

受講生より「現場に寄り添い，実践的な内容でとてもわかりやすかった。」「先生からもらったアイデアや，グループで出たアイデアをクラスで活用できた。」等，藤原先生の事例検討や具体的なアドバイスから多くの学びを得た研修となった。



① 保育士等キャリアアップ研修

(エ) 保護者支援・子育て支援

【事業目的】

子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育施設に求められている役割も多様化・複雑化する中で保育士にはより高度な専門性が求められている。そのため、職務内容に応じた保育士等の専門性の向上，リーダー的職員の育成を目的とし、「東京都保育士等キャリアアップ研修」の指定を受けて実施している。

【事業内容】

保育者の子育てを支え、子育てしやすい地域をつくるための原理を学び、多様なワークに取り組む。

◆研修講師：日本社会事業大学社会福祉学部福祉援助学科准教授 亀崎 美沙子 氏

◆募集人数：30 名

【実施日】

第 1 回 2025（令和 7）年 6 月 22 日（日）10：00～16：00

第 2 回 2025（令和 7）年 7 月 20 日（日）10：00～16：00

第 3 回 2025（令和 7）年 8 月 11 日（金）10：00～16：00

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム

【事業成果】

◆受講者数：第 1 回：20 名 第 2 回：20 名 第 3 回：19 名

◆修了者数：19 名

◆アンケート結果(一部抜粋)

研修内容

非常に良い 80%・良い 15%・普通 0%・やや不満 5%・不満 0%

受講生より「日頃の悩みが分かりやすく言語化されていた。」「保護者支援としての取組が分かりやすく整理されており、今後に生かしていきたい。」等が聞かれた。

毎回提出するレポートで受講者から寄せられた質問や現状への課題に対して、講師より都度回答やアドバイスがあり、最新の知見や知識を得られることができる研修となった。



① 保育士等キャリアアップ研修 (オ) マネジメント

【事業目的】

子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育施設に求められている役割も多様化・複雑化する中で保育士にはより高度な専門性が求められている。そのため、職務内容に応じた保育士等の専門性の向上、リーダー的職員の育成を目的とし、「東京都保育士等キャリアアップ研修」の指定を受けて実施している。

【事業内容】

様々な実践や手法を学び、取り組みたいテーマを設定し、講師による講義・グループワークなどを通して学んだことを園で実践し、成果や課題を持ち寄って学びを深める「往還型研修」を行った。

- ◆研修講師：玉川大学教育学部教授 大豆生田 啓友氏
聖心女子大学現代教養学部教授 高嶋 景子 氏
関東学院大学教育学部准教授 三谷 大紀 氏

◆募集人数：30 名

【実施日】

- 第1回 2025（令和7）年 5月16日（金）14：00～17：00
- 第2回 2025（令和7）年 6月13日（金）14：00～17：00
- 第3回 2025（令和7）年 7月31日（木）14：00～17：00
- 第4回 2025（令和7）年 9月11日（木）14：00～17：00
- 第5回 2025（令和7）年 10月20日（月）14：00～17：00

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム

【事業成果】

- ◆受講者数：第1回：19名 第2回：19名 第3回：18名 第4回：19名 第5回：19名
- ◆修了者数：18名
- ◆アンケート結果(一部抜粋)

研修内容

非常に良い 69%・良い 31%・普通 0%・やや不満 0%・不満 0%

受講生より「何か問題にぶつかった時に自分がどのように考えていけばよいのかの方法等を知ることができたので、これから使っていきたい。」「子ども主体の保育をするためにどう取り組むのかを生で感じられた。」等、受講者が「往還型研修」を通して主体的に取り組み、多くの学びを得た研修となった。



① 保育士等キャリアアップ研修

(カ) 食育・アレルギー対応

【事業目的】

子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育施設に求められている役割も多様化・複雑化する中で保育士にはより高度な専門性が求められている。そのため、職務内容に応じた保育士等の専門性の向上、リーダー的職員の育成を目的とし、「東京都保育士等キャリアアップ研修」の指定を受けて実施している。

【事業内容】

講師による講義・グループワークなどを通し食育に関する理解を深め、適切に食育計画の作成と活用ができる力、アレルギー対応に関する理解等を深める。

◆研修講師：諏訪保育園園長 島本 一男 氏

白梅学園大学教授 林 薫 氏

白梅学園大学名誉教授・小児科医 小林 美由紀 氏

◆募集人数：20 名

【実施日】

第1回 2025（令和7）年10月29日（水）10：00～16：30

第2回 2025（令和7）年12月1日（月）10：00～16：30

第3回 2025（令和7）年12月22日（月）14：00～16：30

第4回 2025（令和7）年12月23日（火）14：00～16：30

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム

【事業成果】

◆受講者数：第1回：14名 第2回：13名 第3回：14名 第4回：14名

◆修了者数：12名

◆アンケート結果(一部抜粋)

研修内容

非常に良い69％・良い31％・普通0％・やや不満0％・不満0％

受講生より「アレルギーの起こる仕組みや、エピペンの使い方、子どもと食に関する考え方が勉強になった。」「すぐに実践できそうな知識が身についた。」「他園の情報交換が出来て良かった」等、受講者同士が積極的に意見交換できることで、更に学びが深まる研修となった。



① 保育士等キャリアアップ研修

(キ) 保健衛生・安全対策

【事業目的】

子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育施設に求められている役割も多様化・複雑化する中で保育士にはより高度な専門性が求められている。そのため、職務内容に応じた保育士等の専門性の向上、リーダー的職員の育成を目的とし、「東京都保育士等キャリアアップ研修」の指定を受けて実施している。

【事業内容】

子どもたちが安心・安全に、そして健やかに育つために保健衛生や安全対策の知識、技術を身に付ける。

◆研修講師：保育の安全研究・教育センター代表 掛札 逸美 氏

聖学院大学人文学部子ども教育学科非常勤講師 並木 由美江 氏

◆募集人数：20 名

【実施日】

第1回 2026（令和8）年 2月 5日（木）10：00～16：00

第2回 2026（令和8）年 2月12日（木）10：00～16：00

第3回 2026（令和8）年 2月19日（木）10：00～16：00

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス（オンライン開催）

【事業成果】

◆受講者数：第1回：18名、第2回：18名、第3回：18名

◆修了者数：18名

◆アンケート結果(一部抜粋)

研修内容

非常に良い82%・良い18%・普通0%・やや不満0%・不満0%

受講生より「知識として学んでいたことも、更に詳しく知ることができ、より理解を深めることが出来た。」「具体的な事例を挙げながら、実際に保育園で活かせるかたちで教えて下さり、とても参考になった。」等、研修テーマに対する理解醸成及び、実践的な知識の習得となる研修となった。またオンライン研修であった為、状況に応じた受講が可能となり、受講者全員が修了できる研修となった。

②幼保こ合同研修

(ア) 幼稚園、保育園、認定こども園等施設職員研修（全４回）

【事業目的】

子ども家庭部と連携し、市内の幼稚園・保育園等の職員を対象とした研修を実施することにより、市内全体で学びを深め、幼児教育環境の更なる向上を目指しました。

【事業内容】

◆第１回：「子どもへのまなざし」と「保護者支援」

講師：コドモノミカタ代表 井桁 容子 氏

募集：50 名

内容：保育の基本である「子どもへのまなざし」を通して、子ども・保護者・保育者が共に育ち合う環境を学び、考える。

◆第２回：関わりの基本を学んで 子どもと対話できる保育者に

講師：元東洋大学 教授 高山 静子 氏

募集：50 名

内容：子ども一人ひとりに合わせた応答的な関わりのヒントや専門職としての「技術」を学ぶ。

◆第３回：保育者のための“虹色”ワークショップ：多様性の理解を職場づくりに生かす

講師：明星大学教育学部 教授 星山 麻木 氏（当法人理事）

募集：50 名

内容：多様性の理解を深めることで、職場のチームワーク向上を目指す。

◆第４回：21 世紀の科学に基づく、保育・子育て：明日から誰でも使える実践法

講師：保育の安全研究・教育センター代表 掛札 逸美 氏

募集：50 名

内容：子どもと関わる上での「科学的な根拠」を学ぶことで、より自信をもち、質の高い保育を目指すことができる研修とする。

【実施日】

第１回 2025（令和 7）年 4 月 18 日（金） 18：00～20：00

第２回 2025（令和 7）年 5 月 9 日（金） 18：00～20：00

第３回 2025（令和 7）年 5 月 16 日（金） 18：00～20：00

第４回 2026（令和 8）年 2 月 27 日（金） 18：00～20：00

【実施場所】

第１回 くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム

第２回 くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム

第３回 くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム

第４回 オンライン受講

【事業成果】

◆受講者数

第１回 73 名（オンライン受講を含む）

第２回 50 名（オンライン受講を含む）

第３回 13 名

第４回 15 名（オンライン受講）

【第1回】アンケートより

「保育士のまなざし一つで子どもにも保護者にも対応や言葉がけが変わるということを知った。」「子どもにとって園で安心できる施設を目指したい」等の声がありました。

【第2回】アンケートより

「子どもとの関わりは技術として習得する専門性であり、何年もかけて学び続けていくことが大切であるということ学んだ。」「乳幼児期の周りの大人の言葉がけがその子どもにとっていかに重要かということが特に印象に残った。」等の声がありました。

【第3回】アンケートより

「園の職員全員が聞いた方が良く思う。」「中学校の先生にも受けて頂きたい。」等の声があり、国立市全体の保育者・教育者に多くの機会提供の必要性が問われました。

【第4回】

事前に受講者より「安全管理や危機対応に対しての保育者間・職員間の連携」の質問を受けており、オンライン研修でありましたが、事例検討を行いながら積極的なディスカッションを行うことが出来た研修となりました。

年度の早い段階で3つの研修を行い、アーカイブ視聴期間も設けたことにより、より現場での意識を高め、新年度のスタートを後押しできた研修であったと考えています。



②幼保こ合同研修

(イ) 保育の質を高めるチームづくり（オンデマンド研修）

【事業目的】

子ども家庭部と連携し、市内の幼稚園・保育園等の職員を対象とした研修を実施することにより、市内全体で学びを深め、幼児教育環境の更なる向上を目指す。

【事業内容】

◆講師：和洋女子大学人文学部 教授 矢藤 誠慈郎 氏

◆内容：保育観の擦り合わせや保育者同士の人間関係に悩む保育現場は多くあることから、この研修では、保育の質が向上する楽しい職場づくりをテーマに、働きやすい職場をつくるための方法や、園内研修の方法を学び、園の円滑な運営と保育の質を高めるための方法を学びました。

【実施日（配信期間）】

2025（令和7）年11月1日（土）～2026（令和8）年3月31日（火）

【実施場所】

オンライン配信

【事業成果】

オンデマンド研修を取り入れ、各園・個人が必要に応じて研修を受講できるようにしたが、受講者数は13名と伸び悩んだ。また、受講者の理解度や学びに対する気づきを直接得ることができないため、オンデマンド研修のあり方についてはどのような方法が最良であるか来年度に向けて検討していきます。

②幼保こ合同研修

(ウ) 子ども発達サロン

【事業目的】

子ども家庭部と連携し、市内の幼稚園・保育園等の職員を対象とした研修を実施することにより、市内全体で学びを深め、幼児教育環境の更なる向上を目指す。

【事業内容】

◆講師：チャイルドフッド・ラボ 代表理事 藤原 里美 氏

◆募集：50 名

◆内容：子どもたちの多様な発達の理解を深め、すべての子どもが安心して楽しく過ごせる環境や関わりを学び合いました。また、各園の事例をもとに具体的な支援方法を考察しました。

【実施日】

第 1 回 2025（令和 7）年 5 月 30 日（金） 18：00～20：00

第 2 回 2025（令和 7）年 6 月 27 日（金） 18：00～20：00

第 3 回 2025（令和 7）年 7 月 25 日（金） 18：00～20：00

第 4 回 2025（令和 7）年 9 月 26 日（金） 18：00～20：00

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム

【事業成果】

◆受講者数：第 1 回 30 名

第 2 回 31 名

第 3 回 32 名

第 4 回 32 名

◆アンケートより

「どうやって子どもを変えようか、という思考から抜け出すきっかけになる研修だと感じた。」「子どもを 1mm も変えないというワードが印象的で私たちがどう保育を工夫していくかが肝心なのだと改めて思わされた。」等の声があった。各園の事例をもとにし、事例検討を行うことで、より現場に即し、学びを深める研修となった。



②幼保こ合同研修

(エ) 遊びながら遊びを学ぶ研修

【事業目的】

子ども家庭部と連携し、市内の幼稚園・保育園等の職員を対象とした研修を実施することにより、市内全体で学びを深め、幼児教育環境の更なる向上を目指す。

【事業内容】

◆第1回：わらべうたで楽しく保育

講師：わらべうた研究家 相京 香代子氏

募集：50名

内容：子どもの発達や反応、季節や場面に合わせ、わらべうたを保育に取り入れる方法を学びました。

◆第2回：子どもとつくる「わくわく運動あそび」

講師：東京女子体育大学子どもスポーツ教育学科 講師 堀内 亮輔 氏

募集：50名

内容：子どもと大人と一緒に運動の楽しさを体験し、子どもたちと「つくる」運動遊びを通して子どもの成長を育む方法を学ぶ。

【実施日】

第1回 2025（令和7）年11月29日（土） 10：00～12：00

第2回 2026（令和8）年 1月27日（火） 15：00～17：00

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム

【事業成果】

◆受講者数：第1回 21名

第2回 8名

【第1回】

実践を通して様々なわらべうたを自身のクラスや子どもたちと照らし合わせながら学び、「もっとわらべうたを取り入れていきたい」等の声が聞かれた。

【第2回】

「実践が多く大変分かりやすかった。」「他の職員に運動のあり方をどう伝えていこうか悩んでいたところだった為、とても参考になった。」等の声があった。運動遊びを通して、身体を動かす楽しさだけではなく、一人ひとりの子どもの意見を尊重し、子ども同士の繋がりも育んでいく実践例が多く、講師にぜひ自園でも研修をして欲しいといった声も上がった。



③リーダーゼミ

【事業目的】

国立市の保育・幼児教育のリーダーが、互いの実践や全国の先進的な実践から学び合うことで、「文教都市くにたち」の基礎となる乳幼児期からの保育・教育の質を高め合い、「教育のまち」としての更なる向上と子育て世代に選ばれるまちの土台づくりを推進する。

【事業内容】

普段なかなか相談できない、園長や主任保育士などのリーダー層の職員が互いの夢や悩みからテーマを設定し、講師の助言や他園の見学から学び合い、自園の取り組みに活かすゼミナール形式の研修を実施した。

◆ファシリテーター

東京大学名誉教授・当法人理事長 汐見 稔幸 氏

国立市幼児教育センター長 細田 直哉 氏

◆対象者

市内幼稚園及び保育施設等職員のうち園長や主任保育士等リーダーを担う職員

【実施日】

第1回 2025（令和7）年 5月22日（木）13：30～15：30

第2回 2025（令和7）年 11月18日（火）13：30～15：30

第3回 2026（令和8）年 2月16日（月）10：00～12：00

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム・こどもラボ／国立音楽大学附属幼稚園

【事業成果】

◆受講者数 24名

第1回・第2回では、前年度見学に行った園の事例について、昨年度参加していない受講者にも共有し検討をおこなったり、各園の取り組みや悩みを検討したりした。第3回では国立音楽大学附属幼稚園の見学を行った。リーダー層の職員ならではの夢や悩みを共有し、園見学を通して自園での取り組みを改めて考える機会となった。

④看護師研修

【事業目的】

子ども家庭部と連携し、市内の幼稚園・保育園等の看護職職員を対象とした研修を実施することにより、市内全体で学びを深め、幼児教育環境の更なる向上を目指した。

【事業内容】

「保育園における看護職の役割とは」をテーマに、専門性を活かした対応を図るために必要なこと、保育の質を高めるために看護師に必要な力とは何かを学んだ。

◆講師：社会福祉法人みくに会 丸子ベビー保育園 宮前 尚子 氏

【実施日】

2026（令和8）年 1月29日（木）13：30～15：00

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム

【事業成果】

◆受講者数：14名

アンケートより、「一人職種で悩むこともあるが、同じ立場の先生から話をしてもらう機会もなかったのが、研修を受けられたことが良かった。」「健康教育の仕方がとても興味深く、勉強になった。」等の声が聞かれた。また、「保育指導の教材や内容について」や「保育士にむけた園内研修の具体的な内容」を知りたいと言った声もあり、同職種の繋がりを深めたり、更なる学びを継続したりといった機会を検討していきたい。

⑤市民も参加できる講座『「人間学」としての「保育学」』（オンラインセミナー）

【事業目的】

子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、大人に求められている役割も多様化・複雑化している。こうした社会的背景から生じる悩みや課題に対し、家庭、学校・保育園等といった特定の組織、枠組みだけで取り組むのではなく、それぞれの垣根を越え、地域・社会全体で、自由に相談や議論できる機会を提供することで、解決に向けた環境構築に寄与することを目的とする。



【事業内容】

- ◆講師：東京大学名誉教授・当法人理事長 汐見 稔幸 氏
国立市幼児教育センター長 細田 直哉 氏
- ◆募集：オンライン開催のため制限なし
- ◆内容：「子ども」という、人間のはじまりであり未来でもある存在から出発し、人間が幸せに生き、幸せに育つ環境をあらゆる学問の知と実践をつないでみんなで考える場としてオンラインセミナーを開催しました。
第1回テーマ：子どもの幸せは、社会の幸せのバロメーター？
第2回テーマ：「人間」と「共感／暴力」
第3回テーマ：「人間」と「言葉／物語」

【実施日】

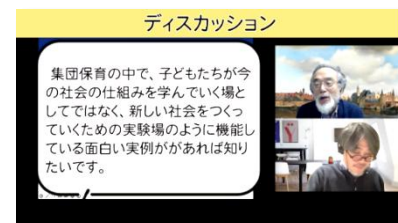
- 第1回 2025（令和7）年11月17日（月）19：00～20：30
- 第2回 2025（令和7）年12月18日（木）19：00～20：30
- 第3回 2026（令和8）年1月19日（月）19：00～20：30

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス（オンライン開催）

【事業成果】

- ◆受講者数：第1回：131名（内、有料参加29名）
第2回：120名（内、有料参加37名）
第3回：99名（内、有料参加32名）



- ◆受講者より、「保育や教育は世界平和を願う活動だということを改めて認識した。」「広く人間観、歴史観に触れた深みのある話であった。」等の声が聞かれた。

100名規模の研修を現地開催することは会場規模や、開催の時間帯からハードルが高いことが想定されるが、オンライン（見逃し配信あり）で開催することによって、より多くの方に受講機会を提供できた。また、本セミナーは国立市外在住の方は有料での参加としていたが、有料でも各回約30名の参加を得ることができ、社会的ニーズに沿ったテーマ設定であったといえる。「人間」としての子どもの育ちにとって本当に大切なことを立場の違いを超えてみんなで議論し合う機会を創出し、「教育のまち国立市」にふさわしい子育て・保育環境をまちぐるみで考え、実現していく気運を醸成することができた。

		第1回	第2回	第3回
チケット区分別販売数		131	120	99
有料		29	37	32
無料		102	83	67
内訳	市内在勤	38	27	29
	市内在住	59	49	31
	市内在学	0	0	0
	子どもが市内在学・通園の保護者	5	7	7

(5) 連携事業

① 幼保小連携推進研修

【事業目的】

子どもの学びと育ちをつなぐため、「主体的、対話的で、深い学び」「個別最適な学びと協働的な学び」に関するチャレンジテーマを各自が設定し、実践事例を持ち寄ることで、子どもの学びと育ちを支える環境を幼保小の種別を超えて専門職同士で学び合う。

【事業内容】

◆内容：取り組みたいチャレンジテーマを各自設定し、実践事例を持ち寄り幼保小の種別を超えて学び合う往還型研修を実施した。

◆講師：玉川大学教授 大豆生田啓友 氏
東海大学准教授 寶来 生志子 氏

◆対象者

第1回：国立市内幼稚園・保育園・認定こども園園長，国立市立小学校校長，
年長クラス担任，1年生クラス担任

第2回：年長クラス担任，1年生クラス担任

第3回：国立市内幼稚園・保育園・認定こども園園長，国立市立小学校校長，
年長クラス担任，1年生クラス担任，一般参加者

【実施日】

第1回 2025（令和7）年5月23日（金）14：30～16：45

第2回 2025（令和7）年6月20日（金）14：30～16：45

第3回 2025（令和7）年8月1日（金）14：30～16：45

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム・みんなのホール

【事業成果】

各自設定したチャレンジテーマに取り組み、幼保小の種別を超えて往還型研修を行ったことで、お互いの理解に繋がった。

第3回のポスター発表会では、保育・教育関係の一般参加者の参加も募り、国立市の取り組みを広く知ってもらうことができた。

◆参加者数：第1回 70名 / 第2回 70名 / 第3回 87名



②ヤクルト教室（国立市・ヤクルト協働事業）

【事業目的】

西都ヤクルト販売株式会社との協働事業として、子育てひろば利用者及び地域の子育てグループにとって有益な催しを開催することにより、子育て支援を進める。

【事業内容】

ヤクルトに所属する保育士による幼児向けミニお楽しみ会、オンライン工場見学会などをヤクルトと矢川プラスが協働して実施し、親子が楽しめる会やものづくりの現場等に、興味や関心をもつ機会を提供しました。

【実施日】

第 1 回	2025（令和 7）年	4 月 11 日（金曜日）	14：00～14：30
第 2 回	2025（令和 7）年	5 月 16 日（金曜日）	14：00～15：00
第 3 回	2025（令和 7）年	6 月 13 日（金曜日）	14：00～14：30
第 4 回	2025（令和 7）年	7 月 25 日（金曜日）	11：00～12：00
第 5 回	2025（令和 7）年	8 月 26 日（火曜日）	11：00～12：00
第 6 回	2025（令和 7）年	9 月 12 日（金曜日）	14：00～14：30
第 7 回	2025（令和 7）年	10 月 10 日（金曜日）	14：00～15：00
第 8 回	2025（令和 7）年	11 月 14 日（金曜日）	14：00～14：30
第 9 回	2025（令和 7）年	12 月 12 日（金曜日）	14：00～14：30
第 10 回	2026（令和 8）年	1 月 16 日（金曜日）	14：00～14：30
第 11 回	2026（令和 8）年	2 月 13 日（金曜日）	14：00～15：00
第 12 回	2026（令和 8）年	3 月 13 日（金曜日）	14：00～14：30

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ・多目的ルーム・みんなのホール

【事業成果】

ミニお楽しみ会は 128 組 216 名の参加があった。ペープサートや手あそび・リズムあそび、簡単工作等を親子で楽しんだ。ハロウィーン、クリスマスの月にはかぼちゃやサンタクロースなどで部屋を飾り、季節感を組み込んで行った。

ヤクルト工場リモート見学会は、65 名の参加があった。オンライン環境が整っており、スムーズに事業を運営できた。ガチャガチャで景品を当てる企画が子どもたちに好評だった。

おなか元気教室は 53 名の参加があった。大きな消化管の模型を使用するなどし、体内の仕組みを分かりやすく理解できるよう工夫されていた。小学生たちからは質問がたくさん出て、活気のある教室となった。



(6) 発達支援事業

①発達サポーター養成講座

【事業目的】

子どもたちのために地域の方のために学びたいという思いを実現し、特別支援に関する基礎的な知識や支援方法を学ぶことにより、子どもたちが共に育ち合う環境を創るきっかけの場とする。

【事業内容】

◆講師：明星大学教育学部 教授 星山 麻木 氏（当法人理事）

◆募集：50 名

◆内容：発達に関する基礎的な知識を学び、グループワークや意見交換、実践を通して多様な子どもたちの発達について理解を深める。

【実施日】

- 第 1 回 2025（令和 7）年 7 月 12 日（土）13：00～15：00
- 第 2 回 2025（令和 7）年 9 月 15 日（月）13：00～15：00
- 第 3 回 2025（令和 7）年 10 月 18 日（土）13：00～15：00
- 第 4 回 2025（令和 7）年 11 月 22 日（土）13：00～15：00
- 第 5 回 2025（令和 7）年 12 月 20 日（土）13：00～15：00
- 第 6 回 2026（令和 8）年 1 月 17 日（土）13：00～15：00
- 第 7 回 2026（令和 8）年 3 月 21 日（土）13：00～15：00

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム

【事業成果】

◆受講者数：第 1 回：44 名 第 2 回：35 名 第 3 回：36 名 第 4 回：35 名
第 5 回：36 名 第 6 回：36 名 第 7 回：38 名

◆修了者数：30 名

◆アンケート結果(一部抜粋)

研修内容 非常に良い 61%・良い 29%・普通 7%・やや不満 3%・不満 0%

受講生より「先生のお話を聴くだけで毎回救われるような時間だった。」「この講座を受けて人生が変わるほどの体験だった。」等、大変好評な講座であった。発達サポーター養成講座 b・c の受講希望も多くあり、継続した学びの機会が期待されている。



②発達サポーター交流会

【事業目的】

発達サポーター養成講座の修了者が認定証を基に学校現場等で活動しているケースは国立市内ではまだなく、修了者へのフォローアップを行うことで、活動の場を広げていくきっかけとする。

【事業内容】

◆講師：明星大学教授教育学部 星山 麻木 氏（当法人理事）

八王子市柏木小学校運営協議委員 三浦 佐知子 氏

◆募集：70 名

◆内容：過去 3 年間の受講者同士の交流を図るだけではなく、実際他の自治体で発達サポーター講座を修了し活動の場を広げた三浦氏による実践例を聴く時間を設け、市内の今後の展望へと繋げる機会とした。

【実施日】

2026（令和 8）年 3 月 21 日（土）15：30～17：00

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム

【事業成果】

38 名の方が参加して開催することができた。三浦氏からは、自身の子育て経験を活かしながら、支援者の輪を広げながら学校と繋がり、地域と繋がった様々な事例が紹介され、話を受けた参加者から、三浦氏が自身の子どもの行動をどのように理解し、学校側の理解を得て環境を替えたか等について、積極的な質疑応答が行われた。

星山氏からも、三浦氏は一緒に助け合う仲間がいたからこそ前向きに取り組み続けられたとの話があり、国立市幼児教育センターの役割として今後も受講者同士の繋がりを育む機会を設定する重要性を再認識した。また、教育委員会教育指導支援課荒西課長より、令和 8 年度のスマイリースタッフ会計年度任用について説明があった。採用要件として、新たに発達サポーター養成講座の修了者が加わることが報告され、修了者が活動を広げることで、市内の教育が大きく前進することが期待される。



③クリエイティブ音楽ムーブメント

【事業目的】

言語を超えたコミュニケーション手段である音楽やリズムを全身で感じ、自分らしく表現する機会をつくる療育的なプログラムである。矢川プラスの特性を活かした多世代交流型として実践を行う。

【事業内容】

様々な教具や民族楽器などを使い、音楽やリズムを全身に感じながら自由に身体を動かし表現活動を行う。

◆講師：明星大学教授 星山 麻木 氏（当法人理事）

◆募集人数：15 組

【実施日】

- 第1回 2025（令和7）年 7月12日（土）10：00～11：30
- 第2回 2025（令和7）年 9月15日（土）10：00～11：30
- 第3回 2025（令和7）年10月18日（土）10：00～11：30
- 第4回 2025（令和7）年11月22日（土）10：00～11：30
- 第5回 2025（令和7）年12月20日（土）10：00～11：30
- 第6回 2026（令和8）年 1月17日（土）10：00～11：30
- 第7回 2026（令和8）年 3月21日（土）10：00～11：30

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス多目的ルーム

【事業成果】

誰もが参加できる音楽プログラムとして開催実施。未就学の親子を始め、地域の高齢者など、幅広い方々の参加があった。リピーターも多く、月に一度の開催を楽しみに継続的に参加する家族の姿も見られた。初めは緊張していた子どもたちも、音楽に触れる中で少しずつリラックスし、自ら体を動かして楽しむ様子が見られるようになった。また、小学生が積極的にプログラムの手伝いに関わったり、自分より年下の子どもとの関わりを楽しむ姿も見られた。さらに、子どもだけでなく大人も音楽に身をゆだねることで気持ちがほぐれ、癒されたと感じる声も聞かれた。こうした関わりを通して、地域の大人と子どもたちが自然に関わり合い、世代を越えたあたたかな交流の場となっていた。

回	参加者数
第1回	46名（17組）
第2回	36名（13組）
第3回	36名（15組）
第4回	36名（15組）
第5回	24名（50組）
第6回	32名（15組）
第7回	32名（13組）



④みんなでデイキャンプ・みんなでコンサート

【事業目的】

明星大学との共催事業として、実施プログラムを通じて、子どもたちの自己理解を促進し、自分の可能性や強みに気づくことで自分らしい生き方を見つけていくことを目指します。

【事業内容】

子どもと保護者，それぞれの気持ちに寄り添いながら，一人ひとりが安心して過ごせる場を設定する。

【実施日】

2025（令和7）年8月24日（日）13:00～15:30

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス
多目的ルーム・みんなのホール

【事業成果】

矢川プラスと明星大学（星山麻木氏）を研究代表者として実施した「令和6年度学校外の子供の多様な学びの場に関する調査研究」に参加した親子のほか，事業に協力した「フリースペースはたけんぼ」の保護者を対象とし，イベントの案内を行った。

イベントは2部制で実施し，第1部は星山麻木氏による保護者座談会のほか，楽器体験等のできるコーナー，制作コーナー，光のコーナーなど，様々な環境を設定し，子どもたち一人ひとりがそれぞれ興味のある遊びを見つけたり，ゆっくりと過ごしたりできる場を用意した。

第2部ではワークショップに参加していない矢川プラス利用者も参加が可能な「みんなでコンサート」を開催した。ダンスや楽器演奏をしたり，前回，学生主導で完成させた「矢川プラスのうた」を参加者全員で歌ったりした。

今後も，フリースクール等の学校外の学びの場・居場所で学ぶ子ども一人ひとりに寄り添った学びを考えていくだけでなく，保護者が安心して過ごせる・話せる居場所づくりを継続的に考えていくことが大切であると感じている。



⑤絵本作家はたこうしろうワークショップ

【事業目的】

子どもたちの豊かな育ちの推進のため、自由な発想や多様な考えをカタチにする経験を提供する。



【事業内容】

◆講師：絵本作家 はたこうしろう 氏（当法人理事）

◆内容：（ア）こどもの日ワークショップ「等身大のわたしを描こう」

こどもの日のイベントとして、参加した子どもたちが絵具を使って、大胆に等身大の自分を描くワークショップを実施した。（募集：35名）

（イ）ハロウィーンワークショップ「世界にひとつのヘンテコぼうしをつくろう」

ハロウィーンのイベントとして、子どもだけでなく、おとなも1人1つずつ自由な発想で世界にひとつのヘンテコぼうしをつくるワークショップを実施した。

（募集：各回 50名）

【実施日】

（ア）2025（令和7）年 5月5日（月）10:00～12:00

（イ）2025（令和7）年 10月19日（日）①10:00～11:30／②13:00～14:30

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム

【事業成果】

（ア）◆参加者数：22組（子ども34名・大人34名）

◆アンケート結果

満足度：大変満足 74%/満足 26%/普通 0%/不満 0%/大変不満 0%/不明 9%

「子どもたちが思いきり心のままに絵を描く機会がもてて良かった。」「大変貴重な経験だった。」などの感想が挙げられた。

また、ダイナミックに絵具を使うことはご自宅ではなかなか出来ない体験であることから、こうした機会があることに対し、とても好評であった。



（イ）◆参加者数：①12組 35名 / ②15組 40名

◆アンケート結果

満足度：大変満足 86%/満足 5%/普通 0%/不満 0%/大変不満 0%/不明 9%

「ことばで表現が難しい、4歳・2歳の子ども達も作品を表現することが楽しめました。」「いつも飽きがちな子どもが熱中して取り組んで良かったです。」「先生も皆ほめてくださり、気持ちよくできました。」などの感想が挙げられた。

おとなも子どもも夢中になって取り組む姿があり、次の開催も望む声も多かった。



3-3 子育てひろば運営事業

(1) 子育てひろば「ここすき」の運営

① 来所者の状況

矢川プラス内の子育てひろばここすきは、土日祝日を含め開室し、毎週木曜日を休業日としています。年間の利用者数について、市内・市外別、年齢別の状況は下記のとおりです。



月	営業 日数	新規 登録 者数	利用 組数	1日 平均 利用 組数	内訳（組数）		内訳（年齢）						
					市内	市外	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	その他 見学等
4月	26	228	2,114	81.3	1,536	578	444	558	371	292	236	206	7
					72.7%	27.3%	21.0%	26.4%	17.5%	13.8%	11.2%	9.7%	0.3%
5月	26	300	1,861	71.6	1,444	417	453	469	309	264	206	160	0
					77.6%	22.4%	24.3%	25.2%	16.6%	14.2%	11.1%	8.6%	0.0%
6月	26	417	2,455	94.4	1,850	605	684	614	416	295	255	190	1
					75.4%	24.6%	27.9%	25.0%	16.9%	12.0%	10.4%	7.7%	0.0%
7月	26	286	2,323	89.3	1,503	820	621	596	375	302	237	190	2
					64.7%	35.3%	26.7%	25.7%	16.1%	13.0%	10.2%	8.2%	0.1%
8月	26	251	2,342	90.1	1,706	636	562	539	417	384	250	189	1
					72.8%	27.2%	24.0%	23.0%	17.8%	16.4%	10.7%	8.1%	0.0%
9月	26	165	2,243	86.3	1,626	617	753	503	361	266	201	132	27
					72.5%	27.5%	33.6%	22.4%	16.1%	11.9%	9.0%	5.9%	1.2%
10月	26	213	2,092	80.5	1,456	636	790	423	330	226	189	131	3
					69.6%	30.4%	37.8%	20.2%	15.8%	10.8%	9.0%	6.3%	0.1%
11月	26	125	1,623	62.4	1,218	405	621	316	253	184	133	115	1
					75.0%	25.0%	38.3%	19.5%	15.6%	11.3%	8.2%	7.1%	0.1%
12月	24	181	1,718	71.6	1,160	558	688	291	251	221	134	133	0
					67.5%	32.5%	40.0%	16.9%	14.6%	12.9%	7.8%	7.7%	0.0%
1月	24	161	1,991	83.0	1,328	663	841	350	310	251	146	91	2
					66.7%	33.3%	42.2%	17.6%	15.6%	12.6%	7.3%	4.6%	0.1%
2月	24	181	1,835	76.5	1,291	544	845	299	253	220	140	78	0
					70.4%	29.6%	46.0%	16.3%	13.8%	12.0%	7.6%	4.3%	0.0%
3月	27	259	2,505	92.8	1,608	897	1,086	401	346	319	200	152	1
					64.2%	35.8%	43.4%	16.0%	13.8%	12.7%	8.0%	6.1%	0.0%
合計	307	2,767	25,102	81.6	17,726	7,376	8,388	5,359	3,992	3,224	2,327	1,767	45
					70.6%	29.4%	33.4%	21.3%	15.9%	12.8%	9.3%	7.0%	0.2%

②ひろば利用者を主体とするプログラム（仮称：ここすきかいぎ）

【事業目的】

「みんなで創る」ことをスローガンに運営する子育てひろばとして、より一層、ひろばを利用する方々に力を発揮してもらうことを目的としています。

【事業内容】

子育てひろばの中で、利用者の声を聴き、ひろば運営に活かすことを主眼に、各回のテーマに対し子育て中の利用者の生の声を聞かせていただいています。子育てひろばの中で声をかけ、参加を呼び掛けて集まっています。利用案内をテーマにした回では、イラストなどの得意な利用者に声をかけ参加していただきました。お互いに子どもを見あいながら、開催しています。

・第1回テーマ：利用案内

ひろばの利用案内をリニューアルするために意見を出し合う。

・第2回テーマ：ブランドブック

国立市のブランドブック作成に向け、子育て当事者の声を聴かせてもらう。

・第3回テーマ：利用案内

・第4回テーマ：授乳室会議

授乳室を使いよく、居心地よくするためのアイデアをもらう。

・第5回テーマ：利用案内

【実施日】

第1回 2026（令和8）年1月25日（日）10：00～11：00

第2回 2026（令和8）年2月3日（火）10：00～11：00

第3回 2026（令和8）年2月9日（月）10：00～11：00

第4回 2026（令和8）年2月20日（金）10：00～11：00

第5回 2026（令和8）年3月3日（火）10：00～11：00

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス

【事業成果】

子育てひろばにおいて、利用者に子育てひろばに関する投げかけをすると、多くの利用者の方が喜んで協力してくださいました。子育ての当事者ならではの意見が多く聴かれ、スタッフが思いつかないことも多くありました。また、利用者の方々は、子育てひろばの役に立つことに対して、とても喜んでいただき、丁寧に考え多くのアイデアを出していただくことができました。子育てひろばに来ていても、共に行動することのなかった人同士がつながる機会にもなったと考えています。2025（令和7）年度に試行的にスタートしましたが、今後も継続して実施していく予定です。

回	テーマ	参加者
第1回	利用案内	3名
第2回	ブランドブック	4名
第3回	利用案内	2名
第4回	授乳室会議	5名
第5回	利用案内	2名

③情報発信

(ア) ひろば通信ここすきの発行

矢川プラスと国立駅南口子育て・子育て応援テラスにある子育てひろばここすきの情報を発信する1つのツールとして、「ひろば通信ここすき」を毎月発行しました。

「ひろば通信ここすき」では、子育てひろばの最新情報、ひろばで行う講座やイベント情報、子育てひろば所長のコラム、絵本や玩具の紹介など子育てに関する様々な情報を掲載しました。



(イ) LINE を活用した子育て情報の発信

ここすきひろばを利用する子育て家庭と継続的につながり、必要な情報を適時に届けることで、子育て・子育てをサポートすることを目的に、それらができるツールとして、LINE 公式アカウントを取得し、「ここすきひろば@くにたち」として2025（令和7）年1月20日より運用を開始しています。

登録者数は、2026年3月31日時点で3,021名となっており、1年間で新規登録者を約2,600名獲得しました。

受講者申込中のセミナーなど、直接ここすきひろば利用者に情報を届けることができたことにより申込者の増加につなげることができました。

なお、国立駅南口子育て・子育て応援テラスここすきひろばについては、LINE 公式アカウントで市外在住者の利用予約を受け付けています。予約受付やキャンセル等もシステム上で完結するため、予約管理における省力化を図ることができています。



(ウ) Instagram を活用した子育て情報の発信

地域の親子に向けたプログラム情報の発信、活動の様子を写真や文章で紹介することで安心感を高め、気軽に立ち寄れる居場所としての子育てひろばを訴求していくため、ここすきひろばではInstagramを活用しています。

現在は、ここすきひろばで開催しているプログラム情報や、ここすきひろばで過ごされる親子の様子を発信しており、現在1,710フォロワーとなっています。

定員を設けないプログラムにいたっては、ストーリーズ機能を使用し、プログラム開催直前の告知を行うことによって、フォロワーからの閲覧が50%から70%に変化し、当日参加も増えました。

今後も、ここすきひろばの利用に繋げるため、ここすきひろばで過ごされる親子の様子や、地域の仲間づくりのきっかけとなる発信を増やしていきます。

④職員研修の状況

(ア) ここすきひろば研修会「パパとここすきひろば」

汐見稔幸理事長を講師に迎え、ここすきひろばで大切にしたいことを再考し、ここすきひろばが時代を生きるための場となり、保護者一人ひとりの存在を認め寄り添い、より質の高い子育て支援を行って場所になっていくことを目的に研修会を開催しました。

子育てひろばで過ごすパパの数は、近年とても増えており、「ここすきひろばをパパ達にとって居心地の良い場所にしたい」「共に子育てする環境をつくっていききたい」というスタッフの思いから、テーマは「パパとここすきひろば」として行いました。

事前にスタッフ間で「パパたちはどんな思いでひろばに来ているかな？」「パパ達が得意なことって何だろう？」「スタッフはどんな風にパパ達と向き合ったら良い？」等、様々な意見を出し合った結果を、研修会当日に汐見理事長に項目ごとにポイントをお伝えし、それに対する講話をいただき、質疑応答により理解を深めました。汐見理事長の講話は、時間や場所を超えて、これまでの家族のあり方の歴史や世界の先進的な取り組みにも及び、スタッフからも、「経済、政治、地方自治の側面からここすきひろばの位置づけや役割を考えるきっかけになった」「ここすきひろばも自由に話し合える場・表現の場として地域の中で機能していけるようでありたい」等の意見がありました。

子どもを取り巻く環境や子育て環境は、時代や政治・経済に大きく影響されることを学ぶとともに、一人ひとりの取り組みが時代を創っていくことを改めて考え、多くの学びを得る研修とすることができました。



(イ) 外部研修

子育てひろばここすきの運営に関わる幼児教育センター及び子育てひろばのスタッフが他の優れた子育てひろば等を運営している施法人を訪れ、実地研修として実際に子育てひろばの運営に入ったり、外部団体が実施している研修に参加したりすることによって、普段とは異なった視点からより良い施設運営について学びを深めました。

【外部研修】

研修名	研修内容	研修日	人数
子育て支援員研修 地域子育て支援拠点事業コース	子育て支援員の資格取得 ※オンデマンド・対面	10月1日(水) ～28日(火)	2人
FSプログラム ファシリテーター	FSプログラムのファシリテーターの資格取得	11月8日(土) ～9日(日)	1人
令和7年度第8回 子育てひろば職員研修	利用者同士の交流と地域のつながりを促進するために 「子どもの貧困・虐待問題と地域に求められる子育て支援」	11月20日(木)	1人

【外部施設実施研修】

実地研修先	研修内容	研修日	人数
どろっぷ・COCO ひよし ・サテライト	見学・実践実習 子育て支援の取組について	4月15日(火)	1人
どろっぷ・出張ひろば (オルタ館)	見学・実践実習 子育て支援の取組について	4月16日(水)	1人
どろっぷ・COCO しのはら ・菊名ひろば	見学・実践実習 子育て支援の取組について	4月17日(木)	1人
どろっぷ	見学・実践実習 子育て支援の取組について	4月18日(金)	1人
どろっぷ・サテライト	見学・実践実習 子育て支援の取組について	4月19日(土)	1人
矢川児童館	実践実習／同施設内かつ利用者が重複する児童館の活動を知る	5月5日(日)	1人
矢川児童館	実践実習／同施設内かつ利用者が重複する児童館の活動を知る	5月9日(金)	1人
バオバブちいさな家保育園	見学実習 乳幼児の育つ環境について	5月12日(月)	2人
矢川保育園	見学実習 乳幼児の育つ環境について	5月26日(月) ～27日(火)	1人
江東区東陽子ども家庭支援センター(東陽みずべ)	見学・実践実習 子育てひろばの原点を学ぶ	5月27日(火) ～29日(木)	2人
江東区東陽子ども家庭支援センター(東陽みずべ)	見学・実践実習 子育てひろばの原点を学ぶ	6月3日(火) ・10日(火) ・11日(水)	1人

(2) 子育てひろば相談事業

①子育て相談

【事業目的】

市内在住の子育て中の保護者が、日頃の悩みや心配事の相談をすることができる身近な相談窓口を提供するとともに、必要な時には専門機関への紹介も行うことで、安心して子育てができる環境を整える。

【事業内容】

- ◆相談内容：市内在住の子育て中の保護者からの子育てに関する相談、保護者の気持ちや家族などの子育て環境に関する相談に対応した。
- ◆相談員：臨床心理士 大豆生田千夏
- ◆募集人数：1回につき、市内在住の子育て中の親子2組（10時からと11時からの2枠）
- ◆応募方法：Google フォーム、電話または来所にて矢川プラスここすきひろばへ申込。

【実施日】

- 第1回 2025（令和7）年4月11日（金）10：00～／11：00～
- 第2回 2025（令和7）年5月9日（金）10：00～／11：00～
- 第3回 2025（令和7）年6月9日（月）10：00～／11：00～
- 第4回 2025（令和7）年7月18日（金）10：00～／11：00～
- 第5回 2025（令和7）年8月6日（水）10：00～／11：00～
- 第6回 2025（令和7）年9月5日（金）10：00～／11：00～
- 第7回 2025（令和7）年10月3日（金）10：00～／11：00～
- 第8回 2025（令和7）年11月7日（金）10：00～／11：00～
- 第9回 2025（令和7）年12月5日（金）10：00～／11：00～
- 第10回 2026（令和8）年1月13日（火）10：00～／11：00～
- 第11回 2026（令和8）年2月6日（金）10：00～／11：00～
- 第12回 2026（令和8）年3月17日（火）10：00～／11：00～

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ

【事業成果】

ここすきひろばにおける臨床心理士による子育て相談は、保護者が日常の延長線上で気軽に専門相談につながるができる点に大きな意義がある。医療機関や相談機関を利用することに心理的なハードルを感じる保護者にとって、普段から親子で利用しているひろばの中で相談機会が設けられることで、困りごとを早期に言葉にしやすくなり、不安や孤立感の軽減につながる。

また、子どもの発達や行動面、保護者自身の育児負担などについて専門的な視点から助言を受けることで、子どもへの理解や関わり方の見直しにつながり、家庭内の安定にも寄与する。さらに、必要に応じて関係機関へつなぐことで、地域の子育て支援体制の入口としての役割も果たしている。10月からはオンラインによる相談も開始し、ひろばに来ることが困難な保護者がより利用しやすい環境を整えた。また3月には国立駅南口子育て・子育て応援テラスにおいても開催し、2拠点による支援を行った。

◆相談件数 25組

回	相談件数	回	相談件数	回	相談件数
第1回	2組	第5回	2組	第9回	2組
第2回	1組	第6回	1組	第10回	3組
第3回	2組	第7回	2組	第11回	2組
第4回	2組	第8回	2組	第12回	4組

②助産師相談

【事業目的】

気軽に集う子育てひろばという場で、助産師から専門的な助言をうけることにより、保護者が安心して自信をもって子育てをしていくことを目的とする。

【事業内容】

◆相談内容：ひろば利用者からの子育てに関する相談、子ども・保護者の身体や心に関する相談対応

◆相談員：助産師 林 優子 氏

◆募集人数：1回につき市内在住の子育て中の親子5組（1組30分）

【実施日】※第2回は実施なし

第1回 2025（令和7）年 4月16日（水）12：45～16：15

第2回 2025（令和7）年 5月21日（水）10：00～13：30※

第3回 2025（令和7）年 6月25日（水）12：45～16：15

第4回 2025（令和7）年 8月20日（水）12：45～16：15

第5回 2025（令和7）年 9月17日（水）12：45～16：15

第6回 2025（令和7）年10月22日（水）10：00～13：30

第7回 2025（令和7）年11月19日（水）14：00～15：00

第8回 2025（令和7）年12月17日（水）12：45～16：15

第9回 2025（令和8）年 1月21日（水）10：00～13：30

第10回 2025（令和8）年 2月18日（水）12：45～16：15

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ（第7回以外）

国立駅南口子育て・子育て応援テラス（第7回）

【事業成果】

担当助産師は矢川プラスオープン前の国立市子ども家庭支援センターの子育てひろばの頃から保護者の様々な悩みに寄り添っていただいている方であり、複数回利用する保護者も多い。母子の心身の相談のほか兄弟関係についての悩みも多く、第1子からよく知る人に対応してもらえる安心感は大きいと思われる。近ごろでは復職に備えての相談も増えており、相談内容は多岐に渡っている。

第7回は、初の試みで「子育てあるあるおしゃべり会」と称し、助産師を交えての座談会を行った。普段あまりひろばを利用しない人の参加もあり、他の人の悩みを聞くことで自分だけじゃないと安心し、アドバイスを共有できて良かったと好評だった。

◆相談件数 43組91名

回	相談件数	回	相談件数
第1回	4組9名	第6回	4組8名
第2回	開催なし	第7回	10組21名
第3回	4組8名	第8回	5組12名
第4回	4組8名	第9回	4組8名
第5回	4組9名	第10回	4組8名

(3) 子育て支援講座

①栄養士講座

【事業目的】

離乳食開始から幼児食への移行期にある子どもを持つ保護者を対象に、離乳食の進め方について見通しを持ち、離乳食にまつわる困りごとを解決し自信をもって子育てできるよう支援する。

【事業内容】

- ◆対 象 者：市内在住のおおむね 6 か月～1 歳 6 か月までの子どもと保護者（第 3 回は父親）
市内在住の 1 歳児とその保護者（第 2 回）
- ◆講 師：鈴木 明子 氏（管理栄養士）
- ◆募集人数：10 組（第 2 回は 15 組）
- ◆講座内容：講師より離乳食の進め方についての概説を聞き、参加者からの質問への回答を共有していきました。第 2 回は座談会形式で実施。第 3 回はパパのための子どもの食事講座として、コンビニなどで買える大人向けの惣菜を子どもも食べられるようにアレンジして塩分調整する方法を実演、父子共に試食を行った。

【実施日】

- 第 1 回 2025（令和 7）年 4 月 15 日（火）10：30～11：30
- 第 2 回 2025（令和 7）年 9 月 8 日（月）10：30～11：30（※）
- 第 3 回 2025（令和 7）年 10 月 4 日（土）10：30～11：30
- 第 4 回 2025（令和 7）年 12 月 2 日（火）10：30～11：30
- 第 5 回 2026（令和 8）年 2 月 3 日（火）10：30～11：30
- ※第 2 回は「ここすき！1 歳あつまれ～栄養士の先生と「食」についてお話ししよう～」として実施。

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラスこどもラボ（第 3 回以外）／多目的ルーム（第 3 回）

【事業成果】

申込の際に子どもの食事についての困りごとや知りたいことを記入してもらうようにしたところ、多彩な悩みや質問が寄せられた。離乳食の進み具合や悩みに合わせた資料が毎回新しく準備され、必要に応じて持ち帰る形としたが、分かりやすい説明と共に大変好評であった。特に 0 歳児が多い回は話しやすいように車座になって講師もその中に入るようにしたところ、母親同士の交流も見られた。第 3 回では講師の調理のデモンストレーションを熱心に見学し、その手軽さや味、子どもがおいしそうに食べる様子に驚く人も多かった。

回	相談件数
第 1 回	7 組 15 名
第 2 回	13 組 26 名
第 3 回	7 組 17 名
第 4 回	9 組 18 名
第 5 回	9 組 18 名
合計	45 組 94 名



▲第 1 回の様子



▲第 3 回の様子（父親向け講座）

②抱っこひも講座

【事業目的】

子どもに危険がなく、大人の身体にも負担のない正しい抱っこひもの使い方を習得してもらうことを目的とする。また、抱っこひも講座への参加をきっかけに、ここすきひろばの存在を知ってもらい利用に繋げる。

【事業内容】

講師からの抱っこひもの装着に関する講話を行うとともに、実際に装着状況の確認やアドバイスを受たり、疑問に感じていることについての質疑応答をしたりする。

◆募集人数：各回 3 組（申し込み状況によって変更あり）

【実施日】

第 1 回	2025（令和 7）年	4 月 16 日（水）	10：00～11：30
第 2 回	2025（令和 7）年	5 月 20 日（火）	13：30～15：20
第 3 回	2025（令和 7）年	6 月 18 日（水）	13：30～15：20
第 4 回	2025（令和 7）年	7 月 15 日（火）	13：30～15：20
第 5 回	2025（令和 7）年	8 月 20 日（水）	10：00～11：30
第 6 回	2025（令和 7）年	9 月 16 日（火）	13：30～15：20
第 7 回	2025（令和 7）年	10 月 15 日（水）	10：00～11：30
第 8 回	2025（令和 7）年	11 月 18 日（火）	13：30～15：20
第 9 回	2025（令和 7）年	12 月 10 日（水）	13：30～15：20
第 10 回	2026（令和 8）年	1 月 20 日（火）	13：30～15：20
第 11 回	2026（令和 8）年	2 月 18 日（水）	10：00～11：30
第 12 回	2026（令和 8）年	3 月 17 日（火）	13：30～15：20

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス ここすきひろば，こどもラボ

【事業成果】

自己流の抱っこひもの付け方に不安を抱く方が多く、抱っこひも講座は毎回キャンセル待ちが出るほど人気の講座である。講師が親切丁寧に一人一人を見て指導。自分の体で実感でき、不安げな表情だった参加者に毎回笑顔が見える。低月齢や新規登録者、パパと一緒に参加の参加者もいて、FS プログラムやパパ向け講座も声がかけやすく、申し込みにつながった。低月齢の時は抱っこで、6 か月頃になるとおんぶのやり方が知りたくて 2 回参加する方も多い。参加者同士も、お互い見合ったりして交流ができる講座である。

回	相談件数	回	相談件数
第 1 回	7 組 19 名	第 7 回	8 組 19 名
第 2 回	5 組 12 名	第 8 回	11 組 23 名
第 3 回	6 組 19 名	第 9 回	5 組 10 名
第 4 回	8 組 19 名	第 10 回	6 組 14 名
第 5 回	7 組 19 名	第 11 回	4 組 8 名
第 6 回	7 組 16 名	第 12 回	7 組 17 名



③安全講座

(ア) 親子のための安全講座

【事業目的】

子どもの事故やけが、急な体調不良に対する応急処置や安全に関する知識について子育て世代の親に伝える。

【事業内容】

- ◆対 象 者：市内在住の未就学の子どもの保護者
- ◆講 師：国立市女性消防団員
- ◆開催回数：全 3 回（同内容。第 2 回は父親対象とし日曜日に開催）
- ◆募集人数：各回 10 組（申込先着順）
- ◆講座内容：講師より誤飲への対処方法、AED の使い方、心臓マッサージのやり方などを説明し、赤ちゃん人形を用いて一人ずつ実践した。

【実施日】

第 1 回 2025（令和 7）年 9 月 9 日（火）10：00～11：00

第 2 回 2025（令和 7）年 11 月 9 日（日）10：00～11：30

第 3 回 2026（令和 8）年 1 月 20 日（火）10：00～11：00

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ

【事業成果】

今年度は特に 0 歳児の親の参加が目立ち、生後 2 か月前後の低月齢の申込も複数あった。従来は子どもが成長して親がヒヤリとするような経験をして参加したという人が多かったが、危険を感じたことはないが早くから万が一に備えたいという意識が伺えた。実技では参加者は講師に質問をしながら皆真剣に取り組んでいた。

今年度は 3 回とも誤飲や転倒等の危険防止のための補足説明用に、誤飲チェッカーとチャイルドビジョンを提供した。どのようなものが誤飲しやすいかおもちゃなどを使って大きさを確認したり、実際にチャイルドビジョンを使って子ども目線で視野の狭さを体験してもらったりしたところ、子どもの特性を具体的に理解することができたと好評だった。

第 2 回は「パパのための安全講座」として日曜に開催したが、実際は母親も一緒に参加する家庭もあり、平日の回では父親が複数参加するなど、安全に対する関心の高さや夫婦一緒に子育てをしたいという姿勢が感じられた。

◆参加者数：第 1 回 9 組 20 名 第 2 回 8 組 18 名 第 3 回 11 組 24 名



◆アンケートより

- ・心臓マッサージや AED の実物を使った練習が出来て良かった。
- ・実際に人形を使って体勢や力加減を知れたのが良かった。
- ・誤飲の時の背中を叩く力は思っていたよりも強く叩かないといけないことに驚いた。

③安全講座

(イ) 親子のための防災講座

【事業目的】

防災に関する知識を学び、日頃の備えや緊急時に家族の安全を守る行動について考え、防災への意識を高める。

【事業内容】

- ◆対 象 者：市内在住の未就学の子どもの親（父親）
- ◆講 師：国立市防災安全課職員・国立市女性消防団員
- ◆開催回数：全 2 回（同内容。第 2 回は父親対象とし土曜日に開催）
- ◆募集人数：各回 10 組(申込先着順)
- ◆講座内容：子育て中だからこそ知っておいてほしい防災の知識や必要な備えなどについての講話を聞き、グループワークなどを通して子どもの月齢などに合わせた「我が家に必要な」備えについて考える機会を持つ。

【実施日】

第 1 回 2025（令和 7）年 6 月 6 日（金）10：00～11：30

第 2 回 2026（令和 8）年 2 月 14 日（土）10：00～11：30

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ

【事業成果】

第 1 回では主に災害の際の避難の流れについて国立市の白地図を用いてシミュレーションしたが、スマホが使えない場合の家族との連絡方法は考えた事がなかった、近くの公衆電話の場所を知らなかったという人がほとんどであった。

第 2 回は「パパのための防災講座」として土曜に開催した。参加者は皆熱心で夫婦での参加も複数見られた。被災の際の「在宅避難」の考え方に戸惑いつつ、真剣に必要な備蓄品やその数量を考えていた。

◆参加者数：第 1 回 9 組 17 名 / 第 2 回 6 組 14 名



◆アンケートより

- ・実際の避難場所や公衆電話の場所を再認識することができた。
- ・赤ちゃん関連で必要な備蓄品が参考になった。
- ・様々な月齢、年齢の子がいて今後の成長の参考になった。防災で気にするポイントが少しずつ異なるのも知れてよかった。
- ・シートに書き出すことで考えるきっかけになった。
- ・トイレ実演が参考になった。簡易トイレの重要性、必要なトイレの数量目安を知ることができてよかった。

④産後ママケア講座

【事業目的】

妊娠および出産で大きく変化する女性の身体(骨盤底筋への影響等)について知り、自身の身体について学ぶことを目的とする。実技を通して弱った身体のメンテナンスを行うとともに、自分の身体の整え方や生活の仕方について学ぶ。また、子育て中の母親たちの出会いの場として交流を図り、ここすきひろばを知ってもらい利用につなげていく。

【事業内容】

- ◆対象者：市内在住で、出産後2か月～6か月までの母親とその子ども
- ◆講師：大林 松乃 氏（理学療法士，ペリネケアアドバイザー）
- ◆募集人数：12組（申込先着順）
- ◆講座内容：講師による講話，実技および参加者同士の交流。産後に緩みやすい骨盤底筋群などの筋肉や臓器について，講師手作りの布製の模型を用いて説明を行うことで，視覚的な理解を促しながらストレッチなどを実践。保育協力員による同室での見守り付き。

【実施日】

2025（令和7）年11月12日（水）14時00分～15時30分

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ

【事業成果】

毎年人気の講座。今回は参加者を月齢の近い4人ずつ3つのグループに分け，保育協力員を1人ずつ配置することで母親が実技を行っている間の子どもの見守りがスムーズにできた。交流を兼ねてペアワークで日常生活での身体の使い方のコツを学んだことで時間短縮にもなり，質疑応答や個別対応に十分な時間をとることができた上，終了時間も遅れずに済んだ。

◆参加者数：12組 23名

◆アンケート結果（回答数12）

【講話】満足12人/まあまあ満足0人/どちらともいえない0人/やや不満0人/不満0人

【全体】満足11人/まあまあ満足1人/どちらともいえない0人/やや不満0人/不満0人



⑤ プレママ・プレパパ講座

【事業目的】

周産期は、心身や生活環境の変化が大きく、孤独を感じやすい時期である。「切れ目ない支援」の重要性が指摘される中、ここすきひろばにおいても、産後のスムーズな利用につなげるための取り組みが必要である。初めての来所時には緊張や不安を感じる方が多いため、産前から利用することで、気軽にひろばへ足を運べるようにすることが目的である。月齢グループのスピノフ会との合流により先輩家庭と繋がり、交流し情報を得る機会とする。

【事業内容】

矢川プラスを知る。参加者や先輩ママと交流し、出産やその後の情報を得たり、赤ちゃんとの生活をイメージしたりする。産後のサポート情報を知り、すぐに利用できるように育児支援サポートの登録をする。

◆募集対象：初産婦とそのパートナー

【実施日】

- 第1回 2025（令和7）年 4月26日（土）10：00～11：30
- 第2回 2025（令和7）年 6月28日（土）10：00～11：30
- 第3回 2025（令和7）年 8月23日（土）10：00～11：30
- 第4回 2025（令和7）年 10月18日（土）10：00～11：30
- 第5回 2025（令和7）年 12月20日（土）10：00～11：30
- 第6回 2026（令和8）年 2月28日（土）10：00～11：30

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ

【事業成果】

プレママ・プレパパひろばの参加者は、とても熱心で出産前に情報を得たいという思いが感じられた。ママが体調悪くて参加できないからと、パパだけの参加もあった。月齢スピノフの先輩ママとの交流もあり、市内の情報や産後ケアなど聞きたいことが直接聞け、産後の不安が解消される良い機会となった。ひろのことを丁寧に説明することができ、マタニティソートや産後のひろばの早期利用になり、FSプログラムの参加につながった。



回	参加者数	回	参加者数
第1回	6名(うちパパ3名)	第4回	5名(うちパパ2名)
第2回	0名	第5回	3名(うちパパ2名)
第3回	2名(うちパパ1名)	第6回	6名(うちパパ2名)



⑥ぱぱラダイス

【事業目的】

父親の育児参加は増え、ここすきひろばも特に週末は父親との利用が多いことから、父親同士、顔見知りを増やすことで、地域で子育てしやすくなることを目的とする。

【事業内容】

父親対象の講座を企画。参加者から父親同士が交流できる場が欲しいとの声があり、後半は自由に交流できるパパのためのひろばを開催。

第1回 「遊びが学びになる？～家庭でもできる環境構成とは？～

第2回 パパのための抱っこひも講座

第3回 子育てあれこれフリートーク～chatPPPに聞いてみよう！～

第4回 「イヤイヤにはわけがある～イヤイヤ期を楽しく乗り越えるヒント

第5回 俺たちの子育てを語ろう

第6回～第12回 パパ同士交流

【実施日】

第1回 2025（令和7）年4月12日（土）10：00～11：30

第2回 2025（令和7）年5月15日（土）10：00～11：30

第3回 2025（令和7）年6月21日（土）10：00～11：30

第4回 2025（令和7）年7月13日（土）10：00～11：30

第5回 2025（令和7）年8月9日（土）10：00～11：30

第6回 2025（令和7）年9月27日（土）10：00～11：30

第7回 2025（令和7）年10月26日（土）10：00～11：30

第8回 2025（令和7）年11月15日（土）10：00～11：30

第9回 2025（令和7）年12月6日（土）10：00～11：30

第10回 2025（令和8）年1月31日（土）10：00～11：30

第11回 2025（令和8）年2月21日（土）10：00～11：30

第12回 2025（令和8）年3月15日（日）10：00～11：30



【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ

【事業成果】

年度当初は、父親対象に専門家から子どもの発達のことや、育児スキルをあげる講座を開催。父親のみならず母親も一緒に話を聞く機会が欲しいとの声や、父親同士もっと交流したいとの声が多く集まったため、講座は別枠に設け、ぱぱラダイスでは父親同士の交流目的を中心に会を開催した。

ひろばや公園で父親を見かけても声をかけにくかったり、話をすることもできないが、ぱぱラダイスでは、限られたスペースの中で親子一緒に過ごすことで、父親同士の会話も弾み、その後公園やひろばで出会った時に挨拶したり、声をかけあえる間柄につながっていた。



回	相談件数	回	相談件数
第1回	10組 26名	第7回	2組 4名
第2回	7組 18名	第8回	2組 4名
第3回	10組 26名	第9回	3組 6名
第4回	9組 23名	第10回	8組 20名
第5回	3組 12名	第11回	8組 16名
第6回	4組 9名	第12回	3組 6名



⑦ほっとひろば

【事業目的】

一人ひとりの子どもが主体的に興味・関心のある遊びに取り組むことができる場を提供し、保護者とともに子どもの様子を見守りながら、個々の特性や強みを一緒に見つけていく。また、参加者同士が安心して交流できる環境の形成を図りながら継続的な支援を見据え、スタッフとの信頼関係の構築を促進する。

【事業内容】

さまざまな家庭が安心して参加できるよう、落ち着いた環境の中で過ごせる場を設定するとともに、日々の子育てにおける負担軽減や保護者の休息につながる場の提供を図る。子ども一人ひとりの様子や興味・関心に応じて主体的に遊び込めるよう環境整備を行うとともに、見守りの下で保護者同士の交流及び情報共有の機会の確保。あわせて、保護者とともに子ども一人ひとりの持つ強みの把握に努めながら、子育てを共に支えていく関わりを行う。

【実施日】

第 1 回	2025（令和 7）年	4 月 22 日（火）	10：00～11：30
第 2 回	2025（令和 7）年	5 月 13 日（火）	10：00～11：30
第 3 回	2025（令和 7）年	6 月 13 日（金）	10：00～11：30
第 4 回	2025（令和 7）年	7 月 8 日（火）	10：00～11：30
第 5 回	2025（令和 7）年	8 月 5 日（火）	10：00～11：30
第 6 回	2025（令和 7）年	9 月 16 日（火）	10：00～11：30
第 7 回	2025（令和 7）年	10 月 17 日（金）	10：00～11：30
第 8 回	2025（令和 7）年	11 月 18 日（火）	10：00～11：30
第 9 回	2025（令和 7）年	12 月 16 日（火）	10：00～11：30
第 10 回	2026（令和 8）年	1 月 27 日（火）	10：00～11：30
第 11 回	2026（令和 8）年	2 月 17 日（火）	10：00～11：30
第 12 回	2026（令和 8）年	3 月 10 日（火）	10：00～11：30

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ

【事業成果】

探求心や好奇心が高い子どもが安心して過ごせる環境の中で、親子一組一組と丁寧に関わる時間を大切にしてきた。その結果、子どもは興味関心に沿って主体的に遊び、意欲を発揮する姿が見られた。また、保護者にとっても悩みや不安を安心して共有できる場となり、親子ともに充実した時間が子どもの育ちへとつながった。さらに、同じ立場の仲間との出会いと交流を通して、子育てに前向きな気持ちや地域のつながりが育まれていった。

回	相談件数	回	相談件数
第 1 回	5 名（2 組）	第 7 回	9 名（3 組）
第 2 回	5 名（2 組）	第 8 回	17 名（7 組）
第 3 回	14 名（6 組）	第 9 回	18 名（7 組）
第 4 回	14 名（6 組）	第 10 回	11 名（5 組）
第 5 回	10 名（4 組）	第 11 回	13 名（5 組）
第 6 回	10 名（5 組）	第 12 回	14 名（7 組）

⑧ノーバディズ・パーフェクト（NP）プログラム

【事業目的】

福祉の先進国カナダで生まれた子育て支援プログラムであるノーバディズ・パーフェクト（NP）プログラムは、参加者がお互いの体験や困りごとを話し合うことによって、孤独感を軽減するものである。そのやり取りの中から、子育てのスキルを高め、自身の長所や能力気づくことによって自信をつけていくことを目的としている。プログラム終了後も参加者同士が子育て仲間としてつながり、地域の中で力を発揮する人材となることが期待できるものである。

【事業内容】

本講座初参加の未就学児の保護者を対象とし、保育を必要とする参加者には別室にて保育を行い（無料）、子どもから離れて大人だけでじっくり話し合う経験を重ねる。安心して話せる場とするために皆で決めた「決まり事」に従い、日頃の困りごとや関心事を出し合い、話し合う事柄も皆で話し合って決める。

ファシリテーターは対等な参加者の１人としてスムーズに進行するよう手助けをしている。必要に応じて、からだ・安全・こころ・行動・親・父親の６冊のテキストを用い、経験学習サイクルのワーク等を通して困り事を自力で解決する力を引き出すようにしている。

◆開催回数：各６回連続講座

◆募集人数：１０組（申込先着順）

【実施日】

◆前期：２０２５（令和７）年５月２０日／２７日／６月３日／１０日／１７日／２４日

◆後期：２０２５（令和７）年１０月７日／１４日／２１日／２８日／１１月４日／１１日

※全て火曜日の１０：００～１２：００

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス多目的ルーム（講座）／こどもラボ（こどもの保育）

【事業成果】

前期は初めて育休中の父親２名の参加があった。普段から子育てに関心を持ち積極的に育児に取り組んでいる父親で、母親の参加者と同じ目線で話し合っていた。母親からは父親側の思いや考えを聞くことで、自分とパートナーとの関係を振り返る良い機会となっていた。大人だけの時間の中で、同じ立場の親同士が思いを共有し、「悩んでいるのは自分だけではない」、「完璧でなくてもよい」と気づき、子育ての孤独感が軽減するとともに、同じ地域で子育てをしている仲間との信頼と地域の繋がりができた。

また、NPプログラムでは、子育てで困ったことを経験学習サイクル等のワークを通して客観的に考え、仲間と意見を共有しながら解決法を導くことで、子育てに対する考えを整理することができるように進めた。

参加者からは「安心できる環境で、育児をしている仲間とじっくり話し合うことができた」、「地域で異年齢の子育て仲間のつながりができた」、「自分と向き合える時間が持て、もっと気楽に子育てを楽しもうと思った」、「他の方にもNPプログラムを是非勧めたい」等の声があり、参加者に充実した事業を提供することができた。終了後もアフターグループとして、仲間のつながりを継続している。

また、保育付きの連続講座で、初めて保育を経験する参加者も多かったが、保育者や子供同士の交流を通して、社会とつながる第一歩の経験とすることができた。

◆参加者数

前期 １０組（保育利用 １０名）

後期 １０組（保育利用 ９名）

⑨FS プログラム 赤ちゃんと創る私の家族～はじめての一步～

【事業目的】

FSにはFamilyStart, FirstStep, FamilySupportの意味が込められている。カナダの「ノーバディズ・パーフェクト（NP）プログラム」の理念と手法のもと、外出が難しく孤立した子育てになりやすい生後2～5か月の第1子の親子を対象とし、初めての赤ちゃんを迎えた親が新しい家族の形を創っていく“はじめての一步”を支える。長期的には子育てを通して地域の家族がつながり、地域の子育て環境が豊かになることを目的とする。

【事業内容】

◆講座内容：親主導の参加型プログラム。ファシリテーターは親から出されたニーズを尊重し、また毎回の振り返りの際に出た意見などを柔軟に反映させて次回の話し合いのテーマを設定する。NPのテキストに依拠した親用テキストを用い、この時期の赤ちゃんとの遊びや接し方などを他の参加者とともに学び合いながら、初めての子育てへの不安を解消し、同じ地域に住む子育て仲間としての支え合いの関係を築く。

◆対象者：市内在住の生後2～5か月までの第1子の赤ちゃんとも親

1期：2024（令和6）年12月13日～2025（令和7）年4月1日生まれ

2期：2025（令和7）年4月2日～2025（令和7）年7月1日生まれ

3期：2025（令和7）年7月2日～2025（令和7）年10月1日生まれ

4期：2025（令和7）年10月2日～2026（令和8）年1月1日生まれ

◆講師：2期 西田 奈穂子氏（FSプログラムファシリテーター）

1・3・4期 ここすきひろば職員（FSプログラムファシリテーター）

◆開催回数：各4回連続講座

◆募集人数：10組（申込先着順）

【実施日】

◆1期 2025（令和7）年6月4日～25日（毎週水曜日）10：00～11：30

◆2期 2025（令和7）年9月3日～24日（毎週水曜日）10：00～11：30

◆3期 2025（令和7）年12月3日～24日（毎週水曜日）10：00～11：30

◆4期 2026（令和8）年3月4日～25日（毎週水曜日）10：00～11：30

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ

【事業成果】

講座開催2年目を迎え、講座に参加する前に矢川プラスを訪れていたりすでにひろばを利用したりしている人が増えており、昨年に比べリラックスして参加している母子が多い印象であった。

子育ての相談はAIに聞いているという人たちが、講座を通して他の人の話を聞き自分の話を聞いてもらう経験を繰り返し、人と直接会話する楽しさや重要性を再認識していく様子が見られた。わらべうたは初めての人がほとんどだが、毎回親子ともに楽しそうに遊び、家でもやってみたという声も多かった。最終回には集合写真入りの修了証を渡しているが、プログラム終了後も定期的に集まるなど、子育て仲間としての関係性が続いている。

◆参加者数：1期 10組 20名

2期 10組 20名

3期 7組 14名

4期 9組 18名



⑩ここすき！１歳あつまれ

【事業目的】

市民の方を対象として家庭で保育している１歳児の子どもとその保護者の乳幼児期からの子育て・子育てを応援することを目的とする。市内在住の１歳児親子を対象として、同年齢の親子の交流の場を提供すると共にスタッフも介入し子育て情報の交換や悩みの共有など子育て支援につなげていく。

【事業内容】

親子が安心して過ごせる場を提供し、子どもがじっくりと遊び込める環境の中で、同年代の子ども同士が交流を通じた経験を大切にしながら、自ら学ぼうとする力を見守り応援する。また、保護者が１歳児の成長・発達への理解を深めつつ、子どもとの関わり方を共有し、全体で見守る体制を育む。さらに、保護者同士が子育てについて語り合い、相互に繋がることで、子育てにおける孤立や不安の軽減および交流機会の提供を図る。

【実施日】

- 第１回 2025（令和７）年 ５月１９日（月）
- 第２回 2025（令和７）年 ６月１６日（月）
- 第３回 2025（令和７）年 ７月１４日（月）
- 第４回 2025（令和７）年 ８月１８日（月）
- 第５回 2025（令和７）年 ９月 ８日（月）
- 第６回 2025（令和７）年 10月20日（月）
- 第７回 2025（令和７）年 11月17日（月）
- 第８回 2025（令和７）年 12月 ８日（月）
- 第９回 2026（令和８）年 １月19日（月）
- 第10回 2026（令和８）年 ２月16日（月）
- 第11回 2026（令和８）年 ３月 ９日（月）

【実施場所】

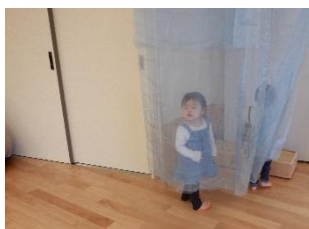
くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ

【事業成果】

同学年の子どもを持つ同士の交流を望みながらも、出会いの機会が限られている、あるいは出会いがあっても関係づくりに難しさを感じている声が多く聞かれる。こうした状況を踏まえ、親子が安心して遊べる環境を整え、共にほっと安心して過ごすことのできる場づくりを目指してきた。保護者同士で「子育てについて」「イヤイヤ期について」「雨の日の過ごし方」等様々なテーマで語り合い、交流を深めていったこともあり、我が子以外の子どもの成長を喜び合ったり、みんなで子どもを見合う空間ができていった。また、定員１５組の枠を設けたことで、安全な環境の中で存分に遊び込む事ができ、プログラム後半には他児に対して興味を持ち、一緒にやってみたい、同じことをしてみたいと遊びの枠が広がっていった。親同士の情報交換の場、交流の場として１歳あつまれ！のオープンチャットを開設した。また、隣接の矢川保育園に出向き、同じ１歳児と交流を図り集団保育を実際に感じる体験もおこなった。

◆参加者

第１回 11組／第２回 14組／第３回 15組／第４回 12組／第５回 13組／第６回 12組
第７回 13組／第８回 11組／第９回 14組／第10回 14組／第11回 15組



⑪こどものせかいラボ

【事業目的】

日頃子どもと過ごしている身近な場所の専門家から、最先端の「子どもの発達」の話を聞き理解する。

話を聞いた後に参加者同士、子育て子育ての面白みを共有することで子育て期を豊かに過ごせること、発達への深い理解者が増えること。

【事業内容】

国立市幼児教育センター所長から、子どもの発達についてそれぞれのテーマに沿った話を聞く。聞いたことを参加者同士共有する。

第1回目 「あかちゃんがみているせかい0～5か月」

第2回目 「こどもとのコミュニケーション」

第3回目 「イヤイヤ期との向き合い方」

【実施日】

第1回 2025（令和7）年 9月20日（土）10：00～11：30

第2回 2025（令和7）年 12月13日（土）10：00～11：30

第3回 2026（令和8）年 2月7日（土）10：00～11：30

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ

【事業成果】

こどもラボの部屋に、ヨギボーやクッションを置き、保護者はリラックスした雰囲気の中話を聞く。そのまわりに遊べる環境を設定することで、親と遊びを行き来しながら子どもも安心して過ごすことができた。所長から、その遊びの様子をみながら子どもの発達の話をしてくれたので、参加者も話を理解しやすかったようである。

同じ話を聞いた後に、日頃子育てで迷っていることなどを共有することで、さらに気づきが多かったようである。

◆参加者数：第1回9組23名/第2回12組34名/第3回13組32名



(4) その他の子育て支援事業

①子ども服リユース リサイクル・リンク事業

【事業目的】

子どもの衣服，子育て用品にかかる費用を削減し，子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。地域子育て支援拠点として衣服のリサイクルに関しては国立市民限定で中央・西児童館，つちのこひろばでも行う。衣類以外の子育てに必要なリサイクル品の授受も始め更なる経済的負担の軽減を図る。また，SDG s の取り組みとして行う。

【事業内容】

家庭で不用になった子ども服を利用者から無償で提供してもらい，提供を受けた衣類は設置したリサイクルコーナーに掲示し，利用者が常時内覧でき，1回の来館で子ども一人につき5点を無料で持ち帰り可能とした。中央・西児童館，つちのこひろばでは国立市民限定で衣服のリサイクルのみ行い，衣類の量の調整や年間数の集計などをここすきひろばがとりまとめた。また，子育て用品リサイクルについては国立市民限定，矢川プラス限定で，不用品譲りますコーナーを設置し，ゆずりたいものの掲示をし，ひろばスタッフは仲介役としてゆずりたい方ともらいたい方をつなぎ連絡先をお渡ししそれ以降は双方のやり取りで交換していただいた。掲示は3ヶ月を期限とし，引き取り手のないものはその旨提供者にお伝えし掲示は終了するようにした。

【実施日】

通年実施

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 掲示コーナー

【事業成果】

衣類リサイクルは年間で4,346着の提供をいただき2,502着持ち帰りいただいた。1,551名の利用があり，内1,175名は継続して利用していただいた。たくさんの利用者が活用し，来館者の方へ取り組み自体が定着していたと感じる。中央・西児童館，つちのこひろばでも52名の利用があり，184着の提供をいただき，204着持ち帰りいただいた。国立市全体で市民の方への経済的負担の軽減に繋がったと感じる。需要と供給が合致しSDG s の取り組みとしても有意義なものである。子育て用品リサイクルについては利用者が少なかったが今後も活用できるように工夫していく。より多くの市民の方に知っていただき，衣類同様広く定着させていく。



②育サポ・ファミサポ説明会

【事業目的】

ファミリーサポートセンターでの支援について周知し、支援が必要な家庭に同センターを身近に感じてもらうことで、子育て支援につなげていく。

【事業内容】

ファミリーサポートセンター職員による説明、質疑応答、登録、相談

◆開催回数：全 9 回（1 回 30 分）

【実施日】

- 第 1 回 2025（令和 7）年 4 月 26 日（土）11：30～12：00
- 第 2 回 2025（令和 7）年 5 月 7 日（水）11：00～11：30
- 第 3 回 2025（令和 7）年 7 月 28 日（月）11：00～11：30
- 第 4 回 2025（令和 7）年 8 月 25 日（月）13：30～14：00
- 第 5 回 2025（令和 7）年 10 月 6 日（月）13：30～14：00
- 第 6 回 2025（令和 7）年 11 月 21 日（金）11：00～11：30
- 第 7 回 2026（令和 8）年 1 月 7 日（水）11：00～11：30
- 第 8 回 2026（令和 8）年 2 月 13 日（金）13：30～14：00
- 第 9 回 2026（令和 8）年 3 月 13 日（金）11：00～11：30

※第 1 回はプレママ・プレパパひろばと同時開催

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス ここすきひろば

【事業成果】

親子にとって身近な場所であるここすきひろばで説明会を開催することで、地域で活動する支援者と保護者がつながる機会を増やし、育児のサポート体制の強化を図ることができた。また、子育てに困難を感じている保護者が利用可能な支援サービスにアクセスしやすい仕組みとなるよう、開催日時の工夫をした。「説明会が開催されるからひろばに来た」という参加者もあり、ひろば利用機会の創出にも寄与したと思われる。

◆参加組数

第 1 回 7 組／第 2 回 7 組／第 3 回 2 組／第 4 回 3 組／第 5 回 2 組
第 6 回 7 組／第 7 回 4 組／第 8 回 2 組／第 9 回 2 組



③マタニティソーイング

【事業目的】

産前からここすきひろばを知ってもらい、産後スムーズな利用につなげるために、プレママ・プレパパひろばを開催しており、産後早くからひろば利用があったり、プログラムの参加に繋がったりしている。徐々に参加者も増えてはいるものの、各月開催の時期と出産時期が異なり参加できないことや、交流目的が苦手な利用者もいる。そこで、誰もが参加しやすいように、また少しでも出産を穏やかな気持ちで待ち望み、作業しながら市内の子育て情報を得ることができる会を目的とする。

【事業内容】

赤ちゃん用品（スタイ）を作りながら、同じ時期に出産を迎える仲間と交流し、ここすきひろばを知り、市内の子育て情報を得る。

【実施日】

- 第1回 2025（令和7）年 9月30日（火）13：30～15：00
- 第2回 2025（令和7）年 11月28日（金）13：30～15：00
- 第3回 2026（令和8）年 1月28日（水）13：30～15：00
- 第4回 2026（令和8）年 3月24日（火）13：30～15：00

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ

【事業成果】

毎回少人数での開催だったが、少人数だからこそ初めて出会う仲間とも話がしやすく、出産や産後について具体的な事も聞ける雰囲気があった。ひろばについて伝えたい情報を丁寧に伝えることができた。ウエルカム赤ちゃん教室やプレママ・プレパパひろばに参加して、マタニティソーイングを知った方が多く、矢川プラスを訪れたことがあり、好意的に参加してくださる方々なので、ひろばに対してとても興味を持ち、産んだら早く来たいと思える効果があると感じた。実際に産後1か月で新規登録に来館されたり、FSプログラムや抱っこひも講座等に参加されたり、継続的な利用につながった。

回	参加者数
第1回	2名
第2回	3名
第3回	3組5名
第4回	2名



④ まちかど絵本棚

【事業目的】

「まちかど絵本棚」をここすきひろば入口に設置し、国立市で行われている「まちかど絵本棚」事業として読み聞かせの推進を図る。

【事業内容】

矢川プラスここすきひろば、国立駅南口子育て・子育て応援テラスここすきひろば、中央児童館、西児童館、西福祉センター、市民総合体育館、どの施設でも本を借り、返却することができる。

【実施日】

通年

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 子育てひろば入口情報コーナー

【事業成果】

矢川プラスここすきひろばでは、中央図書館のリサイクル配布や、利用者の方からの寄付でいただいた絵本等をまちかど絵本棚に定期的に配架している。「こどものとも 0.1.2.」・くにたち図書館発行の「えほんをよんで！読み聞かせ入門リスト」に掲載されている絵本・図鑑は、配架後すぐに借りられている様子。

「ここすきひろば開館前に読みながら待つことが出来て良い」、「帰りに借りることができ、次に来た時に返せるので有難い」という声が上がっている。



(5) ボランティア活動・自主グループづくり

①月齢グループの会

【事業目的】

市内在住の同じ月齢の子どもを持つ保護者を対象に、子育てのグループ育成と活動を支援し、育児の孤立化を防ぐ。該当年月生まれの子を持つ対象者に対して本事業を2回開催し、親同士の親睦を深める。

【事業内容】

該当年月生まれの子を持つ対象者に、3～4か月児健康診査の際に「月齢グループの会への誘い」のチラシを配布した（月平均30組）。当日は参加者に親睦を深めてもらうほか、活動の意義（保護者主体で行う活動であること等）を伝え、コミュニティ施設や矢川プラス貸施設を活用するよう勧めた。また、同月齢以外の親子と交流を図れる機会である月齢スピンオフ（隔月開催）や同日開催のプレパパプレママ交流会の告知を行った。

【実施日】

回	①	②	実施時間
第1回	4月7日（月曜日）	4月18日（金曜日）	10:30～11:30
第2回	5月7日（水曜日）	5月16日（金曜日）	
第3回	6月2日（月曜日）	6月23日（月曜日）	
第4回	7月7日（月曜日）	7月28日（月曜日）	
第5回	8月4日（月曜日）	8月25日（月曜日）	
第6回	9月19日（金曜日）	9月26日（金曜日）	
第7回	10月6日（月曜日）	10月24日（金曜日）	
第8回	11月5日（水曜日）	11月21日（金曜日）	
第9回	12月1日（月曜日）	12月15日（月曜日）	
第10回	1月7日（水曜日）	1月26日（月曜日）	
第11回	2月2日（月曜日）	2月13日（金曜日）	
第12回	3月2日（月曜日）	3月13日（金曜日）	

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ、多目的ルーム（小）

【事業成果】

参加した親子からは「子育ての仲間との集まりが楽しみ」との声が多くあり、積極的に交流を図る姿が見られた。また、月齢グループづくりをきっかけに初めてひろばを訪れた参加者も多数おり、今後のひろば利用機会の増加が期待される。体調不良等の理由で当日の参加が叶わなかった場合にはスタッフが仲介し、グループに繋いだ。

◆参加組数

回	参加者数		回	参加者数	
	①	②		①	②
第1回	10組	11組	第7回	16組	21組
第2回	8組	9組	第8回	11組	10組
第3回	6組	6組	第9回	7組	9組
第4回	9組	9組	第10回	7組	10組
第5回	12組	13組	第11回	11組	8組
第6回	11組	12組	第12回	7組	6組

②ふたご交流会

【事業目的】

多胎児ならではの悩みや不安、喜びを共有することで孤独感を減らしたり、気分転換をはかったりするとともに、子育てについての情報を交換し合い、地域の中で支え合いながら、前向きに育児へ向かうための交流の場とする。

【事業内容】

◆内 容：多胎児を持つ保護者たちが集まり、子どもを遊ばせながら日頃感じている悩みや情報を共有できる交流会とする。多胎妊婦にも声をかけることで、出産後の様子を身近に感じ、不安が軽くなるような機会とする。

◆開催回数：全 7 回（内 1 回は持ち寄りおゆずり会）

◆募集方法：申込不要、リピーターにはグループ LINE で事前告知

【実施日】

第 1 回 2025（令和 7）年 5 月 23 日（金）10：30～11：30

第 2 回 2025（令和 7）年 7 月 4 日（金）10：30～11：30、

第 3 回 2025（令和 7）年 8 月 9 日（土）13：30～15：00

第 4 回 2025（令和 7）年 9 月 26 日（金）10：30～11：30

第 5 回 2025（令和 7）年 11 月 28 日（金）10：30～11：30

第 6 回 2026（令和 8）年 1 月 23 日（金）10：30～11：30

第 7 回 2026（令和 8）年 3 月 27 日（金）10：30～11：30

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ

【事業成果】

対象を国立市在住の親子に設定して開催。参加人数は多くはなかったものの、参加者同士で多胎児育児に関する情報交換を行うことができ、交流の場として有意義な機会となった。今年度は、ふたごならではの思い出や愛着のある衣服等を持ち寄り、平日になかなか来所することの難しい家庭が参加しやすいように、土曜日に「ふたご交流会&持ち寄りおゆずり会」としても開催したが、プレママ・プレパパの参加もあり、先輩ママパパから出産に関する話や準備すると良いものなどの情報を得るなど話題は多岐に渡り、満足度の高い交流会となった。

また、妊娠中に参加していたプレママが、出産後に改めて参加し、新たに参加したプレママへ不要となった育児用品を譲る場面も見られ、感謝の言葉が交わされるなど温かな交流が生まれた。こうした取り組みを通して多胎児家庭同士が繋がり、地域の中で支え合う関係づくりに繋がった。

また、妊娠中に参加していたプレママが、出産後に改めて参加し、新たに参加したプレママへ不要となった育児用品を譲る場面も見られ、感謝の言葉が交わされるなど温かな交流が生まれた。こうした取り組みを通して多胎児家庭同士が繋がり、地域の中で支え合う関係づくりに繋がった。

回	参加者数
第 1 回	2 組 6 名
第 2 回	3 組 9 名
第 3 回	4 組 12 名（内妊婦 1 組）
第 4 回	2 組 6 名
第 5 回	2 組 4 名（内妊婦 1 人）
第 6 回	3 組 9 名
第 7 回	1 組 1 名（妊婦での参加）



③ピアファミリー活動

【事業目的】

地域の先輩ママ達にここすきひろばのおもちゃ等を手作りして頂くことでひろばへの理解を深め、異年齢のお子さんを持つ先輩ママ同士がつながり、地域で子育てしやすい環境を整えることを目的に、活動を行う。

【事業内容】

毎回参加者が異なるので必要に応じて、自己紹介を交え、ピアファミリー（ピアママ）発足の経緯や今までの実績を伝え、活動内容を話し合い、繋がった。登録メンバーとしては増えているが、活動メンバーは少ない会も多かった為、チラシ作成や、完成した玩具のお披露目会、体験会を行い、新規メンバーの募集に力をいれた。ここすきひろば内だけではなく、児童館などにもチラシを配架し、体験会は市報でも広報をした。結果として少しずつ新規の方が増え、ここすきひろばで必要な玩具や装飾などを担っていただいた。



【実施日】

- 第1回 2025（令和7）年 4月23日（水）10:00～12:00
- 第2回 2025（令和7）年 5月28日（水）10:00～12:00
- 第3回 2025（令和7）年 6月 7日（土）10:00～12:00
- 第4回 2025（令和7）年 7月11日（金）10:00～12:00
- 第5回 2025（令和7）年 8月22日（金）10:00～12:00
- 第6回 2025（令和7）年 9月30日（火）10:00～12:00
- 第7回 2025（令和7）年10月24日（金）10:00～12:00
- 第8回 2025（令和7）年11月14日（金）10:00～12:00
- 第9回 2025（令和7）年12月 9日（火）10:00～12:00
- 第10回 2026（令和8）年 1月16日（金）10:00～12:00
- 第11回 2026（令和8）年 2月10日（火）10:00～12:00
- 第12回 2026（令和8）年 3月 6日（金）10:00～12:00

【実施場所】

- くにたち未来共創拠点矢川プラスこどもラボ（第4回及び第6回以外）
- くにたち未来共創拠点矢川プラスこどもラボ及びここすきひろば（第4回）
- くにたち未来共創拠点矢川プラス多目的ルーム（第6回）

【事業成果】

作成していただいた玩具でこどもたちの遊びが広がり、装飾も好評だった。新規で年間9名の方が登録してくださり、そのうち2名は頻繁に参加してくださった。体験会はここすきひろば内だけでなく市報、チラシ、児童館などで周知し多目的ルームで行ったことでここすきひろばを卒業した利用者の方にも知らせることができた。登録いただいた9名中、1名の方が研修を受け、ひろばボランティアに登録し、ひろばで見守りボランティアとして活動していただいている。

回	参加人数	回	参加人数	回	参加人数
第1回	2名	第5回	6名	第9回	6名
第2回	2名	第6回	8名	第10回	2名
第3回	8名	第7回	4名	第11回	3名
第4回	3名	第8回	2名	第12回	5名

④仲間の会

【事業目的】

出会い、つながることが難しいマイノリティであったり、特別な配慮を必要とする人たちが、当事者同士ならではの話をしたり、共感できたりする集まりの場を持つことを応援する。

【事業内容】

ここすきひろばでは、「月齢グループ」「地域グループ」「双子の会」「パパひろば」など、共通の背景をもつ仲間と出会うきっかけづくりをサポートしている。子育てにおいて共通の仲間がいることは、日々の子育てを支える大きな力となっている。

これまでも大きな枠組みでの仲間づくりの会は実施してきたが、必要性を感じながらも、マイノリティの立場にある人たちの会は実現できずにいた。マイノリティであるがゆえに利用時間がすれ違ったり、個々がスタッフとはつながれても、当事者同士が出会う場を持つことが難しかったためである。外国につながるのある人たちの音楽の集まりや、つちのこひろばの協力を得て行った医ケア児の集まりなど、単発の会はあったものの、継続的な活動には至らなかった。

子育てひろばの重要な役割として、出会うことが難しい人たちにもつながりの場を提供したいと考えていたところ、高齢出産の母から「子育て仲間はいるが、40歳を超えて出産した母同士の仲間がほしい」という声が寄せられた。高齢出産には高いリスクが伴い、産後は身体的負担の大きさに加え、精神的・社会的な悩みや不安も抱えやすい。高齢出産ならではの悩みや不安を仲間と話し、共感し合える場を応援したいと考え、こどもラボを貸室するなどして、自主グループとして活動できるよう伴走していく。

【実施日】

第1回 2026（令和8）年2月25日（水）13:00～15:00

第2回 2026（令和8）年3月31日（火）13:00～15:00

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス

【事業成果】

会の提案者は精力的に自主的に行動し広報をおこなっていた。ひろばとしては、提案者に負担がかかりすぎないように留意しながら、後方支援を行った。荒天であったこともあり、少ない人数ではあったが、出会った人たちは当事者ならではの共通の話題を途切れることなく話し合っていた。重要な機会であり、来年度も伴走支援していきたい。

◆参加者数：第1回 3組6名／第2回 4組9名

⑤ボランティア交流会

【事業目的】

様々な場面で矢川プラスを応援してくださったボランティアの皆さんに感謝の気持ちを伝え
ると同時に、ボランティア同士の交流を深めることを目的とする。

【事業内容】

ボランティアさんの自己紹介
団体の活動内容紹介と各作品の展示紹介
ここすきひろば通信や LINE や Instagram の紹介
ボランティアさん同士でお茶を飲みながら自由に交流

【実施日】

2026（令和 8）年 3 月 7 日（土）10：00～11：30

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ

【事業成果】

「手作り工房わくワーク」「ピアファミリー」「ぷちはりねずみ」「図書館読み聞かせボランティア」「緑化ボランティア」「抱っこボランティア」の団体と個人で活動している「折り紙の小澤さん」「わらべうたの田中さん」「編み物のしょうちゃん」「裁縫の河合さん」へお声掛けした。

当日は「手作り工房わくワーク」6 名、「ピアファミリー」5 名、「緑化ボランティア」3 名、「抱っこボランティア」2 名が参加し交流を深めることができた。他のボランティアの話を聞いて興味を持ち、わくワークの方でピアファミリーや抱っこボランティアにも参加したいという方がいるなど、それぞれの団体を超えての交流をすることができた。



⑥手作り工房わくワーク（製作ボランティア）

【事業目的】

市内在住の地域の方々に協力いただき、ここすきひろばのおもちゃの手直しや制作準備、節の飾りの制作を通して、多世代の交流を図るとともに、ここすきひろばと地域の方々とのつながりを深めていく。



【事業内容】

◆内容：ひろばで使用しているおもちゃや備品等の制作や補修，異世代間の交流。

- 第 1 回 おもちゃの補修
- 第 2 回 フェルトの見立おもちゃ制作
- 第 3 回 人形のスタイ制作
- 第 4 回 羊毛ボール制作
- 第 5 回 おもちゃの補修，フェルトの丸いおもちゃ制作
- 第 6 回 フェルトのおもちゃ作り（くり，どんぐり）
- 第 7 回 フェルトのおもちゃ作り（くり，どんぐり）
- 第 8 回 人形の洋服づくり（ワンピース）
- 第 9 回 人形の洋服づくり（ワンピース）
- 第 10 回 折り紙制作（チューリップ）
- 第 11 回 “みんなのはたけ” ガーランド作り



【実施日】

- 第 1 回 2025（令和 7）年 4 月 30 日（水）14：30～15：30
- 第 2 回 2025（令和 7）年 5 月 28 日（水）14：30～15：30
- 第 3 回 2025（令和 7）年 6 月 25 日（水）14：30～15：30
- 第 4 回 2025（令和 7）年 7 月 23 日（水）14：30～15：30
- 第 5 回 2025（令和 7）年 8 月 27 日（水）14：30～15：30
- 第 6 回 2025（令和 7）年 9 月 17 日（水）14：30～15：30
- 第 7 回 2025（令和 7）年 11 月 26 日（水）14：30～15：30
- 第 8 回 2025（令和 7）年 12 月 17 日（水）14：30～15：30
- 第 9 回 2026（令和 8）年 1 月 14 日（水）14：30～15：30
- 第 10 回 2026（令和 8）年 2 月 25 日（水）14：30～15：30
- 第 11 回 2026（令和 8）年 3 月 25 日（水）14：30～15：30

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ，みんなのホール

【事業成果】

年度初めは少数だった参加者が，知人を誘うなどもあり徐々に参加者が増え，地域の中で当該事業の認知は向上してきている。参加者本人にとって，社会参加の機会が生まれることで生きがいや自己有用感の向上につながるとともに，ひろばのおもちゃ補修や制作等を通して子育て世代との交流も生まれ，地域内での相互理解や見守りの意識の醸成にも寄与している。ここすきひろばにとっても，地域住民が関わる運営体制を築くことで地域に支えられている拠点としての役割を強めている。

回	参加人数	回	参加人数	回	参加人数
第 1 回	5 名	第 5 回	6 名	第 9 回	9 名
第 2 回	4 名	第 6 回	6 名	第 10 回	7 名
第 3 回	7 名	第 7 回	8 名	第 11 回	7 名
第 4 回	8 名	第 8 回	9 名		

⑦くまさんのわらべうた

【事業目的】

ボランティア・田中 雄二さんによる「くまさんのわらべうた」を開催し、親子でふれあい遊びを楽しむ。

【事業内容】

ひろば内にチラシ掲示、HP 掲載、Instagram 等で開催の告知を行った。参加者にはボランティア・田中 雄二さん作成のわらべうたの案内を配布した。じっくりと 1 時間ほど行っていた。

【実施日】

- 第 1 回 2025 (令和 7) 年 4 月 2 日 (水)
- 第 2 回 2025 (令和 7) 年 4 月 23 日 (水)
- 第 3 回 2025 (令和 7) 年 5 月 7 日 (水)
- 第 4 回 2025 (令和 7) 年 5 月 28 日 (水)
- 第 5 回 2025 (令和 7) 年 6 月 4 日 (水)
- 第 6 回 2025 (令和 7) 年 6 月 11 日 (水)
- 第 7 回 2025 (令和 7) 年 7 月 9 日 (水)
- 第 8 回 2025 (令和 7) 年 7 月 30 日 (水)
- 第 9 回 2025 (令和 7) 年 8 月 13 日 (水)
- 第 10 回 2025 (令和 7) 年 8 月 27 日 (水)
- 第 11 回 2025 (令和 7) 年 9 月 10 日 (水)
- 第 12 回 2025 (令和 7) 年 10 月 24 日 (金)
- 第 13 回 2025 (令和 7) 年 12 月 16 日 (火)
- 第 14 回 2026 (令和 8) 年 1 月 28 日 (水)

【実施場所】

矢川プラス 子育てひろば ここすき内のベビーコーナー

【事業成果】

参加された親子からは、「わらべうたを知ることができてうれしい」「家でもうたっています」などの声があった。わらべうたが開催されるためにひろばを訪れる親子も多数いた。



回	参加者数	回	参加者数
第 1 回	14 組 31 人	第 8 回	15 組 30 人
第 2 回	4 組 9 人	第 9 回	19 組 36 人
第 3 回	12 組 24 人	第 10 回	17 組 34 人
第 4 回	12 組 25 人	第 11 回	15 組 31 人
第 5 回	12 組 24 人	第 12 回	15 組 30 人
第 6 回	15 組 30 人	第 13 回	11 組 24 人
第 7 回	15 組 34 人	第 14 回	18 組 38 人



⑧「あみものはじめました」活動

【事業目的】

利用者とスタッフがあみものに親しむ活動。市内・市外の区別なく、参加者をひろく設定することで利用者間のコミュニケーションを深めるきっかけとしたい。ここすきひろばスタッフやボランティアが活動の補助をするが、将来的には利用者主体の活動として発展していくことを目指している。

【事業内容】

活動の実施にあたっては、ボランティアの井上昌子さんに加え、随時抱っこボランティアさんにも参加していただき、活動の補助をお願いした。参加者はあみものを初めて経験する方が多く、教えていただきながら活動した。井上さんには自作のあみ図を用意していただいた。

【実施日】

- 第1回 2025（令和7）年 9月 3日（水）
- 第2回 2025（令和7）年 10月 8日（水）
- 第3回 2025（令和7）年 11月 12日（水）
- 第4回 2025（令和7）年 12月 3日（水）
- 第5回 2026（令和8）年 1月 14日（水）
- 第6回 2026（令和8）年 2月 4日（水）
- 第7回 2026（令和8）年 3月 4日（水）

※毎月第1水曜日、開催時間はすべて10：00～11：30

【実施場所】

矢川プラス 子育てひろば ここすきひろば内

【事業成果】

Instagramやひろば内のチラシで開催告知をした。抱っこボランティアに入っていたことで子育て中の保護者が安心してあみものに取り組める環境を設定した。また、完成することができた喜びを参加者同士で分かち合うことができた。参加者からは「リフレッシュできました」「やりたいけどきっかけがなかった」「家でもやってみます」との声が多数あった。幼児でも取り組みそうな牛乳パックあみや、糸かけキットも用意したところ、興味をもって取り組み、家で仕上げた牛乳パックあみをひろばに持ってきて、見せてくれたこともあった。

回	参加者数	回	参加者数
第1回	8名	第5回	7名
第2回	5名	第6回	6名
第3回	15名	第7回	3名
第4回	12名	第8回	5名



⑨ えほんのじかん

【事業目的】

ここすきひろば利用者を対象に、国立市立図書館の読み聞かせボランティアによる乳幼児向けの読み聞かせを行い、親子で読み聞かせやふれあい遊びを楽しむ。

【事業内容】

ここすきひろばのベビーコーナーにて、絵本二冊と大型絵本一冊を読み聞かせし、合間にわらべうたで親子のふれあい遊びを取り入れる。読んだ絵本は、ベビーコーナーに配架し次の開催日まで紹介する。

【実施日】

第 1 回	2025 (令和 7) 年	4 月 16 日 (水)	11:00~11:20
第 2 回	2025 (令和 7) 年	5 月 21 日 (水)	11:00~11:20
第 3 回	2025 (令和 7) 年	6 月 18 日 (水)	11:00~11:20
第 4 回	2025 (令和 7) 年	7 月 16 日 (水)	11:00~11:20
第 5 回	2025 (令和 7) 年	8 月 20 日 (水)	11:00~11:20
第 6 回	2025 (令和 7) 年	9 月 17 日 (水)	11:00~11:20
第 7 回	2025 (令和 7) 年	10 月 22 日 (水)	11:00~11:20
第 8 回	2025 (令和 7) 年	11 月 19 日 (水)	11:00~11:20
第 9 回	2025 (令和 7) 年	12 月 17 日 (水)	11:00~11:20
第 10 回	2026 (令和 8) 年	1 月 21 日 (水)	11:00~11:20
第 11 回	2026 (令和 8) 年	2 月 18 日 (水)	11:00~11:20
第 12 回	2026 (令和 8) 年	3 月 18 日 (水)	11:00~11:20

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス ここすきひろば ベビーコーナー

【事業成果】

えほんのじかんは毎回人気があり参加者が多く、えほんのじかんのために来館される親子も多い。また、子育てひろばにおいて声掛けした場合も喜んで参加される方が多い。

図書館の読み聞かせボランティアの方々は研修期間も長く熟練度が高く、プログラム構成も安定しているので、安心してお任せすることができている。その点も来館者の信頼やリピーターにつながっている者と考えている。

回	参加人数	回	参加人数	回	参加人数
第 1 回	16 組 33 名	第 5 回	10 組 20 名	第 9 回	20 組 41 名
第 2 回	20 組 42 名	第 6 回	10 組 21 名	第 10 回	18 組 39 名
第 3 回	17 組 36 名	第 7 回	16 組 32 名	第 11 回	18 組 36 名
第 4 回	10 組 21 名	第 8 回	13 組 28 名	第 12 回	15 組 30 名



3-4 矢川プラス管理運営事業

(1) 施設維持管理事業

①光熱水費の使用状況

項目	年度	電気	ガス	上下水道	合計
使用量	2025 年度	153,397kWh	13 m ³	1,583 m ³	
	2024 年度	147,430kWh	11 m ³	1,473 m ³	
	前年度比	+4.0%	+18.2%	+7.5%	
使用 料金	2025 年度	5,049,081 円	11,220 円	1,533,037 円	6,593,338 円
	2024 年度	4,941,621 円	10,382 円	1,469,328 円	6,421,331 円
	前年度比	+2.2%	+8.1%	+4.3%	+2.7%
使用用途		電灯/電源/空調	給湯	水栓/散水	

②保守点検・委託業務の状況

件名	内容	実施頻度
建物総合管理業務委託	施設内の清掃業務及び夜間時間帯の受付、警備業務	毎月
廃棄物収集・運搬・処分業務委託	一般廃棄物及び産業廃棄物の適正処分	毎月
建物機械警備業務委託	閉館時間帯の機械警備及び非常時対応	毎月
利用者通行量調査業務委託	施設来館者数のセンサーにより把握する業務	毎月
混雑状況調査等業務委託	2 階施設の混雑状況のリアルタイム提供	毎月
電気設備保守点検業務委託	高圧受電設備の保守点検及び法定点検	毎月
エレベーター保守点検業務委託	エレベーターの保守点検及び法定検査	毎月
消防設備点検業務委託	消防法に伴う自動火災報知設備や非常用照明等の保守点検	年 2 回
防火設備定期検査業務委託	建築基準法第 12 条に伴う法定点検（防火設備）※建築設備は国立市で実施	年 1 回
Wi-Fi 機器保守委託	施設内に敷設する内部用及び来館者用の Wi-Fi 機器の保守点検	毎月
複合機保守点検業務委託	複合機の印刷枚数に応じた保守点検	毎月
ウェブサイト保守業務委託	矢川プラスホームページの保守業務	毎月
スタジオ機材点検業務委託	スタジオ内にある音楽機材の保守点検	毎週

③設備修繕の実施状況

件名	内容
子ども縁側大型遊具上部天井修繕	2 階こども縁側の天井部の隙間を埋める修繕
子ども縁側大型遊具木部修繕	2 階こども縁側にある大型遊具の木部破損部分の修理
2 階事務室木製カウンター修繕	2 階事務室の受付カウンターの破損部分の修理
子ども縁側送風機設置工事	熱中症予防のための送風機を設置する工事
自動ドア修繕	1 階自動ドアの開閉不具合の修理
2 階女性トイレ便器修繕	2 階女性トイレのウォシュレット不具合の修理

④賃貸借の状況

件名	内容
複合機賃貸借	プリント，コピー，FAX 機能のある複合機の賃借
券売機サービス利用	有料施設支払用券売機のサービス利用
トイレ臭気対策器具レンタル利用	トイレ内の臭気対策用機器のレンタル
矢川プラス施設予約システム利用	有料施設の予約，抽選作業等を行うシステムの利用
マットレンタル利用	施設内汚れ防止用の出入口敷設のマットのレンタル
イベント用タブレット PC 賃借料	
電気設備遠隔監視装置賃貸借	高圧受電設備の異常等遠隔監視用装置の賃借
子育てひろば入退室システム利用	子育てひろばの入館者を把握するシステムの利用

(2) 広報・情報発信事業

① 矢川プラスホームページによる発信

矢川プラスのPR及び施設利用等の案内のため、矢川プラスホームページを開設しました。ホームページでは、施設コンセプトや各機能の紹介、施設利用案内やイベント情報の掲載のほか、貸出施設予約システムへの円滑な接続など、施設利用者の利便性の向上を図りました。また、ツイッターやInstagramなどのSNSも活用してイベントなどの情報を発信しました。今後もわかりやすいページづくりに努めるとともに、様々な情報を発信していきます。



② 矢川プラス Instagram による発信

矢川プラスの日常風景やイベントの様子を投稿し、矢川プラスの魅力を広く発信していくことを目的に、これまでこすきひろばのみで運用されていた Instagram を、矢川プラスとして新しくアカウントを取得し、2026（令和8）年2月12日より投稿を開始しました。

イベントの周知だけではなく、日常の様子や、施設紹介動画等も掲載することにより、矢川プラスをより身近に感じてもらうとともに、利用していない人たちにも矢川プラスのファンになってもらえるような発信を行っています。これまでのイベント周知は、ホームページやXで行っていたため、新しい層の利用者獲得も期待しています。



③ 矢川プラス通信の発行

矢川プラス内で開催するイベントや子育てひろば、こどもラボでの講座等の情報をまとめた『矢川プラス通信』を毎月発行し、周知を図りました。

④ 館内プロジェクターを活用した情報発信

矢川プラスみんなのホールに設置されているプロジェクターを活用して、館内イベント、各種講座の情報、国立市の情報などを投影することにより、利用者に周知を図りました。



(3) 施設活用事業

①来館者の状況

月	開館日数	施設全体 延べ来館者数	施設全体 1日平均
4月	28日	29,818人	1,064人
5月	29日	26,451人	912人
6月	28日	28,983人	1,035人
7月	29日	31,652人	1,091人
8月	29日	28,475人	981人
9月	28日	31,311人	1,118人
10月	29日	29,666人	1,023人
11月	28日	27,286人	974人
12月	26日	23,590人	907人
1月	27日	24,394人	903人
2月	26日	26,724人	1,027人
3月	29日	33,886人	1,168人
合計	336日	342,236人	1,018人



②貸室の利用状況

月	多目的ルーム			スタジオ			新規団体登録件数			減免 団体
	利用可 能数	利用数	稼働率	利用可 能数	利用数	稼働率	合計	市内	一般	
4月	168	60	35.7%	168	133	79.2%	30	22	8	0
5月	174	100	57.5%	174	121	69.5%	31	26	5	7
6月	168	120	71.4%	168	134	79.8%	21	19	2	4
7月	174	138	79.3%	174	155	89.1%	27	21	6	4
8月	174	121	69.5%	174	161	92.5%	32	32	5	5
9月	168	125	74.4%	168	125	74.4%	31	31	6	5
10月	174	133	76.4%	174	132	75.9%	19	19	1	8
11月	168	137	81.5%	168	141	83.9%	22	22	0	1
12月	156	127	81.4%	156	127	81.4%	22	22	6	4
1月	162	107	66.0%	162	133	82.1%	27	27	6	3
2月	156	104	66.7%	156	129	82.7%	31	31	5	8
3月	174	117	67.2%	174	148	85.1%	32	32	8	2
合計	2,016	1,389	68.9%	2,016	1,639	81.3%	325	325	58	51

※団体登録件数には、個人での登録も含まれる。

※減免団体は、18歳以下の国立市民のみで構成される団体。



③学習応援 ROOM の利用状況

中高生のテスト期間や入試期間は、中高生や大人の方を中心に多く利用されており、スタディコーナーが満席の日が多くなるため、利用予約が入っていない多目的ルームを施設の有効利用の観点から「学習応援 ROOM」として、静かに集中して学習したい人向けに開放しました。

月	開放日数	利用者数
4 月	—	—
5 月	16 日	82 人
6 月	24 日	95 人
7 月	23 日	75 人
8 月	20 日	75 人
9 月	16 日	43 人
10 月	23 日	101 人
11 月	18 日	44 人
12 月	20 日	76 人
1 月	24 日	70 人
2 月	20 日	76 人
3 月	21 日	12 人
合計	225 日	749 人

学習応援ROOM

静かに集中したい時に
ご利用ください。

◆ 時間 17:30～21:30
◆ 場所 1階多目的ルーム
→実施日はカレンダーをご覧ください

ご予約は不要です。
ご利用の際は受付までお声がけください。

【ご利用時のおねがい】

- ◆ パソコン、電卓などキータッチ音が出る機器は
ご遠慮ください。
- ◆ フタ付きの飲料（ペットボトル、水筒）のみ
持ち込みいただけます。お食事は1階共用部にて
お願いします。

くにたち未来共創拠点
矢川スラス

④矢川プラスを利用したロケの利用状況

2025（令和7）年度に矢川プラスを使用してのロケ撮影は幼児教育センターに関連するテレビ撮影が1件でした。詳細については、31 ページ（3）啓発・情報発信事業②子ども・子育てに関する政策や取組の啓発（ア）NHK E テレすくすく子育てへの出演の項目をご覧ください。

⑤利用者からの意見（ア）意見箱

矢川プラスの各階に『利用者の声』の意見箱を設置し、利用者からの要望や改善点などのご意見を受け付けました。いただいた意見数及び主な内容については以下のとおりです。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
枚数	6	4	2	2	3	8	3	2	9	0	5	5	49

項目	主な意見内容
利便性向上	時計・ごみ箱の設置、カフェテーブルの増設、スタディーコーナーの座席増設、ハンモック利用時間延長、電子レンジ増設、わりばしの設置
騒音	館内全体、ホールイベントや多目的ルームでの音楽利用により、スタディーコーナーがうるさい、ゲーム音がうるさい
安全面	ひろばでの鬼ごっこが危ない、大人の見守り増員、ネット遊具の使い方、子どもが走りまわる
遊び・玩具の充実	ゆりかご、タブレットゲーム、中国ごまの追加
混雑の緩和	ここすきひろばの混雑、築山の混雑、混雑情報の SNS 公開、平日の市民のみ利用できる日の設定、ネット遊具や築山の保育園等の利用制限
感謝・期待	主にここすきひろば利用者や矢川プラスの子どもからの感謝の言葉
運用面での要望	スタディーコーナーの見回り、トイレ清掃時間の階別化、土日市外利用制限の緩和、市外利用の有料化

⑤利用者からの意見（イ）利用者満足度調査

年度末に矢川プラス来館者に対し、満足度に関するアンケートを実施いたしました。「非常に満足」と「満足」を合算した総合満足度は 81.5%（昨年度 79.0%）となりました。アンケートの詳細な結果については、以下のとおりです。（無回答は除く。）

矢川プラス利用者 アンケート

平素より矢川プラスの運営に對しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、矢川プラスは 2023 年 4 月にオープンし、間もなく二年が経過いたします。今日まで乳幼児から高齢者の方まで幅広い年代の方にお越しいただき、音楽、運動、子育て支援、介護予防、商店街や地域コミュニティ活動など幅広い様々な分野でご利用いただいております。当施設では、サービスの向上と改善に向けた取組をいたしまして、施設をご利用いただく皆様からの声を大事にし、施設運営に生かしてまいりたいと考えております。

つきましては、矢川プラスをご利用いただいた際の感想をお聞かせいただけたら、幸いです。

1. あなたのお住まいの地域に〇をつけてください。

・市内（北・東・中・西・富士見台・谷保・矢川・青柳・奥・石田）

・市外（立川市・府中市・日野市・国分寺市・その他）

2. あなたの年齢層を教えてください。

【10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代以上】

3. 利用した施設を教えてください。（複数選択可）

・みんなのホール ・おとりまろ ・多目的ルーム ・スタジオ ・矢川児童館

・スタディコーナー ・ここすきひろば ・子ども健勝 ・みんなのひろば（屋外）

4. この施設の設備やサービスの充実度について、どの程度満足していますか？

（例：①施設の敷・バリエーション、②メンテナンスの状況、③利用者のニーズ・要望に
向いているか など）

【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】

5. この施設のアクセスしやすさ（利用しやすさ）について、どの程度満足していますか？

（例：①施設への交通アクセス、②車椅子・ベビーカーを利用する際のバリアフリー設備、
③館内案内表示の指示など）

【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】

6. この施設の安全性やセキュリティについて、どの程度満足していますか？

（例：①危険箇所等への警告・注意の表示、②利用者同士のトラブルへの対応、③紛失物への対応 など）

【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】

7. この施設の利用料金や料金体系について、どの程度満足していますか？

（例：①料金設定、②時間設定等について、③サービスや施設設備と見合っているか、
④支払方法や減免制度 など）

【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】

8. インターネットやWi-Fiの利用状況や品質について、どの程度満足していますか？

（例：①Wi-Fiの速度、安定性、②接続の容易さ、③制限・制約 など）

【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】

裏面にお読みください

9. 施設環境や景観について、どの程度満足していますか？

（例：①施設の清掃状況・清潔さ、②館内展示物の見やすさ、③みんなのひろば（芝生）や
植栽の管理や安全性 など）

【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】

10. この施設の敷金に関する点について、どの程度満足していますか？

（例：①飲食スペースの清潔さ・快適さ、②設備の充実 など）

【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】

11. この施設のスタッフの対応やサービスについて、どの程度満足していますか？

（例：①親切さ・礼儀正しさ、②適切な声掛け・情報提供、③迅速な対応 など）

【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】

12. この施設のまもりやプログラムやイベントの充実度について、どの程度満足していますか？

（例：①イベントの数・バリエーション・魅力、②開催頻度・スケジュール、③イベント
スタッフの対応・サポート など）

【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】

13. この施設の多様な世代が参加できるイベントや活動の提供について、どの程度満足していますか？

（例：①イベントの数・バリエーション・魅力、②開催頻度・スケジュール、③様々な世代の
参加者との交流促進に繋がっているか など）

【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】

14. 利用者同士の交流やコミュニティ形成の促進について、どの程度満足していますか？

（例：①イベント・プログラムが利用者同士の交流を促進しているか、②みんなのホールや土曜
が交流スペースとして十分に活用されているか、③利用者同士がコミュニケーションを取り
やすい環境が整っているか など）

【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】

15. イベントやプログラムの情報提供や広報活動について、どの程度満足していますか？

（例：①分かりやすさ、②広報媒体の種類・告知方法、③イベント参加方法や施設利用方法の
分かりやすさ など）

【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】

16. イベントやプログラムのお知らせは届きますか？（複数選択可）

・チラシ・ポスター ・館内スライド ・HP ・X ・Instagram ・LINE 公式アカウント

17. 施設の改善点や希望する新たなサービス・プログラムに関する意見や提案

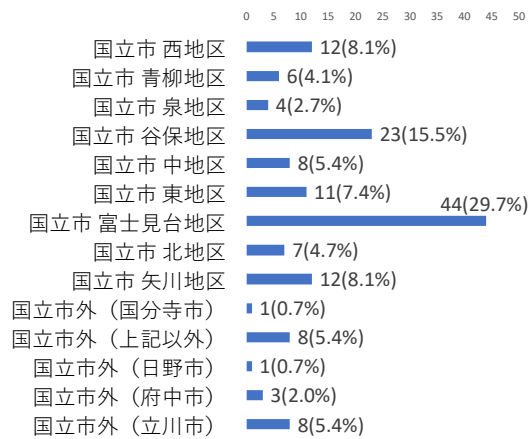
<意見やご提案などございましたら、ご記入ください>

ご協力ありがとうございました。

矢川プラス

▲利用者アンケート用紙

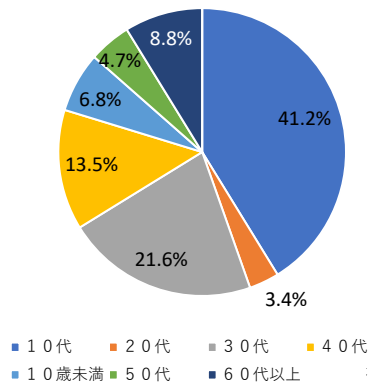
1.居住地



地区名	人数	割合
国立市 西地区	12	8.1%
国立市 青柳地区	6	4.1%
国立市 泉地区	4	2.7%
国立市 谷保地区	23	15.5%
国立市 中地区	8	5.4%
国立市 東地区	11	7.4%
国立市 富士見台地区	44	29.7%
国立市 北地区	7	4.7%
国立市 矢川地区	12	8.1%
国立市外 (国分寺市)	1	0.7%
国立市外 (上記以外)	8	5.4%
国立市外 (日野市)	1	0.7%
国立市外 (府中市)	3	2.0%
国立市外 (立川市)	8	5.4%
総計	148	100.0%

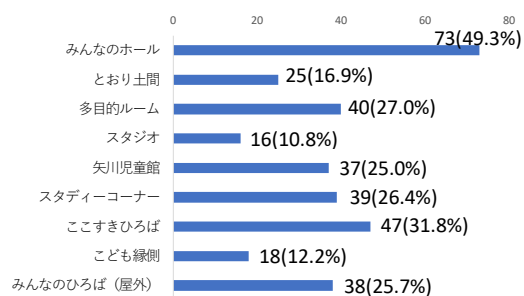
※割合は、小数点第2位以下を四捨五入したため、合計は必ずしも100%にならない。

2.年齢層



年齢	人数	割合
10代	61	41.2%
20代	5	3.4%
30代	32	21.6%
40代	20	13.5%
10歳未満	10	6.8%
50代	7	4.7%
60代以上	13	8.8%
総計	148	100.0%

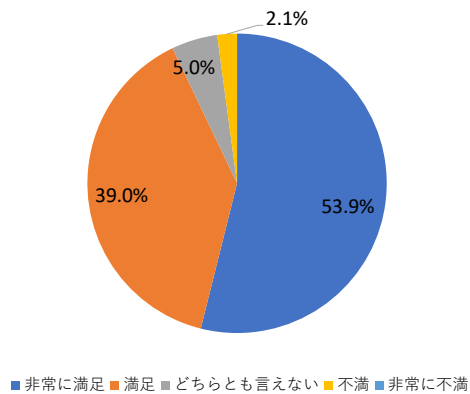
3. 利用施設(複数選択可能)



施設名	人数	割合
みんなのホール	73	49.3%
とおり土間	25	16.9%
多目的ルーム	40	27.0%
スタジオ	16	10.8%
矢川児童館	37	25.0%
スタディーコーナー	39	26.4%
こすきひろば	47	31.8%
こども縁側	18	12.2%
みんなのひろば (屋外)	38	25.7%

※回答人数 148人

4.施設や遊具の充実度について

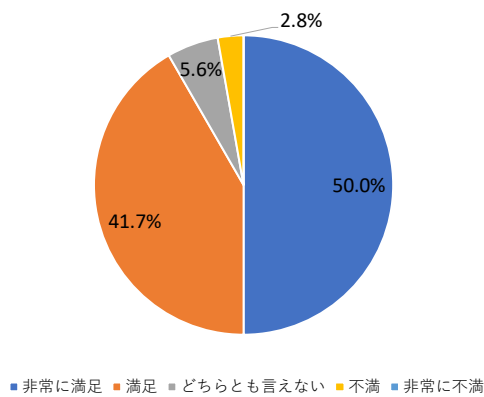


	今年度		昨年度	
	人数	割合	人数	割合
非常に満足	76	53.9%	58	43.0%
満足	55	39.0%	61	45.2%
どちらとも言えない	7	5.0%	14	10.4%
不満	3	2.1%	2	1.4%
非常に不満	0	0.0%	0	0.0%
総計	141	100.0%	135	100.0%

「非常に満足」「満足」の合計 131人 92.9% (119人 88.1%)

※ () 内は昨年度数値

5.アクセシビリティ（利用しやすさ）について



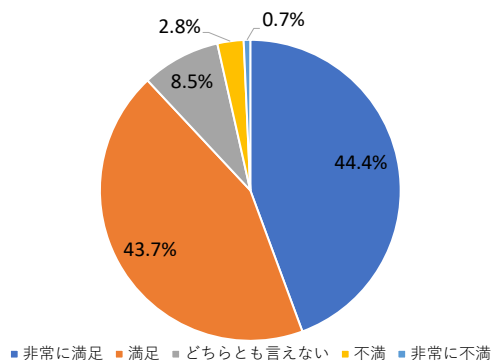
	今年度		昨年度	
	人数	割合	人数	割合
非常に満足	72	50.0%	61	43.9%
満足	60	41.7%	62	44.6%
どちらとも言えない	8	5.6%	11	7.9%
不満	4	2.8%	4	2.9%
非常に不満	0	0.0%	1	0.7%
総計	144	100.0%	139	100.0%

「非常に満足」「満足」の合計 132人 91.7% (123人 88.5%)

※ () 内は昨年度数値

※割合は、小数点第2位以下を四捨五入したため、合計は必ずしも100%にならない。

6.安全性やセキュリティについて



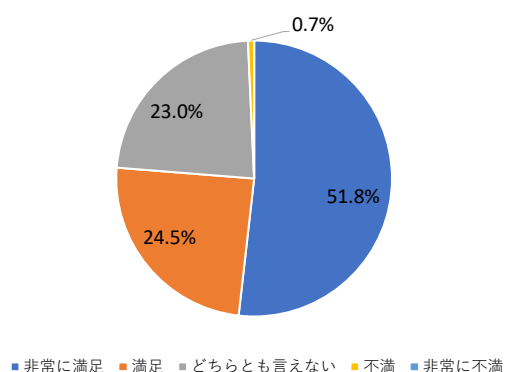
	今年度		昨年度	
	人数	割合	人数	割合
非常に満足	63	44.4%	55	40.1%
満足	62	43.7%	55	40.1%
どちらとも言えない	12	8.5%	21	15.3%
不満	4	2.8%	6	4.5%
非常に不満	1	0.7%	0	0.0%
総計	142	100.0%	137	100.0%

「非常に満足」「満足」の合計 125人 88.1% (110人 80.3%)

※ () 内は昨年度数値

※割合は、小数点第2位以下を四捨五入したため、合計は必ずしも100%にならない。

7.有料貸出施設における利用料金や料金体系について

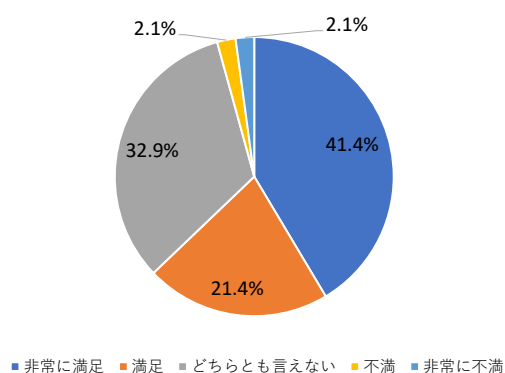


	今年度		昨年度	
	人数	割合	人数	割合
非常に満足	72	51.8%	55	40.7%
満足	34	24.5%	50	37.0%
どちらとも言えない	32	23.0%	26	19.3%
不満	1	0.7%	4	3.0%
非常に不満	0	0.0%	0	0.0%
総計	139	100.0%	135	100.0%

「非常に満足」「満足」の合計 106人 76.3% (105人 77.8%)

※ () 内は昨年度数値

8.インターネットやWi-Fiの利用状況や品質について



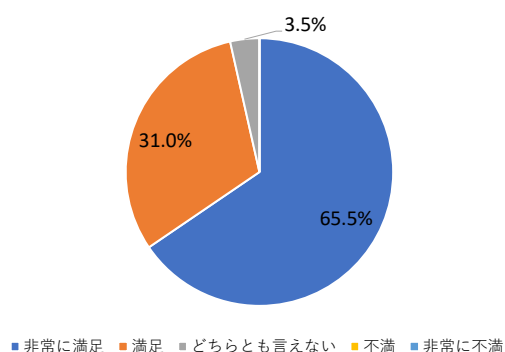
	今年度		昨年度	
	人数	割合	人数	割合
非常に満足	58	41.4%	39	28.7%
満足	30	21.4%	46	33.8%
どちらとも言えない	46	32.9%	38	27.9%
不満	3	2.1%	8	5.9%
非常に不満	3	2.1%	5	3.7%
総計	140	100.0%	136	100.0%

「非常に満足」「満足」の合計 88人 62.8% (85人 62.5%)

※ () 内は昨年度数値

※割合は、小数点第2位以下を四捨五入したため、合計は必ずしも100%にならない。

9.施設環境や景観について

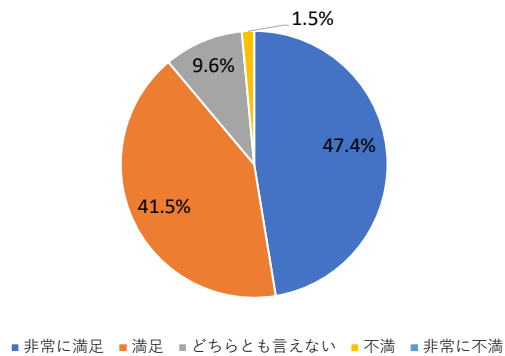


	今年度		昨年度	
	人数	割合	人数	割合
非常に満足	93	65.5%	64	47.4%
満足	44	31.0%	51	37.8%
どちらとも言えない	5	3.5%	19	14.1%
不満	0	0.0%	0	0.0%
非常に不満	0	0.0%	1	0.7%
総計	142	100.0%	135	100.0%

「非常に満足」「満足」の合計 137人 96.5% (115人 85.2%)

※ () 内は昨年度数値

10.飲食スペースや清潔さ・設備充実度について

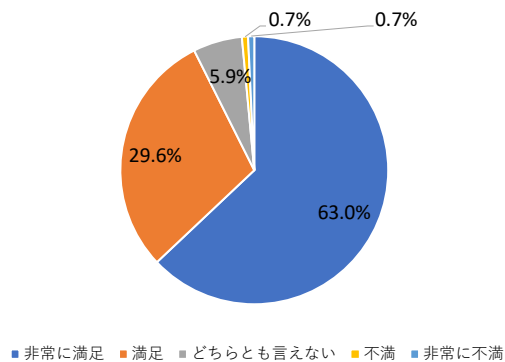


	今年度		昨年度	
	人数	割合	人数	割合
非常に満足	64	47.4%	59	44.0%
満足	56	41.5%	54	40.3%
どちらとも言えない	13	9.6%	14	10.5%
不満	2	1.5%	4	3.0%
非常に不満	0	0.0%	3	2.2%
総計	135	100.0%	134	100.0%

「非常に満足」「満足」の合計 120人 88.9% (113人 84.3%)

※（）内は昨年度数値

11.スタッフの対応・サービスについて



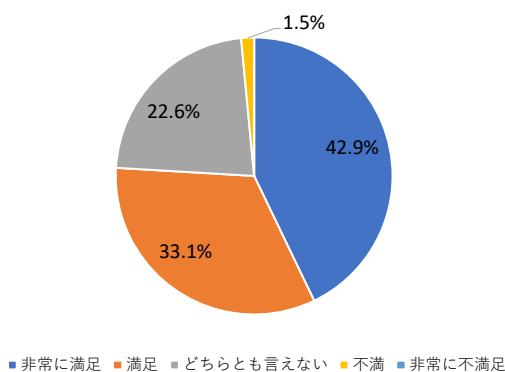
	今年度		昨年度	
	人数	割合	人数	割合
非常に満足	85	63.0%	71	53.8%
満足	40	29.6%	49	37.1%
どちらとも言えない	8	5.9%	11	8.3%
不満	1	0.7%	0	0.0%
非常に不満	1	0.7%	1	0.8%
総計	135	100.0%	132	100.0%

「非常に満足」「満足」の合計 125人 92.6% (120人 90.9%)

※（）内は昨年度数値

※割合は、小数点第2位以下を四捨五入したため、合計は必ずしも100%にならない。

12.子ども向けプログラムやイベントの充実度について



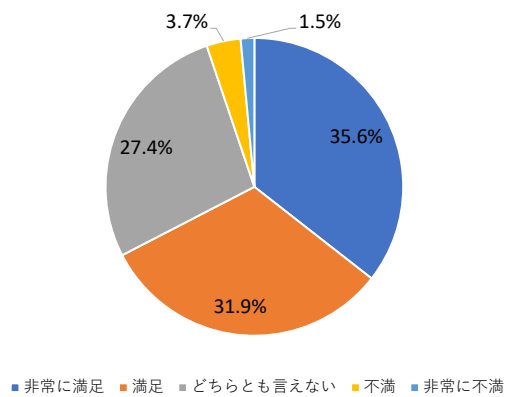
	今年度		昨年度	
	人数	割合	人数	割合
非常に満足	57	42.9%	47	36.2%
満足	44	33.1%	58	44.6%
どちらとも言えない	30	22.6%	24	18.5%
不満	2	1.5%	1	0.7%
非常に不満	0	0.0%	0	0.0%
総計	133	100.0%	130	100.0%

「非常に満足」「満足」の合計 101人 76.0% (105人 80.8%)

※（）内は昨年度数値

※割合は、小数点第2位以下を四捨五入したため、合計は必ずしも100%にならない。

13.多様な世代が参加できるイベントや活動の提供について



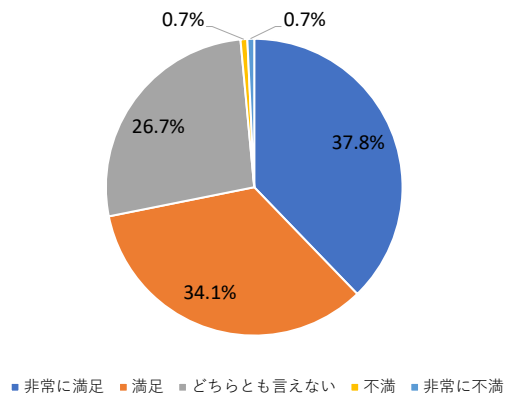
	今年度		昨年度	
	人数	割合	人数	割合
非常に満足	48	35.6%	43	34.1%
満足	43	31.9%	43	34.1%
どちらとも言えない	37	27.4%	36	28.6%
不満	5	3.7%	4	3.2%
非常に不満	2	1.5%	0	0.0%
総計	135	100.0%	126	100.0%

「非常に満足」「満足」の合計 91人 67.5% (86人 68.3%)

※（）内は昨年度数値

※割合は、小数点第2位以下を四捨五入したため、合計は必ずしも100%にならない。

14.利用者同士の交流やコミュニケーション形成への支援度について

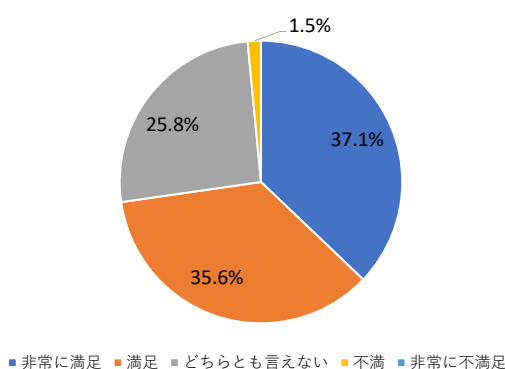


	今年度		昨年度	
	人数	割合	人数	割合
非常に満足	51	37.8%	44	34.6%
満足	46	34.1%	45	35.5%
どちらとも言えない	36	26.7%	32	25.2%
不満	1	0.7%	6	4.7%
非常に不満	1	0.7%	0	0.0%
総計	135	100.0%	127	100.0%

「非常に満足」「満足」の合計 97人 71.9% (89人 70.1%)

※（）内は昨年度数値

15.イベントやプログラムの情報提供や広報活動について

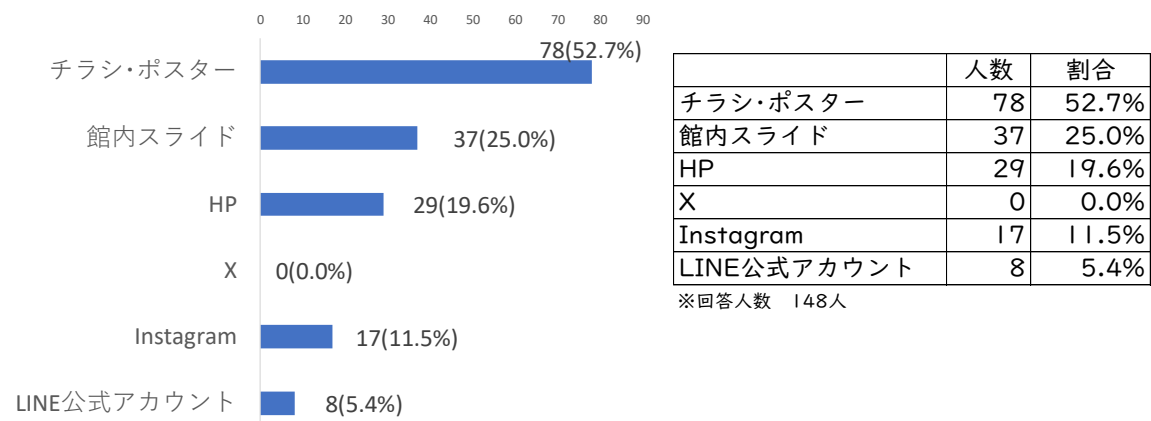


	今年度		昨年度	
	人数	割合	人数	割合
非常に満足	49	37.1%	45	37.5%
満足	47	35.6%	41	34.2%
どちらとも言えない	34	25.8%	30	25.0%
不満	2	1.5%	4	3.3%
非常に不満	0	0.0%	0	0.0%
総計	132	100.0%	120	100.0%

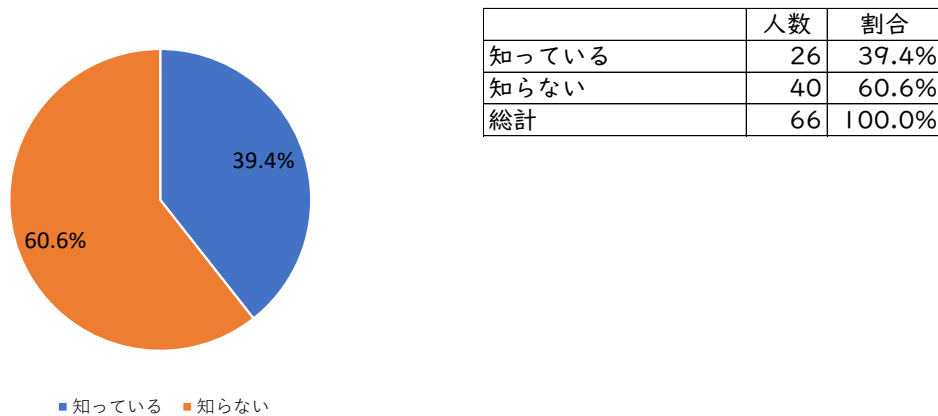
「非常に満足」「満足」の合計 96人 72.7% (86人 71.7%)

※（）内は昨年度数値

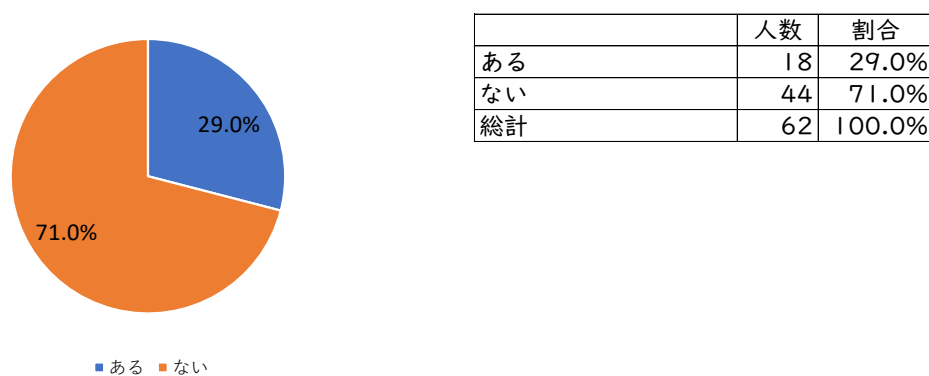
16. イベントやプログラムの閲覧媒体（複数選択可能）



18. ゆうさんを知っていますか？【小学生～高校生のみ回答】



19. ゆうさんと遊んだことはありますか？【小学生～高校生のみ回答】



(4) イベント調整事業

①クラシックライブ PLUS

【事業目的】

プロの演奏家による生演奏を通して、子どもたちに心の健康と豊かな体験を届けるとともに、親子を支援する活動に音楽を取り入れることで、新たなコミュニケーションのきっかけとなることを目的として開催した。

【事業内容】

市内の子ども食堂を実施している「たまご食堂」において活動実績があった「一般財団法人100万人のクラシックライブ」の協力により、ヴァイオリンとピアノによるクラシックライブを開催した。(自由鑑賞)

【参加者】

回	日時	参加人数
第1回	2025(令和7)年 4月 9日(水) 11:45~12:30	92名
第2回	2025(令和7)年 5月 14日(水) 11:45~12:30	93名
第3回	2025(令和7)年 6月 11日(水) 11:45~12:30	90名
第4回	2025(令和7)年 7月 9日(水) 11:45~12:30	96名
第5回	2025(令和7)年 8月 13日(水) 11:45~12:30	130名
第6回	2025(令和7)年 9月 10日(水) 11:45~12:30	141名
第7回	2025(令和7)年 10月 8日(水) 11:45~12:30	135名
第8回	2025(令和7)年 11月 12日(水) 11:45~12:30	99名
第9回	2025(令和7)年 12月 10日(水) 11:45~12:30	107名
第10回	2026(令和8)年 1月 7日(水) 11:45~12:30	136名
第11回	2026(令和8)年 2月 11日(水) 11:45~12:30	99名
第12回	2026(令和8)年 3月 11日(水) 11:45~12:30	120名
合計	全12回	1,338名

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール

【事業成果】

みんなのホールでの開催とし、乳幼児とその保護者だけでなく、高齢者やしょうがいを持った方の鑑賞もあり、子どもから大人まで誰もがクラシック音楽を気兼ねなく楽しめるイベントとなった。

◆参加者アンケート結果◆	
満足(とても満足・満足)	77%
ふつう	19%
不満(とても不満・不満)	0%



②サイエンス LAB+

～科学好きの東大生が『科学のおもしろさ』伝えます～

【事業目的】

東京大学サイエンスコミュニケーションサークル CAST に昨年度に引き続き協力してもらい、子どもたちに実験や工作を通して、科学のおもしろさを体験してもらうために実施した。

【事業内容】

目の前で多彩な実験を実演・解説、実際に工作や体験ができる実験教室を行うなど、各回で異なるテーマで科学に触れる機会を提供した。



回	テーマ	回	テーマ
第1回	工作教室 カメラオブスキュラ	第7回	サイエンスショー 波ショー
第2回	工作教室 浮沈子	第8回	工作教室 念力振り子
第3回	サイエンスショー 風船と浮遊	第9回	工作教室 鏡の箱
第4回	工作教室 光の箱をつくろう	第10回	工作教室 くるくら万華鏡
第5回	工作教室 スイングバイ	第11回	工作教室 光るスライム
第6回	工作教室 ゾートロープ	第12回	サイエンスショー 飛翔ショー

【参加者】

回	日時	参加人数
第1回	2025（令和7）年4月19日（土）13:00～16:00	163名
第2回	2025（令和7）年5月17日（土）13:00～16:00	129名
第3回	2025（令和7）年6月21日（土）13:00～16:00	177名
第4回	2025（令和7）年7月19日（土）13:00～16:00	127名
第5回	2025（令和7）年8月20日（水）13:00～16:00	110名
第6回	2025（令和7）年9月17日（水）13:00～16:00	36名
第7回	2025（令和7）年10月18日（土）13:00～16:00	80名
第8回	2025（令和7）年11月15日（土）13:00～16:00	43名
第9回	2025（令和7）年12月13日（土）13:00～16:00	103名
第10回	2026（令和8）年1月17日（土）13:00～16:00	81名
第11回	2026（令和8）年2月21日（土）13:00～16:00	127名
第12回	2026（令和8）年3月14日（土）13:00～16:00	78名
合計	全12回	1,254名

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール

【事業成果】

科学に触れる機会を提供するだけに留まらず、親子や友達同士の参加による共同作業や、主催する大学生と子どもたちとの交流など、さまざまなつながりのきっかけを生み出すイベントとなった。



③魔改造ワークショップ

～NHK「魔改造の夜」に出場した東大生とおもちゃを改造しよう～

【事業目的】

昨年度に引き続き、東大の学祭にて子ども向けイベントの実施や、NHK「魔改造の夜」に出場等で実績がある東大出身の中島眞由氏が代表となる「つくらぶる」に協力してもらい、小学生の子どもたちにおもちゃの改造を通して、ものづくりのおもしろさを体験してもらうために実施。



【事業内容】

おもちゃを解体して仕組みを学び、自分なりのアイデアで身近な材料を使って改造するなど、想像力を養い、ものづくりに触れる機会を提供した。「つくらぶる」メンバーは、教えすぎず、戸惑う子には程よいヒントを出す指導方針で子どもたちの力を引き出した。

【参加者】

回	日時	参加人数
第1回	2025（令和7）年 8月31日（日）10：30～12：30	9名
第2回	2025（令和7）年 8月31日（日）14：30～16：30	12名
合計	全2回	21名

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム

【事業成果】

ものづくりを体験する機会を提供するだけに留まらず、実際にものに触れ、試行錯誤しながら自分で考える力を養う時間を生み出す内容となった。

また、主催者がものづくりを心から楽しむ様子は子どもたちの好奇心を刺激し、大学生と子どもたちのあたたかな交流も生まれるイベントとなった。



④矢川プラス音楽の日 (ア) のど自慢大会

【事業目的】

これまでも矢川プラス音楽の日で協力いただいているプロミュージシャン川久保秀一氏との共催により、のど自慢大会とプロミュージシャンライブを2部制として開催することにより、地域のにぎわいづくりと、多世代の発表の場（居場所づくり）を創出することを目的とする。



【事業内容】

子どもから大人まで総勢23組によるカラオケ大会（前回受賞者2名による歌唱もあり）とプロミュージシャンによるライブを開催する。

審査員にはミュージシャン篠原氏、濱崎国立市長、メルカード商店会日原会長、前回受賞者、矢川児童館を利用する中学生に就任してもらい、地域でつくるイベントとした。また、商店会からは入賞者の景品の提供協力をいただいた。

◆ミュージシャンライブ出演者

川久保秀一氏、篠原美也子氏、後藤郁夫氏、赤石敏子氏、前田 sharaku 卓次氏

【参 加 者】

回	日時	参加人数
第1回	2025（令和7）年7月12日（土） 18:30～21:00	169名

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール

【事業成果】

多世代の参加者からなるイベントならではの、あたたかな雰囲気での開催となった。個人の発表にとどまらず、出演者同士の交流も生まれる場になった。



④矢川プラス音楽の日

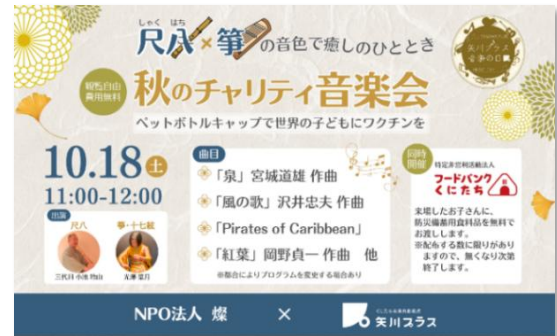
(イ) 秋のチャリティ音楽会～尺八と箏の音色で癒しのひととき～

【事業目的】

地域のにぎわいづくりと、子どもたちの豊かな育ちを推進するため、普段触れる機会の少ない日本の伝統楽器の演奏を聴く体験を提供する。

【事業内容】

地域の福祉団体(天成舎)の代表を務める尺八演奏家の「三代目 小池 玲山」氏との共催で、昨年に引き続き開催した。同時に、同団体が施設内に設置している途上国等へのワクチン寄付につながるペットボトルキャップ回収容器のPRも併せて実施。また、NPO フードバンクくにたちの活動の紹介を兼ねて、防災備蓄用食料を無料で配布した。



【参加者】

回	日時	参加人数
第1回	2025（令和7）年10月18日(土) 11:00～12:00	61名

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス とおり土間・みんなのホール

【事業成果】

尺八や箏、二胡など、普段触れることが少ない楽器の演奏を間近で聞く貴重な機会を提供することができた。



④矢川プラス音楽の日 (ウ) クリスマスコンサート

【事業目的】

季節の音楽イベントとして、来館者に音楽に触れる機会を提供するとともに、多数の人の来館動機となり地域ににぎわいを生み出すこと、また、矢川プラスや地域で活動しているバンドなどの日ごろの練習の成果の発表の場となること。

【事業内容】

出演希望者を施設登録団体から募集し、総勢12組が出演するコンサートを開催する。

国立音楽大学附属高校の高校生グループのバンドや合奏、シニアによるリコーダー合奏、職場の仲間によるバンド、現役音楽大学の学生による歌唱、親子合唱、フラダンス、親子バンド、ゴスペルなど、多様なステージにより矢川プラスを盛り上げるイベントとする。

また、メルカード商店街の「中道カフェ」によるコーヒー、焼き菓子の屋台の出店も実施された。

【参加者】

回	日時	参加人数
第1回	2025（令和7）年12月21日（日） 11:00～15:00	出演者 12組 観覧者 627名

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール

【事業成果】

全12組の公演で延べ627名の観覧者を集客するイベントとすることができた。

また、出演を目標に、積極的に当施設を利用するなど、副次的な効果もあった。サークル活動などの発表の場は限られており、この公演に出演することを楽しみに活動しているという声や、このような機会を得ることができてよかったとの意見も多く、出演者からも好評であった。



④矢川プラス音楽の日 (エ) オーケストラ・マミューズ 音の花束

【事業目的】

夜間施設を有効利用し、中高生から大人を対象として、音楽を通じた多世代交流と地域のにぎわいづくりを提供すること。

【事業内容】

芸小ホール等でも演奏活動を行っている「オーケストラ・マミューズ」による、地域貢献活動の一環としたアンサンブル演奏会。昨年度から引き続きの開催となる。国立市在住のメンバーを中心に、6～10名による演奏。



【参加者】

回	日時	参加人数
第1回	2025(令和7)年5月11日(日)18:30~19:30	97名
第2回	2025(令和7)年10月5日(日)18:30~19:30	112名
合計	全2回	209名

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス とおり土間・みんなのホール

【事業成果】

夜間の静かな施設で、弦楽器の演奏やソプラノ歌手による歌唱を間近で聞く貴重な機会を提供することができた。特にシニア層に好評を得た。普段よりおしゃれをして来たとスタッフに話しかける参加者や、鑑賞中に涙を流す様子もあった。



(5) 地域連携事業

①心とからだイキイキ！たのから体操（東京女子体育大学連携事業）

～体育大学生と「たの」しく「から」だを動かす健康づくり～

※11月の第7回以降、「介護予防教室」から名称を「たのから体操」に変更

【事業目的】

高齢者が心とからだの健康を保ちながら、住み慣れた地域での生活を継続できるよう、体操や学生との交流を通じた介護予防や生きがい支援を目的とする。

【事業内容】

高齢者を対象とし、東京女子体育大学との共催により月1回東京女子体育大学の学生とともに体操とレクリエーションを実施している。

◆講師：東京女子体育大学 教授 土井晶子氏 他

◆募集人数：各回 30 名

【参加者】

回	日時	参加人数
第1回	2025（令和7）年 4 月 30 日（水）13：00～14：20	30 名
第2回	2025（令和7）年 5 月 28 日（水）13：00～14：20	30 名
第3回	2025（令和7）年 6 月 25 日（水）13：00～14：20	18 名
第4回	2025（令和7）年 7 月 23 日（水）13：00～14：20	17 名
第5回	2025（令和7）年 8 月 27 日（水）13：00～14：20	21 名
第6回	2025（令和7）年 9 月 17 日（水）13：00～14：20	25 名
第7回	2025（令和7）年 11 月 26 日（水）13：00～14：20	29 名
第8回	2025（令和7）年 12 月 17 日（水）13：00～14：20	25 名
第9回	2026（令和8）年 1 月 14 日（水）13：00～14：20	25 名
第10回	2026（令和8）年 2 月 25 日（水）13：00～14：20	18 名
第11回	2026（令和8）年 3 月 25 日（水）13：00～14：20	18 名
合計	全 11 回	256 名

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール

【事業成果】

参加者からは「毎回楽しみにしている」「学生との交流が楽しく、元気が出る」などの声が多く挙がり、地域の高齢者の介護予防や生きがい支援となっている。また、子どもが一緒に参加した回もあり、高齢者・学生・子どもが談笑している姿も見られるなど、地域での多世代交流のきっかけとなっている。



②介護予防教室特別企画（東京女子体育大学連携事業）

「東京女子体育大学でからだを動かして、心身ともにリフレッシュを」

【事業目的】

東京女子体育大学との共催により、月1回矢川プラスにおいて開催しているたのから体操（介護予防教室）の特別企画として、高齢者の外出意欲の向上、参加者同士や学生との交流を目的としている。また、体育大学における生涯スポーツ教育の一環として、学生が高齢者の健康づくりを目的とした運動プログラムを企画・実施する実践的な学びの機会とする。

【事業内容】

学生と一緒に食堂で昼食をとった後、構内のアリーナで学生によるパフォーマンスの鑑賞を行った。また、構内のホールで体操やレクリエーションを実施し学生と交流した。

◆講師：東京女子体育大学 教授 土井晶子氏、村石理恵子氏

◆募集人数：35名

【参加者】

回	日時	参加人数
第1回	2025（令和7）年10月29日（水）11:15～14:30	32名

【実施場所】

学校法人藤村学園 東京女子体育大学

【事業成果】

参加者からは、「アリーナでの新体操のパフォーマンス鑑賞で、学生の素敵な笑顔を見て元気が出了。」「年一度の女子大での教室はとても楽しみです。」という声があがるなど、普段なかなか入ることができない大学内での交流を楽しんでいた。

また、本企画をきっかけに、月1回矢川プラスで開催しているたのから体操（介護予防教室）にも参加するようになったという参加者もあり、地域のつながりを生み出している。



◆年代別人数◆	
50歳代	1名
60歳代	2名
70歳代	13名
80歳代	12名
90歳代	1名
不明	3名

◆アンケート結果◆	
とても満足	26名
満足	3名
普通	0名
不満	0名
とても不満	0名
※回収枚数：29枚	



③スポーツの日（東京女子体育大学連携事業）

【事業目的】

東京女子体育大学・東京女子体育短期大学と連携し、次の4つの目的をもって大学生が子どもたちに多様なスポーツ体験を提供することで、学生たちの実践的な学習の場として実施した。

- ◆ 子どもたちが憧れを感じて、さまざまなスポーツに親しみ、からだを動かす楽しさを感じる
- ◆ 子どもたちが地元の大学・学生を身近な存在と感じたり、将来の夢を具体的に描き出したりできる機会をつくる
- ◆ 学生が自身の強みを活かして子どもたちと関わることで、現場における実践的な学びの場とする
- ◆ 大学と矢川プラスがコラボレーションすることで地域を活性化する



【事業内容】

東京女子体育大学の学生の授業の一環として、矢川プラス館内に様々な子ども向けスポーツ体験のブースを出展する。

【参加者】

回	日時	参加人数
第1回	2025（令和7）年 7月13日(日) 10:00～12:30	—
第2回	2025（令和7）年 11月16日(日) 10:30～12:30	—
合計	全2回	—

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス とおり土間・みんなのホール・多目的ルーム

【事業成果】

子どもたちに様々なスポーツ体験を提供し、学生たちの実践的な学習の場となった。また、大学生と子どもたち、子どもたち同士などの多世代交流の場となった。



④遊びの仕掛人プロジェクト（東京女子体育短期大学連携事業）

【事業目的】

東京女子体育短期大学の学生が、子どもたち向けのプログラムの計画から指導までの過程を学ぶことを目的とする。また同時に、矢川プラスを利用する子どもたちが「やりたい」と感じる環境を提供することで、子どもたちが主体的に様々な遊びに親しみ、からだを動かす楽しさを感じることができ、子どもたちが地元の大学・学生を身近な存在と感じたり、将来の夢を具体的に描き出したりできる機会をつくることを目的とし、共催で開催した。

【事業内容】

「やりたい！があふれる まちごと遊びの万博」をテーマに、矢川プラス館内に様々な子ども向けの遊び体験のブースを出展し、スタンプラリー制の体験型イベントとして実施。企画から実施まで学生が主体となり、「矢川プラス万博（やがプラばんぱく）」を開催した。

【参 加 者】

回	日時	参加人数
第1回	2025（令和7）年12月6日（土） 13:30～16:30	—

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス（とおり土間／みんなのホール／多目的ルーム／スタジオ／こども縁側／こどもラボ／みんなのひろば）

【事業成果】

大学生の実践的な学習の場となったことに加え、子どもだけでなく大人もスタンプラリーなどを楽しみながら様々なパビリオンをまわる姿が見られ、多世代で遊びやからだを動かすことの楽しさを感じることができたイベントとなった。



⑤心が軽くなるお話カフェ（傾聴ボランティアみみずく）

【事業目的】

高齢者を中心とした近隣住民に対し傾聴ボランティアが話し相手や茶飲み仲間のような関係性を築くことで、市民にとって矢川プラスが心安らぐ場所となることを目指すとともに、講座を修了した市民の活躍の場を確保することで、市民活動の活性化を図ることを目的としている。



【事業内容】

国立市ボランティアセンター主催の「傾聴ボランティア養成講座」の修了者で構成される「傾聴ボランティアみみずく」の協力により、地域の人々の話を傾聴するブースを月1回開催し、1回あたり最大4枠設置している。

【参加者】

回	開催日時	参加人数
第1回	2026（令和8）年1月19日（月）10:00～11:00	4名
第2回	2026（令和8）年2月16日（月）10:00～11:00	1名
第3回	2026（令和8）年3月16日（月）10:00～11:00	1名

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール

【事業成果】

参加者は、傾聴ボランティアと1対1で1時間、日常の話や家族の困りごと等多岐にわたる話をされている。

参加者の中には話しながら涙する姿もあり、傾聴ボランティアにじっくりと話を聞いてもらうことで、気持ちを吐き出せている様子が見受けられた。繰り返し参加される方や、「お話カフェに参加するために初めて矢川プラスに来た」とおっしゃる方もいらっしゃり、話を聞いてくれる人の存在の大切さを感じられた。

傾聴ボランティアみみずくの方々にとっても、活動場所が増えたことで喜ばれている。



⑥ジャックとダンディがやってくる（リトルホースとふれあう会連携事業）

【事業目的】

子どもたちを中心に、来館者に動物と親しむ機会を提供する。

昨年度も実施し、多くの参加者から好評であったため、引き続き「リトルホースとふれあう会」の協力により開催した。

【事業内容】

リトルホースとふれあう会から、リトルホースのジャックとダンディに来てもらい、矢川プラスの来館者と動物が触れ合う企画とした。



【参加者】

回	開催日時	参加人数
第1回	2025（令和7）年11月22日（土）14：30～15：30	延べ268名
第2回	2026（令和8）年3月22日（日）14：30～15：30	延べ290名

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのひろば

【事業成果】

矢川プラスに来館した多くの親子連れや小学生が、ジャックとダンディに触れたり写真撮影をしたりとふれあいを楽しんでおり、子どもたちのいきいきとした表情を見ることができた。

恐る恐るリトルホースに触る子どもをほほえましく見守る保護者の姿や、家族で一緒に写真を撮る姿なども見られた。



⑦やがわの棋士（老人福祉センターなごみ連携事業）

【事業目的】

老人福祉センターなごみで活動する将棋サークルと連携し、矢川プラス館内における高齢者による活動の活性化及び将棋を通した多世代交流を目的とする。

【事業内容】

月1回、老人福祉センターなごみで活動する将棋サークルの方にお越しいたき、主に子どもを対象とした将棋の体験・対局コーナーを設置している。2024年12月から導入したポイント制とポイントに応じた景品を用意する形式を継続し、実施した。



【参加者】

回	日時	参加人数
第1回	2025（令和7）年 4月2日（水）15:00~16:30	18
第2回	2025（令和7）年 5月7日（水）15:00~16:30	12
第3回	2025（令和7）年 6月4日（水）15:00~16:30	22
第4回	2025（令和7）年 7月2日（水）15:00~16:30	14
第5回	2025（令和7）年 8月6日（水）15:00~16:30	21
第6回	2025（令和7）年 9月3日（水）15:00~16:30	21
第7回	2025（令和7）年 10月1日（水）15:00~16:30	20
第8回	2025（令和7）年 11月5日（水）15:00~16:30	20
第9回	2025（令和7）年 12月3日（水）15:00~16:30	17
第10回	2026（令和8）年 1月7日（水）15:00~16:30	12
第11回	2026（令和8）年 2月4日（水）15:00~16:30	18
第12回	2026（令和8）年 3月4日（水）15:00~16:30	20
合計	全12回	215

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール

【事業成果】

小学生を中心に、未就学児の親子やご高齢の方など、様々な世代の参加があった。毎回10名を超える参加者があり、なかにはポイントカードを毎回持参し、目標の景品に到達するまで何度も対局に向かう参加者や、将棋の参考書をみながら将棋サークルの実力者へ挑戦する参加者もあり、好評の企画となった。



⑧矢川まつりサマーデイズナイト（矢川メルカード商店会連携事業）

【事業目的】

地元商店会の夏祭り開催を支援することにより、地域のにぎわいづくりを進める。

【事業内容】

地元商店会の矢川メルカード商店会が主催となる「矢川まつりサマーデイズナイト」の会場として矢川プラスを活用し、運営を支援する。

矢川メルカード商店街の入口から矢川プラスへの「阿波おどり」が披露されるとともに、屋外ひろばに飲食店舗を開設したほか、館内は休憩スペースとして開放、屋外ステージではバンド演奏など、地域一体が盛り上がるイベントを開催する。



【参加者】

開催日時	参加人数
2025（令和7）年9月6日（土） 16:00～21:00	延べ 5,349 名

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス（とおり土間／みんなのホール／スタジオ／多目的ルーム／みんなのひろば）

【事業成果】

当日の館内来館者数は延べ 5,349 名を記録し、地域のにぎわいを創出できた。



⑨南高梅漬け方教室（株式会社東京さえき連携事業）

【事業目的】

地元企業と連携しながら、まちのにぎわいづくりや地域コミュニティの活性化につなげる。

【事業内容】

株式会社東京さえきが、ＪＡわかやま及び東京多摩青果株式会社の調達した紀州梅の様々な加工用途を学び、梅ジュースをつくる教室を実施した。当法人は、広報活動、当日の会場設営、受付業務を担った。



【参 加 者】

回	開催日時	参加人数
第 1 回	2025（令和 7）年 5 月 29 日（木）10：00～12：00	20 組
第 2 回	2025（令和 7）年 5 月 29 日（木）13：00～15：00	20 組
合計	全 2 回	40 組

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ホール

【事業成果】

募集定員に対し満員となった事業で、地元企業と連携して、地域コミュニティの活性化につながる事業とすることができた。



(6) ユースワーク事業

①国立第六小学校における矢川プラスワークショップ

【事業目的】

国立第六小学校の全児童に対し、矢川プラスの施設見学及び、利用マナー向上を目的にワークショップ形式で授業を実施した。

【事業内容】

国立第六小学校の全児童に対し、スライドを用いて施設の利用方法や利用マナーと一緒に考える機会を提供した。今年度は1～3年生は矢川プラスで実施し、4～6年生は第六小学校にて実施した。

スライドではごみ捨て、館内走行、荷物放置、ゲーム音、ひろばや築山での遊び方など、矢川プラスで実際に起こっている小学生にとっても身近な問題を取り上げ、解決方法を参加者と考えた。

【実施場所】

- 1日目：くにたち未来共創拠点矢川プラス全館
- 2日目：国立第六小学校

【事業成果】

禁止事項や注意書きがない矢川プラスにおいて、みんなでお互いに思いやりをもって楽しく過ごせるように考えられる機会となった。また、今年度より新たに配置されたユースワーカーの自己紹介と、放課後の充実に向けた子どもたちへの呼びかけを行った。ワークショップ後には、高学年の子どもたちを中心に、お互いが声をかけ合い、利用方法の見直しを行う姿やユースワーカーへのこども主体の企画提案も見られるようになった。



②フロアワーク

【事業目的】

矢川プラスに集うユース（子ども、若者）たちとの間に信頼と共感の関係を築き、一人ひとりの思いや願いに寄り添いつつ、彼らの中にある自ら学び育つ力が十分に発揮される環境を創出することを目的に、ユースワーカーがユースと積極的に交流活動を行う。

【事業内容】

平日の放課後を中心に、ユースワーカーが館内のフロアにて、ユースとの遊びや対話、進路や学習の相談などを行う。それらの実践を通して、ユースとの信頼関係を構築した。ユースの実態やニーズを把握し、ユース企画の伴走支援や、ユースに向けた環境整備などを行った。

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール／とおり土間／みんなのひろば

【事業成果】

環境整備として2025（令和7）年5月より、とおり土間に交流デスクを設置し、子どもたちの多い時間帯を中心にユースワーカーが常駐し、そこを拠点として遊びや会話を通じてユースとのコミュニケーションを取っている。信頼関係を構築する際の指標として、ユースと名前呼び合える関係性の構築を目標と定めた。夏休み以降は関係性の深まりが表れ始め、子どもたちのやってみたいアイデアや遊びを伴走しながら企画として実践することや、中高生を中心に学習面や人間関係の悩みを聞くことが増えてきている。

また同年9月より、子どもの活動を支え伴走するための仕組みづくりの一環として、交流ボードを設置し、活動を可視化する取り組みを進めている。交流ボードには子どもが企画した単発イベントの告知や、共通の趣味で集まることができるサークルの募集などの機能を持たせている。

今後の課題として、交流ボードの活性化や探究的な学習に代表される主体的な学びのプロセスの構築が挙げられる。これらの実現に向けて、日常的なフロアワークを丁寧に実践しつつ、ユースワーカー自らが子ども・若者向けの企画を多く仕掛けることで子ども・若者同士の交流を促進させていきたい。



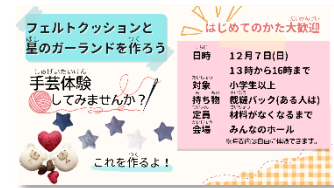
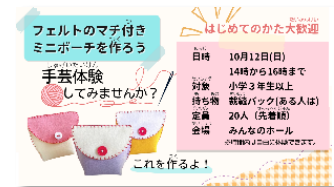
③ユース企画の伴走支援

【事業目的】

ユース世代の利用者が、矢川プラスを活用した主体的な活動を醸成・支援する目的で、フロアワークでの関わりや、ユース自身の興味関心に応じて、「やりたい」という気持ちに寄り添いながら企画者への助言や打ち合わせ、企画書・広報の作成等の伴走支援を実施する。

【事業内容】

フロアワークにて、ユースが熱心に取り組んでいる遊びや、興味を持っている事象を把握し、ユース自身の動機に応じて調査の補助・協力やアイデアの助言等を実施している。その中で「同世代に活動を広めたい」「みんなで楽しみたい」といった類の希望に応じ、企画として実現することを提案し、対話を繰り返しながら伴走支援を行った。



内容	日時	参加人数
「ボンバーマン R 体験会」	2025（令和 7）年 8 月 25 日（月）15:30～17:20	9
「フェルトのマチ付きミニポーチを作ろう」	2025（令和 7）年 10 月 12 日（日）14:00～16:00	8
「フェルトクッションと星のガーランドを作ろう」	2025（令和 7）年 12 月 7 日（日）13:00～16:00	10

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール／とおり土間

【事業成果】

これらの企画は、当時中学 3 年生と小学 3 年生がとあるゲームの魅力をユースワーカーに語りだしてくれたことや、小学 5 年生が手芸に興味があり、発展的なものに挑戦したいと語りかけてくれたことから始まっている。どんなイベントにしたいか、特にがんばりたいポイントは何か、など発案者と何日も丁寧に対話を重ねて企画書を一緒に作り、イベントを実施した。

当日は、参加者から喜びや楽しみの声が聞こえると、誇らしげに笑みを浮かべていた一方で、緊張でうまく言葉がでない瞬間や、自分が作ったチラシを受け取ってもらえなかった時などは悔しい感情を抱いている様子も散見され、企画を通して様々な経験や学びを得ている様子が伺えた。

主体的に興味関心を広げていく活動は、自身にとっての学びや経験につながるのみならず、同世代の他のユースにとってもよい刺激をもたらすものである。誰かの活動が、他の人に伝播し、新たな活動を生み出すような心地よい循環を創り出すためにも今後も様々なユースに伴走支援をしていきたい。



④アフタースクール充実事業 ユース向け企画 (ア) クリスマスツリーを飾りつけしよう！

【事業目的】

クリスマスシーズンにおけるユースの文化的体験の機会及び同年代の交流を提供、促進すること及び、ユースワーカー自らがイベントを企画し、実践する姿をユースの前で示すことで、ユースがイベントを企画する事のハードルを下げ、ユースの主体的な活動を支援する環境を醸成することを目的とする。

【事業内容】

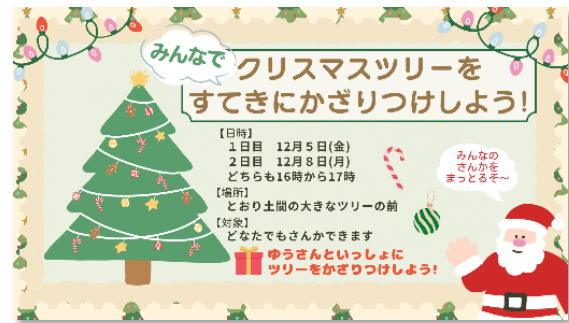
矢川プラスで設置しているクリスマスツリーを、2日間に分けてワークショップ形式で装飾した。当日とおりに土間やみんなのホールを利用していたユースに声をかけ、オーナメントを渡し、コミュニケーションをとりながら自由に装飾を実施した。

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス とおり土間

【事業成果】

1日目は2名、2日目は8名の参加者があり、特に2日目は小学生から高校生まで幅広いユースの参加者があった。積極的に装飾を進める参加者や、少し遠くからツリー全体をみてバランスを伝える参加者など、自然と役割が生まれながら楽しんで装飾を行う様子が見られた。装飾方法については、参加者の意見を尊重しながらレイアウトを決めて装飾を行った。例年、クリスマスツリーは職員のみで装飾を行い、配置していたが、ワークショップとすることでユースの文化的体験や交流の機会、さらには矢川プラスを自分ごととして捉え直す場として発展させることができた。ユースワーカーが率先して企画を創り出す姿から、ユースがインスピレーションを受け、新たなチャレンジに踏み出せるように、今回のような参加ハードルが低い取り組みも積極的に打ち出していきたい。



④アフタースクール充実事業 ユース向け企画 (イ) one talk Café (ワントークカフェ)

【事業目的】

定期試験期間中の中高生を対象に、無料のカフェを実施することで、矢川プラスに居心地の良さを感じてもらい、ユースワーカーとの緩やかな交流を生み出すことを目的として開催した。

【事業内容】

中高生が利用できるカフェブースを開設し、ユースワーカーが手掛ける簡単なトークゲームに参加することで無料のホットドリンクを獲得することができる交流企画。定期試験期間中の勉強ニーズが高い中高生のリフレッシュの機会の提供と、交流を通じた居場所づくりを実施した。

【実施日】

開催日時	実施場所
2026（令和8）年2月25日（水）16:00～19:00	矢川プラス とおり土間
2026（令和8）年2月26日（木）16:00～19:00	矢川プラス とおり土間
2026（令和8）年2月28日（土）13:00～17:00	矢川プラス 多目的ルーム

【事業成果】

3日間で延べ60人の中高生がカフェを利用し、105杯のドリンク提供を通じた交流を行った。カフェでお茶をすることを主軸とした企画であるため、気軽に企画に参加していた中高生が多く見受けられた。トークゲームでの数回の会話をきっかけに中高生同士や、ユースワーカーとの交流が活性化し、複数回カフェを利用した人や、口コミで他の中高生に本企画をオススメする人が散見した。本企画を通じて初めてユースワーカーとコミュニケーションをとったユースもあり、ユースワーカーの認知度向上及び、矢川プラスに対する安心感や親近感の向上の一助となった。



④アフタースクール充実事業 ユース向け企画 (ウ) 第1回ゲーム大会

【事業目的】

春休み期間中の児童・生徒を対象に、多くの子どもが参加でき馴染みのあるゲームタイトルを用いた大会を実施することで、学校や年齢の異なる子ども同士の交流を促進することを目的として開催した。

【事業内容】

ユースワーカー主催のゲーム大会を企画し、大会前日までの練習会や大会当日の競技を通じて、参加者が普段とは異なるコミュニティのユースと競い、ときに賞賛をし合うことで、好きな事や得意な事をもとにした他者との関係性構築や相互理解を促す機会を提供する。

【実施日】

区分	開催日時
練習会	2026（令和8）年3月11日(水) 14:30～17:50
	2026（令和8）年3月12日(木) 14:30～17:35
	2026（令和8）年3月18日(水) 14:00～17:50
	2026（令和8）年3月23日(月) 15:00～17:40
	2026（令和8）年3月24日(火) 15:00～17:40
	2026（令和8）年3月25日(水) 15:00～17:30
	2026（令和8）年3月26日(木) 13:30～17:50
大会当日	2026（令和8）年3月28日(土) 13:00～16:00

【事業成果】

常時活動のフロアワーク中に、ゲーム大会の取り扱うタイトルについてのアンケート調査を実施し、回答結果をもとに企画を行った。

大会当日までの期間で、ユースワーカーが主催する練習会を7回実施し、練習会には延べ118名が参加した。普段はあまりゲームで遊ばない子どもや、大会で行うルールに慣れていない子どもが気軽に参加できる機会となった。

大会当日は、15名の参加があり真剣な表情で対決を行う姿が見られた。館内に居合わせた親子連れや、高校生が観戦する様子もあり地域にひらかれた矢川プラスならではの盛り上がりが生まれていた。参加者した子どもからは、次回を待ち望む声や、別のタイトルでの開催を求める声があり、満足度の高さが伺えた。



⑤出張クレヨン（任意団体クレヨン連携事業）

【事業目的】

国立市で中高生がふらっと立ち寄れる居場所を作ることを目指す任意団体クレヨンと連携し、ユース世代とそれを支える団体との緩やかな繋がりを生み出しながら、中高生の挑戦と交流の場を創り出すことを目的とした企画を共催した。



【事業内容】

簡単な調理活動やワークショップを通じて中高生とスタッフが交流できる企画として開催した。

回	内容	開催日時
第1回	マシュマロを作ろう	2025(令和7)年8月17日(日)18:00~20:00
第2回	スパイスからコーラを作ろう	2025(令和7)年11月3日(祝)14:00~17:00
第3回	スパイスチャイを作ろう・Hot Drink CAFE	2026(令和8)年2月9日(月)16:00~19:00

【事業成果】

中高生を対象に、1回目は7名、2回目は10名、3回目は18名が参加した。なお、2回目については実施日程を考慮し小学5年生以上の参加を可とした。普段は学習や放課後の休憩目的で来館している参加者にとって矢川プラス内のキッチン設備を使った調理活動は新鮮であり、施設の様々な利用方法を知る機会となっていた。また、3回目のHot Drink CAFEでは、自らが調理したチャイを片手に、終了時間ギリギリまで他の参加者やスタッフと会話やボードゲームに興じる姿が散見し、ユース世代にとって余暇を安心して過ごすことのできる居場所は貴重であることが伺えた。

今回のように、外部団体と連携した活動の実施は、ユースにとっても様々な人や価値観との出会いを生み出すきっかけとなるため、ユースワーク事業として今後も継続して協力体制を構築していきたい。



⑥放課後スタディラウンジ（学生団体一橋交流促進委員会連携事業）

【事業目的】

一橋大学のソーシャル・データ・サイエンス学部の学生のフィールドとして矢川プラスで実施した中高生対象のアンケート調査に関して、結果を分析し、中高生にとって居心地のよく、自然と同世代との交流ができるような場のニーズを見出したことから、「交流もできる勉強会」をテーマに企画・開催した。

【事業内容】

矢川プラスを利用している中高生を対象に、館内の掲示板と来館者へのチラシの手渡しで周知を行い、お菓子を片手に同世代の中高生が集まりつつ、気軽に一橋大学の学生へ学習の相談をすることができる自習スペースとして開催した。

【実施日】

- ①2026（令和8）年1月28日（水）17：00～19：00
- ②2026（令和8）年2月9日（月）17：00～19：00

【実施場所】

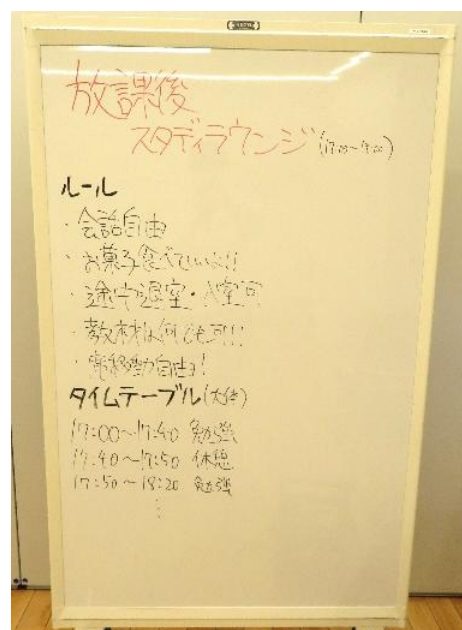
くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム（小）

【事業成果】

1日目は3名、2日目は5名の中高生が参加した。矢川プラスが通年で開催している自習室「学習応援 ROOM」とは異なり、一橋大学の学生2名が学習のサポートや進路の相談に乗ることで、会話を通した交流が自然と生まれ、中高生の学習ニーズを満たしつつ、和やかな雰囲気の間を創り出すことができた。

特に2日目は、私立高校の入学試験を翌日に控えていた中学生が参加し、受験時の心構えについて大学生にアドバイスを求める姿も見受けられた。中高生にとって同学年の友人や保護者とは違った立場で交流・相談ができる大学生の存在は有意義であったのではないだろうか。

今回のように、大学生からの提案・企画をもとにした活動の実施は、ユース同士の交流の促進や主体性の発揮を創造することが大いに期待されるため、ユースワーク事業として積極的に提案を受け入れていきたい。



⑦矢川ピカピカプロジェクト「地域の人たちと関わろう」(国立第六小学校連携事業)

【事業目的】

地域の清掃活動や奉仕活動を行い、子どもたちと地域の人との繋がりや、地域への愛着を育むことを目的として開催した。

国立第六小学校と連携し、6年生の家庭科単元「地域の人たちと関わろう」の授業の中で活動を行った。

【事業内容】

国立第六小学校の6年生と協働し、矢川プラス館内の清掃活動および、ここすきひろばでの乳児との交流活動や矢川児童館での奉仕活動を行い、地域の中での関わり合いを生み出す活動を通じて、地域への愛着を育む機会を提供する。

【実施日】

2026(令和8)年2月16日(月)11:00~12:00/13:45~14:45

【実施場所】

くにたち未来共創拠点矢川プラス全館

【事業成果】

国立第六小学校の6年生全64名が奉仕活動を行った。内容としては、単に地域や館内の清掃活動のみを実施するのではなく、多世代が利用する矢川プラスの特徴を活かす形で、ここすきひろばや併設する矢川児童館と協力し、乳幼児の親子との交流や児童向けの企画会議に参加する活動を取り入れた。その結果、小学6年生にとっては、乳幼児を育てている親の姿勢や想いを身近に感じたり、自らが考えたアイデアが企画として後日実現したことへの喜びを感じたりする機会に繋がった。また清掃活動中には、スタッフとの交流や、他の利用者からの感謝や励ましの声掛けから、地域の中で役割をもって活動し力を発揮することの心地よさを感じている様子が伺えた。



⑧ユースワークにおける先進事例の視察

【視察目的】

矢川プラスにおいてユースワーク事業を展開していくに当たり、ユースを対象として探究的な取り組みの支援や居場所の提供を実施している先行事例を視察し、自主的かつ主体的にユースが利用するための環境構築と、スタッフの関わり方や取り組みについての知見を深め、当館事業の参考とする。

【視察内容】

ユースセンターや e-sports 特化型フリースクール、デジタルファブ리케이션を用いた創作活動を支援する拠点に視察を行い、ユースの活動を支援するための機器や、関わり方、運営上の工夫などに対する知見を深めた。

【視察日】

視察日時	視察先
2025（令和 7）年 5 月 20 日（火） 14:00～17:00	調布市青少年ステーション CAPS （東京都調布市）
2025（令和 7）年 5 月 21 日（水） 11:00～12:30	RE:VISION 立川 （東京都立川市）
2025（令和 7）年 5 月 29 日（木） 16:00～18:00	文京区青少年プラザ b-lab （東京都文京区）
2025（令和 7）年 6 月 27 日（金） 15:00～17:00	VIVISTOP 金沢 （石川県金沢市）
2025（令和 7）年 6 月 28 日（土） 13:30～15:30	ミミミラボ （石川県金沢市）

【視察成果】

視察では、施設の見学や、職員へのインタビューを実施した。特に、ユースと関わる上で大切にしている点や、運営上の工夫、課題と考えている点などを重点的に伺った。

共通して得られた視座として、ユースとの信頼関係を構築するには、ナナメの関係として積極的な関わりが不可欠であり、大きな企画よりも日々の声掛けが重要であること。また、ユースは揺らぐ存在であり、ユースワーカーは彼らの可能性を信じ、寄り添う存在であること。ユースが主体的な活動を発揮するには、ユースが環境に対してオーナーシップを持てるような仕組みづくりが重要であること等が挙げられる。

矢川プラスは地域にひらかれた場所であるため、様々な世代や背景を持つ人々が、それぞれの強みを生かしてユースの育ちに関わることが出来る点が、他施設と比較しても特徴的であると考えられる。

視察で得られた知見や実践は、一朝一夕で実現できるものではないものの、ユース企画を伴走支援する際の質問シートや掲示板機能の導入、フロアワークに取り組む姿勢などを実践に取り入れ、ユースとの関わりに活かすことができている。

3-5 矢川プラス外部視察の状況

①行政視察

日にち	視察者	人数
4月1日	青梅市長	1名
4月23日	多摩市協働推進室	7名
5月28日	多摩市公民館	4名
7月30日	相模原市生涯学習課	10名
8月19日	鎌倉市発達支援室	4名
11月7日	西東京市企画課	9名
11月11日	相模原市政策課（教育長、政策部長他）	7名
11月12日	神奈川県教育委員会	4名
12月3日	品川区こども育成課	7名
12月8日	東京都教育庁生涯学習課（区市町村家庭教育支援事業担当者）	30名
1月21日	愛知県小牧市教育委員会	7名
1月21日	三鷹市児童青少年課	2名
1月30日	大田区子育て支援課	6名
2月4日	府中市建築施設課	16名
合計	14団体	114名

②議会関係視察

日にち	視察者	人数
5月9日	香川県三豊市議会清風会（会派）	8名
5月17日	府中市議会議員他	11名
8月8日	長野県駒ヶ根市議会改進の会（会派）	2名
10月21日	福岡県筑紫野市議会文教福祉委員会（常任委員会）	9名
合計	4団体	30名

③保育・教育関係視察

日にち	視察者	人数
6月17日	ぐんま子育て支援センター連絡会	28名
7月26日	京都大学大学院工学研究科建築学専攻田路研究室	10名
7月30日	東京学芸大学教職大学院生	7名
11月4日	東京学芸大学（鉄矢教授）※学生と3自治体の教員等	16名
12月8日	調布市社会福祉事業団	10名
1月7日	青梅市保育園連合会	6名
2月2日	社会福祉法人後閑あさひ福祉会	15名
2月11日	横浜なないろの会	14名
合計	8団体	106名

④その他の視察

日にち	視察者	人数
8月29日	国分寺市民生児童委員会子育て支援部会	7名
10月8日	相模原市小山地区民生委員協議会	25名
2月8日	千葉県袖ヶ浦市青少年相談員連絡協議会【積雪のため中止】	—
3月23日	公益財団法人かわさき市民活動センター	11名
合計	4団体（うち1団体中止）	43名

※上記以外に職員が同行しない自由見学での来館団体が多数ありました

Ⅱ 拠点別事業報告

4 国立駅南口子育ち・子育て応援テラス拠点



4-1 国立駅南口子育て・子育て応援テラスの概要

(1) 施設の概要

項目	内容	
名 称	国立駅南口子育て・子育て応援テラス	
所 在 地	国立市中1丁目1番地の47	
開業年月日	2025（令和7）年7月1日	
休 館 日	○子育てひろば及び一時預かり室：毎週火曜日 ○交流・学習スペース，情報ストリート等：毎月第2・第4火曜日	
延床面積	約700㎡	
施設構成	子育てひろば	270㎡
	一時預かり室	55㎡
	交流・学習スペース	60㎡
	情報ストリート	155㎡
	その他（事務室，トイレ，倉庫等）	160㎡
	駐車場	5台
	駐輪場	30台
業務内容	④ 地域子育て支援拠点事業の運営業務 ⑤ 一時預かり室の運営業務 ⑥ 施設維持管理業務	

(2) 拠点内サービス区分の概要

サービス区分	内 容																
子育てひろば運営事業	地域子育て支援拠点事業の子育てひろばとして、0歳から就学前までの子どもと保護者が安心して遊び、相談でき、つながり育ちあう、まちに開かれた子育てひろばを運営。 ① ここすきひろば運営事業 ② 相談支援事業 ③ 情報発信事業 ④ 子育て支援講座事業 ⑤ 地域連携事業 ⑥ 施設維持管理事業																
一時預かり室運営事業	一時的に家庭での保育が困難となる場合等に、育児の心理的、身体的負担を軽減するとともに、孤立防止や育児不安の解消を図ることを目的に、保護者に代わって乳幼児の一時的な預かりを実施。 <table><tr><td>時間</td><td>1時間ごと4時間まで</td><td>予約</td><td>利用日の1か月前から</td></tr><tr><td>年齢</td><td>満1歳～就学前</td><td>キャンセル</td><td>前日正午まで取消可</td></tr><tr><td>定員</td><td>6人</td><td>食事</td><td>提供無し</td></tr><tr><td>料金</td><td>【市民】800円／時</td><td>減免</td><td>実施なし</td></tr></table> ※当法人からパートナー企業への業務委託により実施	時間	1時間ごと4時間まで	予約	利用日の1か月前から	年齢	満1歳～就学前	キャンセル	前日正午まで取消可	定員	6人	食事	提供無し	料金	【市民】800円／時	減免	実施なし
時間	1時間ごと4時間まで	予約	利用日の1か月前から														
年齢	満1歳～就学前	キャンセル	前日正午まで取消可														
定員	6人	食事	提供無し														
料金	【市民】800円／時	減免	実施なし														

4-2 子育てひろば運営事業

(1) ここすきひろばの運営

①ここすきひろば来所者の状況

国立駅南口子育て・子育て応援テラス内の子育てひろばここすきは、土日祝日を含め開室し、毎週火曜日を休業日としています。年間の利用者数について、市内・市外別、年齢別の状況は下記のとおりです。



月	営業 日数	新規 登録 者数	利用 組数	1日 平均 利用 組数	内訳（組数）		区分							
					市内	市外	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	6歳児 その他	
7月	26	204	2,854	109.8	2,510	344	514	805	563	362	306	249	55	
					87.9%	12.1%	18.0%	28.2%	19.7%	12.7%	10.7%	8.7%	1.9%	
8月	27	137	2,403	89.0	2,032	371	414	730	479	322	201	194	63	
					84.6%	15.4%	17.2%	30.4%	19.9%	13.4%	8.4%	8.1%	2.6%	
9月	25	162	2,296	91.8	1,815	481	418	719	446	263	224	182	44	
					79.1%	20.9%	18.2%	31.3%	19.4%	11.5%	9.8%	7.9%	1.9%	
10月	27	133	2,230	82.6	1,718	512	1,055	429	291	213	152	90	0	
					77.0%	23.0%	47.3%	19.2%	13.0%	9.6%	6.8%	4.0%	0.0%	
11月	26	72	1,906	73.3	1,512	394	925	373	237	178	116	77	0	
					79.3%	20.7%	48.5%	19.6%	12.4%	9.3%	6.1%	4.0%	0.0%	
12月	24	91	1,821	75.9	1,359	462	885	320	248	172	125	71	0	
					74.6%	25.4%	48.6%	17.6%	13.6%	9.4%	6.9%	3.9%	0.0%	
1月	24	69	1,967	82.0	1,526	441	951	361	293	187	110	65	0	
					77.6%	22.4%	48.3%	18.4%	14.9%	9.5%	5.6%	3.3%	0.0%	
2月	24	98	1,735	72.3	1,365	370	939	295	221	165	62	53	0	
					78.7%	21.3%	54.1%	17.0%	12.7%	9.5%	3.6%	3.1%	0.0%	
3月	26	88	1,965	75.6	1,551	414	1,086	301	266	158	96	58	0	
					78.9%	21.1%	55.3%	15.3%	13.5%	8.0%	4.9%	3.0%	0.0%	
合計	229	1,054	19,177	83.7	15,388	3,789	7,187	4,333	3,044	2,020	1,392	1,039	162	
					80.2%	19.8%	37.5%	22.6%	15.9%	10.5%	7.3%	5.4%	0.8%	

※7～9月は満年齢で集計



(2) 子育て支援講座等の実施

①ほっこり赤ちゃんひろば

【事業目的】

0歳児を育てる保護者を対象にふれあい遊び等を楽しむと共に、交流の場を提供し悩みの共有や情報交換を行う。

【事業内容】

乳児コーナーにて参加者で輪になり、ふれあい遊び・大型絵本を楽しむ。その後、自己紹介を行いフリートークの時間を設ける。

【実施日】

2026（令和8）年2月19日（木）10：30～11：00

【実施場所】

国立駅南口子育て・子育て応援テラス ここすきひろば 乳児コーナー

【事業成果】

親子でシフォン遊び等、一緒に歌を口ずさみながらスキンシップをはかる。後半のフリートークでは「離乳食について」「赤ちゃんとの遊び場」などの話題があがり、情報を共有し合う様子がみられた。

子どもたちは30分間終始ご機嫌で、イベント後も13時頃までほとんどの方が乳児コーナーで過ごした。母親同士が連絡先を自主的に交換する様子もみられ、国立テラスにおける初めての乳児向けイベントの開催を喜ぶ声が多数きかれた。

開催時間中は他の利用者が乳児コーナーを利用できないため、ウェルカムコーナーに乳児向けおもちゃを設置して対応した。

◆参加者数 8組16人



(3) 関係機関との連携

① えほんのじかん

【事業目的】

ここすきひろば利用者を対象に、国立市立図書館の読み聞かせボランティアによる乳幼児向けの絵本の読み聞かせ、及びふれあい遊び等を楽しむ。

【事業内容】

ここすきひろばの構成コーナーにて、絵本や大型絵本、ふれあい遊び、わらべうた等を通してたくさんのお話や唄にふれ、親子でゆったりとした安心感のあるふれあいの時間を過ごす。読んだ絵本は、閲覧用に次回開催日まで絵本棚に置く。

【実施日】

第1回 2026（令和8）年1月23日（金）11:00～11:20

第2回 2026（令和8）年2月27日（金）11:00～11:20

第3回 2026（令和8）年3月27日（金）11:00～11:20

【実施場所】

国立駅南口子育て・子育て応援テラス ここすきひろば 構成コーナー

【事業成果】

国立テラスでの初めての定期イベントでもあり、たくさんの方にお集まりいただいた。「えほんのじかん」のために来館される親子も多く、また開催前の声掛けにひろばで遊んでいる親子も集まり、絵本やふれあい遊びを楽しんだ。隣接している一時預かり「ひととき保育室」からも保育中の子どもがスタッフと共に参加し楽しむ様子がみられた。

図書館の読み聞かせボランティアは熟練度が高くプログラム構成も大変充実しており絵本の世界観を豊かに表現されることから、0歳児～大人まで幅広い年齢層に喜ばれている。また、ボランティアと利用者の多世代交流という面からも大変有意義なプログラムとなっている。

◆参加者数

第1回 32組 64名＋ひととき保育1組／第2回 18組 38名／第3回 17組 34名



②国立テラスにもジャックとダンディがやってくる！

【事業目的】

子どもたちを中心に、来館者に動物と親しむ機会を提供する。矢川プラスで同様のイベントを開催しており、多くの参加者から好評であったため、「リトルホースとふれあう会」の協力により開催した。

【事業内容】

リトルホースとふれあう会から、リトルホースのジャックとダンディに来てもらい、国立テラスの来館者と動物が触れ合う企画とした。

【実施日】

2026（令和8）年 1月18日（日）11:30～12:30

【実施場所】

国立駅南口子育て・子育て応援テラス 駐車場

【事業成果】

国立テラスに来館した多くの親子連れが、ジャックとダンディに触れたり写真撮影をしたりとふれあいを楽しんでおり、子どもたちのいきいきとした表情を見ることができた。

普段、つながるスペースやひろがるこみちで勉強している高校生が勉強の息抜きに参加してくれたり、国立駅へ向かう人々が興味を持って声をかけてくれたりすることも多かった。

国立テラスの存在を知らなかったという方にも本企画をきっかけに知っていただくことができ、施設の周知にもつながった。

◆参加者数 延べ 336 名



(4) 施設管理業務

①開業記念イベント

(ア) オープン記念トークイベント

6月24日、国立テラスのオープンを記念して、プレオープンイベント「私とここすきひろば『こんなひろばだといいな』」を開催しました。本イベントでは、国立テラス内のここすきひろばでスタッフによる見守り保育を行い、子ども連れでも安心して参加できる環境を整えたうえで、汐見理事長、細田館長、大豆生田所長、さらにここすきひろばに関わるゲストを迎え、クロストークを実施しました。



当日は、子どもたちの楽しそうな声が響く中、ここすきひろばの将来について多角的な視点から活発な議論が交わされました。イベントには子ども22人を含む計64人が参加し、YouTubeを活用して生配信およびアーカイブ配信も実施したことによって、より多くの方に視聴いただける環境を提供することができました。（アーカイブ視聴数は223回）

(イ) オープン記念式典

7月1日の開所日に、オープン記念式典を開催しました。当日は、国会議員、東京都議会議員、市議会議員、JR東日本関係者、市内幼児教育施設関係者の皆様をはじめ、多くのご来賓にご参列いただき、大変盛況のうちに執り行うことができました。

式典では、ご来賓の皆様から温かいご祝辞を頂戴したほか、JR東日本都市開発株式会社より寄贈いただいた、ここすきひろばで使用する書籍（200冊）の贈呈式も実施しました。



②施設来館者の状況

月	開館日数	施設全体 延べ来館者数	施設全体 1日平均
7月	28日	11,506人	410人
8月	29日	11,115人	383人
9月	28日	10,853人	388人
10月	29日	12,247人	422人
11月	28日	11,812人	422人
12月	26日	9,893人	381人
1月	26日	10,532人	405人
2月	26日	10,955人	421人
3月	29日	10,088人	348人
合計	249日	99,001人	398人

③夜間利用者の状況

(ア) ひろがるこみち

時間帯	17時台			18時台			19時台			20時台			21時台		
月	合計 人数	区分	人数	合計 人数	区分	人数	合計 人数	区分	人数	合計 人数	区分	人数	合計 人数	区分	人数
7月	189	小学生以下	5	182	小学生以下	5	142	小学生以下	0	123	小学生以下	0	100	小学生以下	1
		中学生	135		中学生	134		中学生	96		中学生	73		中学生	53
		大人	49		大人	43		大人	46		大人	50		大人	46
8月	217	小学生以下	7	203	小学生以下	6	163	小学生以下	2	141	小学生以下	1	112	小学生以下	1
		中学生	158		中学生	149		中学生	110		中学生	84		中学生	61
		大人	52		大人	48		大人	51		大人	56		大人	50
9月	198	小学生以下	6	187	小学生以下	5	152	小学生以下	2	134	小学生以下	1	107	小学生以下	1
		中学生	142		中学生	136		中学生	101		中学生	79		中学生	58
		大人	50		大人	46		大人	49		大人	54		大人	48
10月	194	小学生以下	5	183	小学生以下	4	150	小学生以下	2	132	小学生以下	1	103	小学生以下	1
		中学生	138		中学生	132		中学生	98		中学生	76		中学生	55
		大人	51		大人	47		大人	50		大人	55		大人	47
11月	186	小学生以下	4	178	小学生以下	4	147	小学生以下	2	130	小学生以下	1	103	小学生以下	1
		中学生	130		中学生	126		中学生	94		中学生	73		中学生	54
		大人	52		大人	48		大人	51		大人	56		大人	48
12月	180	小学生以下	3	172	小学生以下	3	143	小学生以下	1	128	小学生以下	1	102	小学生以下	1
		中学生	124		中学生	120		中学生	90		中学生	70		中学生	52
		大人	53		大人	49		大人	52		大人	57		大人	49
1月	184	小学生以下	4	175	小学生以下	4	145	小学生以下	2	129	小学生以下	1	102	小学生以下	1
		中学生	128		中学生	123		中学生	92		中学生	72		中学生	53
		大人	52		大人	48		大人	51		大人	56		大人	48
2月	181	小学生以下	4	172	小学生以下	4	142	小学生以下	2	126	小学生以下	1	100	小学生以下	1
		中学生	126		中学生	121		中学生	90		中学生	70		中学生	52
		大人	51		大人	47		大人	50		大人	55		大人	47
3月	189	小学生以下	5	181	小学生以下	5	148	小学生以下	2	131	小学生以下	1	103	小学生以下	1
		中学生	132		中学生	128		中学生	95		中学生	74		中学生	54
		大人	52		大人	48		大人	51		大人	56		大人	48
合計	1,718	小学生以下	43	1,633	小学生以下	40	1,332	小学生以下	15	1,174	小学生以下	8	932	小学生以下	9
		中学生	1,213		中学生	1,169		中学生	866		中学生	671		中学生	492
		大人	462		大人	424		大人	451		大人	495		大人	431
月平均	191	小学生以下	4.8	181	小学生以下	4.4	148	小学生以下	1.7	130	小学生以下	0.9	104	小学生以下	1.0
		中学生	134.8		中学生	129.9		中学生	96.2		中学生	74.6		中学生	54.7
		大人	51.3		大人	47.1		大人	50.1		大人	55.0		大人	47.9



(イ) つながるスペース

時間帯	17時台			18時台			19時台			20時台			21時台		
月	合計 人数	区分	人数	合計 人数	区分	人数	合計 人数	区分	人数	合計 人数	区分	人数	合計 人数	区分	人数
7月	158	小学生以下	13	137	小学生以下	3	119	小学生以下	1	96	小学生以下	3	63	小学生以下	1
		中高生	108		中高生	110		中高生	86		中高生	58		中高生	44
		大人	37		大人	24		大人	32		大人	35		大人	18
8月	180	小学生以下	18	152	小学生以下	5	133	小学生以下	2	105	小学生以下	4	72	小学生以下	2
		中高生	121		中高生	118		中高生	97		中高生	63		中高生	49
		大人	41		大人	29		大人	34		大人	38		大人	21
9月	169	小学生以下	15	143	小学生以下	4	127	小学生以下	2	100	小学生以下	3	67	小学生以下	1
		中高生	115		中高生	111		中高生	92		中高生	61		中高生	46
		大人	39		大人	28		大人	33		大人	36		大人	20
10月	164	小学生以下	14	139	小学生以下	4	125	小学生以下	2	100	小学生以下	3	65	小学生以下	1
		中高生	112		中高生	108		中高生	90		中高生	60		中高生	45
		大人	38		大人	27		大人	33		大人	37		大人	19
11月	159	小学生以下	12	135	小学生以下	3	122	小学生以下	2	97	小学生以下	3	65	小学生以下	1
		中高生	108		中高生	104		中高生	87		中高生	58		中高生	44
		大人	39		大人	28		大人	33		大人	36		大人	20
12月	154	小学生以下	11	131	小学生以下	3	90	小学生以下	2	96	小学生以下	3	65	小学生以下	1
		中高生	102		中高生	99		中高生	54		中高生	56		中高生	43
		大人	41		大人	29		大人	34		大人	37		大人	21
1月	157	小学生以下	12	132	小学生以下	3	121	小学生以下	2	96	小学生以下	3	65	小学生以下	1
		中高生	105		中高生	101		中高生	86		中高生	57		中高生	44
		大人	40		大人	28		大人	33		大人	36		大人	20
2月	153	小学生以下	11	129	小学生以下	3	118	小学生以下	2	94	小学生以下	3	64	小学生以下	1
		中高生	103		中高生	99		中高生	84		中高生	56		中高生	43
		大人	39		大人	27		大人	32		大人	35		大人	20
3月	161	小学生以下	13	136	小学生以下	4	123	小学生以下	2	97	小学生以下	3	65	小学生以下	1
		中高生	108		中高生	104		中高生	88		中高生	58		中高生	44
		大人	40		大人	28		大人	33		大人	36		大人	20
合計	1,455	小学生以下	119	1,234	小学生以下	32	1,078	小学生以下	17	881	小学生以下	28	591	小学生以下	10
		中高生	982		中高生	954		中高生	764		中高生	527		中高生	402
		大人	354		大人	248		大人	297		大人	326		大人	179
月平均	162	小学生以下	13.2	137	小学生以下	3.6	120	小学生以下	1.9	98	小学生以下	3.1	66	小学生以下	1.1
		中高生	109.1		中高生	106.0		中高生	84.9		中高生	58.6		中高生	44.7
		大人	39.3		大人	27.6		大人	33.0		大人	36.2		大人	19.9



④利用者からの意見

(ア) 意見箱

月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
枚数	16	1	4	6	6	6	2	1	2	44

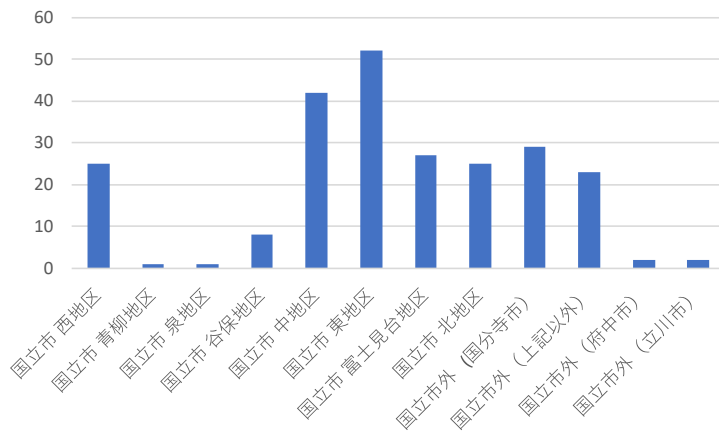
項目	主な意見内容
利便性向上	時計、ごみ箱の設置。トイレに荷物かけの設置。充電器の貸出。オートバイ用駐輪場の設置。Free Wi-Fi の速度向上。親子連れ専用席の設置。
市外在住者の利用制限緩和	市外在住者のひととき保育室の利用。市外利用者のここすきひろばの予約枠拡大、土日利用の開始。
騒音	イスを倒したり、走ったりしている。自習をせず騒がしい。勉強に集中できない。
感謝・感想	楽しかった。気に入っている。優しい対応。清潔感がある。ルールが厳格化していないところが素敵。
本や玩具の充実	児童向けの本、ボードゲーム、新聞

(イ) 利用者満足度調査

1月から2月にかけての1ヶ月間、国立テラス来館者に対し、満足度に関するアンケートを実施いたしました。「非常に満足」「満足」を合算した総合満足度は80.7%です。アンケートの詳細な結果については、以下のとおりです。

国立テラス利用者 満足度アンケート 平素より国立駅南口子育て・子育て応援テラスの運営に對しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。 さて、当施設は昨年7月にオープンし、半年が経過いたしました。今日まで乳幼児から高齢者の方まで幅広い年代の方にお越しいただいております。当施設では、サービスの向上と改善に向けた取組といたしまして、施設をご利用いただく皆様からの声を大事にし、施設運営に生かしてまいりたいと考えております。 つきましては、当施設をご利用いただいた際の感想等をお聞かせいただけたら、幸いです。 1. <u>あなたのお住まいの地域に○をつけてください。</u> ・市内（北・東・中・西・富士見台・谷保・矢川・青柳・東・石田） ・市外（国分寺市・立川市・府中市・日野市・その他） 2. <u>あなたの年齢層を教えてください。</u> 【10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代以上】 3. <u>利用した施設を教えてください。（複数選択可能）</u> ・ここすきひろば ・ひととき保育室 ・つながるスペース ・ひろがるこみち 4. <u>この施設の設備や道具の充実度について、どの程度満足していますか？</u> （例：①道具の数・バラエティ、②メンテナンスの状況、③利用者のニーズ・要望に 応えているか など） 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】 5. <u>この施設のアクセシビリティ（利用しやすさ）について、どの程度満足していますか？</u> （例：①施設への交通アクセス、②車椅子・ベビーカーを利用する際のバリアフリー設備、 ③館内案内表示の提示など） 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】 6. <u>この施設の安全性やセキュリティについて、どの程度満足していますか？</u> （例：①点検箇所等への警告・注意の表示、②利用者同士のトラブルへの対応、③紛失物 への対応 など） 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】 7. <u>インターネットやWi-Fiの利用状況や品質について、どの程度満足していますか？</u> （例：①Wi-Fiの速度・安定性、②接続の容易さ、③制限・制約 など） 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】 8. <u>施設環境や景観について、どの程度満足していますか？</u> （例：①施設の清潔状況・清潔さ、②館内掲示物の見やすさ など） 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】 裏面にお読みください	9. <u>この施設の飲食に関することについて、どの程度満足していますか？</u> （例：①飲食スペースの清潔さ・快適さ、②設備の充実 など） 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】 10. <u>この施設のスタッフの対応やサービスについて、どの程度満足していますか？</u> （例：①親切さ・礼儀正しさ、②適切な声掛け・情報提供、③迅速な対応など） 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】 11. <u>利用者同士の交流やコミュニティ形成の支援について、どの程度満足していますか？</u> （例：①つながるスペースやひろがるこみちが交流スペースとして十分に活用されているか、 ②利用者同士がコミュニケーションを取りやすい環境が整っているか など） 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】 12. <u>イベントやプログラムの情報提供や広報活動について、どの程度満足していますか？</u> （例：①分かりやすさ、②広報媒体の種類・周知方法、③イベント参加方法や施設利用方法の 分かりやすさ など） 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】 13. <u>施設の改善点や希望する新たなサービス・プログラムに関する意見や提案</u> <u>（意見やご提案などございましたら、ご記入ください）</u> _____ _____ _____ ご協力ありがとうございました。  国立駅南口 子育て・子育て応援テラス
--	---

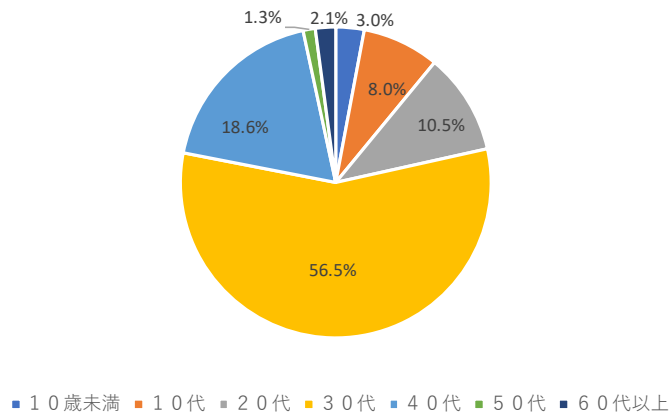
1. 居住地



国立市 西地区	25	10.5%
国立市 青柳地区	1	0.4%
国立市 泉地区	1	0.4%
国立市 谷保地区	8	3.4%
国立市 中地区	42	17.7%
国立市 東地区	52	21.9%
国立市 富士見台地区	27	11.4%
国立市 北地区	25	10.5%
国立市外 (国分寺市)	29	12.2%
国立市外 (上記以外)	23	9.7%
国立市外 (府中市)	2	0.8%
国立市外 (立川市)	2	0.8%
総計	237	100%

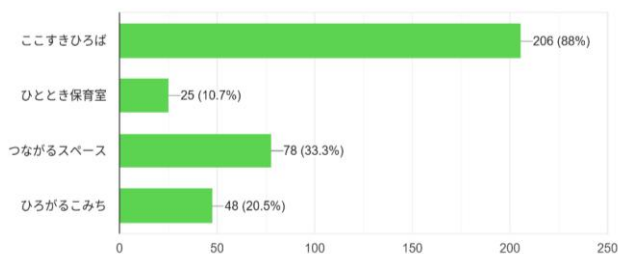
※割合は、小数点第2位以下を四捨五入したため、合計は必ずしも100%にならない。

2. 年齢層



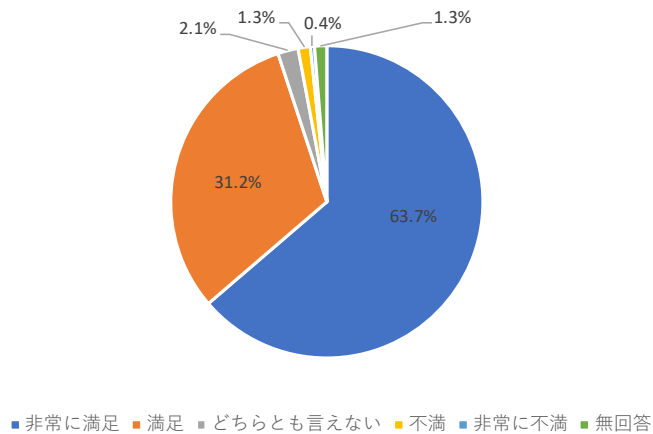
10歳未満	7	3.0%
10代	19	8.0%
20代	25	10.5%
30代	134	56.5%
40代	44	18.6%
50代	3	1.3%
60代以上	5	2.1%
総計	237	100%

3. 利用した施設



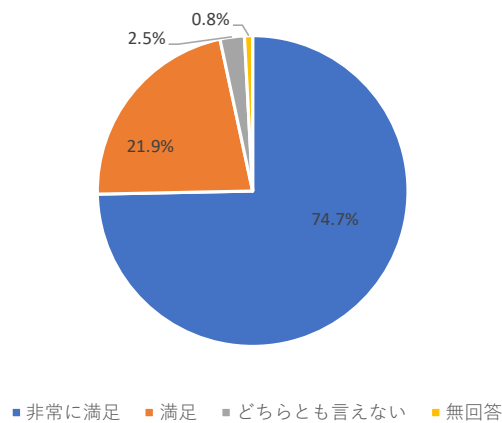
ここすきひろば	206
ひととき保育室	25
つながるスペース	78
ひろがるこみち	48

4. 設備や遊具の充実度



非常に満足	151	63.7%
満足	74	31.2%
どちらとも言えない	5	2.1%
不満	3	1.3%
非常に不満	1	0.4%
無回答	3	1.3%
総計	237	100%

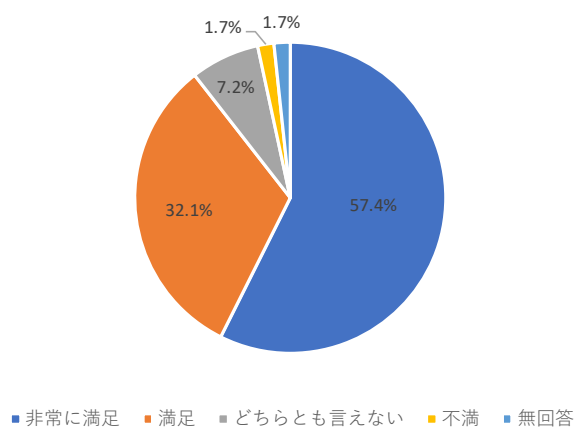
5. アクセシビリティ（利用しやすさ）



非常に満足	177	74.7%
満足	52	21.9%
どちらとも言えない	6	2.5%
無回答	2	0.8%
総計	237	100%

※割合は、小数点第2位以下を四捨五入したため、合計は必ずしも100%にならない。

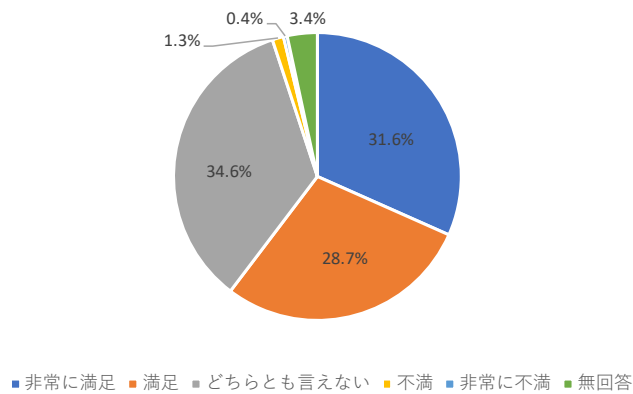
6. 安全性やセキュリティ



非常に満足	136	57.4%
満足	76	32.1%
どちらとも言えない	17	7.2%
不満	4	1.7%
無回答	4	1.7%
総計	237	100%

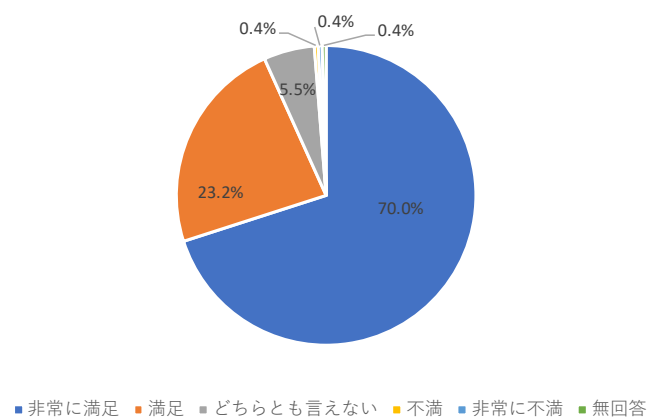
※割合は、小数点第2位以下を四捨五入したため、合計は必ずしも100%にならない。

7. ネットやWi-Fiの利用状況や品質



非常に満足	75	31.6%
満足	68	28.7%
どちらとも言えない	82	34.6%
不満	3	1.3%
非常に不満	1	0.4%
無回答	8	3.4%
総計	237	100%

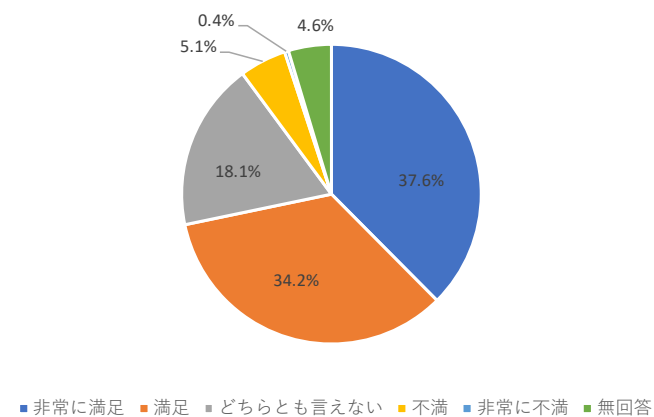
8. 施設環境や景観



非常に満足	166	70.0%
満足	55	23.2%
どちらとも言えない	13	5.5%
不満	1	0.4%
非常に不満	1	0.4%
無回答	1	0.4%
総計	237	100%

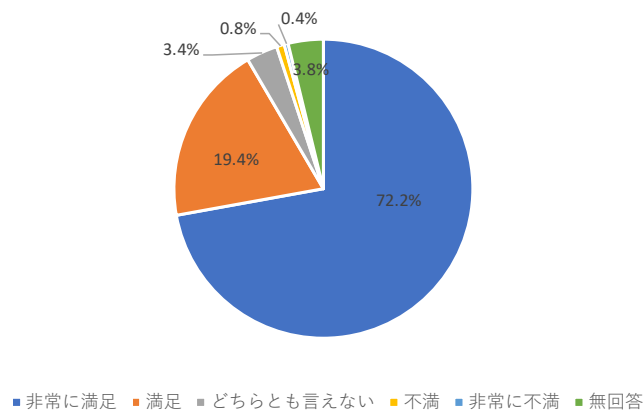
※割合は、小数点第2位以下を四捨五入したため、合計は必ずしも100%にならない。

9. 飲食に関すること



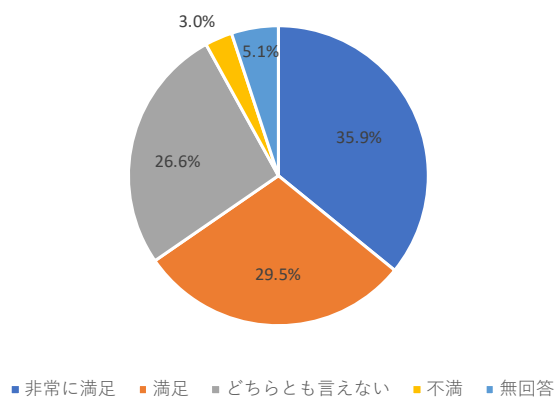
非常に満足	89	37.6%
満足	81	34.2%
どちらとも言えない	43	18.1%
不満	12	5.1%
非常に不満	1	0.4%
無回答	11	4.6%
総計	237	100%

10. スタッフの対応やサービス



非常に満足	171	72.2%
満足	46	19.4%
どちらとも言えない	8	3.4%
不満	2	0.8%
非常に不満	1	0.4%
無回答	9	3.8%
総計	237	100%

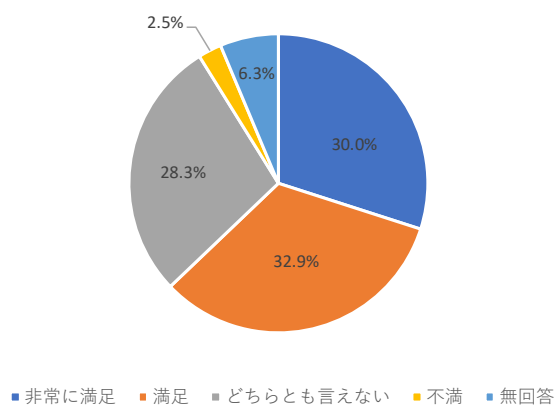
11. 利用者同士の交流やコミュニティ形成の支援



非常に満足	85	35.9%
満足	70	29.5%
どちらとも言えない	63	26.6%
不満	7	3.0%
無回答	12	5.1%
総計	237	100%

※割合は、小数点第2位以下を四捨五入したため、合計は必ずしも100%にならない。

12. プログラムの情報提供や広報活動



非常に満足	71	30.0%
満足	78	32.9%
どちらとも言えない	67	28.3%
不満	6	2.5%
無回答	15	6.3%
総計	237	100%

⑤ 駐車場・駐輪場の運営

設備機器の設置遅延により、施設開館から約 1 ヶ月後の 2025 年 8 月 9 日より稼働を開始しました。

現状では、収容台数（駐車場 5 台・駐輪場 28 台）を大きく超えることはなく、安定した運営ができています。平均稼働率は 10% 程度に留まるものの、施設利用者にとって快適に利用できる環境となっています。

利用料金の支払いにあたっては、現金の他、キャッシュレス決済も利用することができ、売上についてはすべて国立市の歳入となっています。

【駐車場】

月	利用台数	減免台数
8月	109	71
9月	167	103
10月	159	85
11月	164	76
12月	162	92
1月	157	98
2月	181	126
3月	166	98
合計	1,265	749

【駐輪場】

月	利用台数	減免台数
8月	532	315
9月	702	399
10月	768	363
11月	804	304
12月	644	302
1月	669	318
2月	637	277
3月	840	366
合計	5,596	2,644



4-3 一時預かり室運営事業

(1) ひととき保育室の運営

①事業概要

一時的に家庭での保育が困難となる場合等に、保護者に代わって乳幼児の一時的な預かりを実施することにより、保護者の育児にかかる心理的・身体的負担を軽減するとともに、保護者とのコミュニケーションを通じて子育て家庭の孤立防止や育児不安軽減等、子育て支援の充実に図ること、また、子どもたち一人ひとりが、多様な他者との関わりの中での様々な体験や経験を通じて健やかに成長できる環境を整え、子どもが持つ「みずから育つ力」を引き出せるよう適切な援助を行うことで、子どもの育ちを支えていくことを目的とする一時預かり室を運営する事業。

項目	内容
預かり時間	最長 4 時間／1 時間単位
預かり年齢	満 1 歳児から未就学児まで
定 員	6 人
利 用 料 金	1 時間あたり 800 円
予 約 開 始	利用日の 1 か月前
キャンセル	前日正午まで取消可。 以降は利用料を 100%徴収
食事提供	実施なし
減免措置	実施なし



②利用者の状況

月	営業 日数	新規 登録 者数	延べ 利用 時間数	延べ 利用 児童数	内訳（年齢）					
					0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
7月	26	222	205	73	15	37	10	3	7	1
8月	27	43	296	93	24	29	25	5	9	1
9月	25	46	355	113	34	25	28	6	17	3
10月	27	27	258	84	33	27	9	6	9	0
11月	26	35	402	125	43	38	27	7	8	2
12月	24	21	362	114	40	24	30	7	6	7
1月	24	28	347	110	55	29	14	6	5	1
2月	24	20	388	124	59	37	22	5	1	0
3月	26	40	362	114	57	31	13	7	5	1
合計	229	482	2,975	950	360	277	178	52	67	16

社会福祉法人 くにたち子どもの夢・未来事業団
2025（令和 7）年度事業報告書

作成日 2026（令和 8）年 5 月 10 日

作成者 社会福祉法人 くにたち子どもの夢・未来事業団 法人経営室
〒186-0003

東京都国立市富士見台 4 丁目 17 番地の 65

TEL 042-505-6226



Kunitachi
Kodomo no
Yume Mirai



「国立市権利擁護支援推進計画（案）」の概要

令和 8 年第 3 回定例会
福祉保険委員会資料 No. 23
令和 8 年 9 月 9 日

計画の概要・策定経過

- 本人の意思を尊重する支援を必要とする人も含めた地域で暮らす全ての人が、一人一人がかけがえのない存在であることを認め合い、住み慣れた地域で自律的に暮らしていくことができる社会を目指すための計画。市の現状や課題、計画期間（2026（令和 8）年度～2030（令和 12）年度）で重点的に実施する施策等を明記。
- 計画策定に向けた協議を行うため、学識経験者や弁護士、司法書士、社会福祉士、社会福祉法人等の職員、介護保険被保険者、しょうがい当事者及びその関係者、公募市民で構成される国立市権利擁護支援審議会を設置。11 回（2024（令和 6）年 8 月～2026（令和 8）年 7 月）の会議を開催し、計画内容の協議を行った。

第 1 章 計画策定にあたって（P. 1～P. 19）

わたしの意思を尊重するために大切にしてほしいこと

- ・ 誰でもみんな意思があります。わたしにも意思があります。わたしの意思を大事にしてください。
- ・ わたしの意思を理解してほしいので、時間をかけてお互いを知り合ってください。
- ・ わたしの意思が分からないときは、できる限り色々な方法でわたしの意思を理解し、そして尊重してください。わたしが意思を伝えられないときでも、わたしの想いをよく知る人を通じてわたしの意思を知ろうとしてください。
- ・ わたしには、地域の中でいろいろな人と生きていく権利があります。わたしのことはわたしが決めます。わたし抜きで、わたしのことを決めないでください。
- ・ あなたにはおかしいこと、良くないことと思えるものであったとしても、わたしに自分のことを決める力がないと決めつけしないでください。わたしには、意思が尊重される権利があります。一度決めた意思を変える権利もあります。
- ・ わたしは人の説明を参考にして意思を決めることもできます。支援を受けて決めた意思も、わたしの意思です。
- ・ わたしが自分のことを決めるためには、練習や経験が必要です。決める経験を多くすることで、もっと自分で決めることができるようになります。
- ・ わたしの人生をわたしとして生きる。

1-1 計画策定の趣旨

本人の意思を尊重する支援を必要とする人も含めた地域で暮らす全ての人が、基本的人権を享有する個人として尊重され、私たち一人一人がかけがえのない存在であることを認め合い、住み慣れた地域で自律的に暮らしていくことができる社会を目指すために計画を策定。

1-2 計画の背景

1-3 計画の位置付け

国立市総合基本計画における基本理念や重点項目、基本施策を踏まえ、意思を決定したり表明したりすることに困難を抱える方を支援し、本人を中心とした支援体制を整備するための計画であり、成年後見制度の利用の促進に関する法律第 14 条に規定する市町村による成年後見制度利用促進基本計画を包含する計画。

1-4 計画の期間

2026（令和 8）年度から 2030（令和 12）年度の 5 年間

1-5 計画策定の体系

国立市権利擁護支援審議会において協議を行い、市内事業所や専門職にアンケートを実施するとともに、当事者へのヒアリングを実施。また、パブリックコメントを実施し、市民の意見を募集。

1-6 持続可能な開発目標（SDGs）

基本目標に関連する SDGs のゴールを定め、施策を展開。

第 2 章 計画の基本的な考え方（P. 20～22）

2-1 計画の基本理念

国立市第三次地域福祉計画の基本理念を基本理念として、意思決定支援をはじめとする権利擁護支援の体制整備等を実施。

《だれもがあたりまえに暮らせるまちをつくる》

2-2 計画の基本施策

基本理念の実現に向けて、4 つの基本施策を設定

基本施策 1 当事者が自らの価値観で意思決定できる環境づくり

基本施策 2 権利擁護支援施策の展開

基本施策 3 権利擁護を支える地域連携ネットワークと中核機関の整備

基本施策 4 成年後見制度の普及啓発と適切な利用へのつなぎ

第3章 施策の展開 (P. 23～27)

各「基本施策」に「個別施策」を設定。

- 基本施策1 当事者が自らの価値観で意思決定できる環境づくり
 - 《個別施策1》本人の意思形成、意思表明、意思実現のための取組の促進
 - 《個別施策2》当事者が意思決定できる環境整備の調査研究
 - 《個別施策3》意思決定支援普及リーダー養成研修の実施
 - 《個別施策4》意思決定支援の充実・普及
- 基本施策2 権利擁護支援施策の展開
 - 《個別施策1》身寄りのない方への総合的な権利擁護支援の検討
 - 《個別施策2》終活支援の調査研究
 - 《個別施策3》住まいに関する総合的な支援の充実
 - 《個別施策4》日常生活自立支援事業の充実
 - 《個別施策5》虐待防止に関する取り組みの充実
 - 《個別施策6》消費者被害への対応の検討
- 基本施策3 権利擁護を支える地域連携ネットワークと中核機関の整備
 - 《個別施策1》各機関とのネットワーク構築の推進
 - 《個別施策2》他機関との連携（医療機関、金融機関等）
 - 《個別施策3》権利擁護支援チームへの支援の充実（チーム形成支援・チーム自立支援・後見人等支援）
 - 《個別施策4》権利擁護の相談支援機能の充実
 - 《個別施策5》中核機関の設置
 - 《個別施策6》協議会の設置及び運営
 - 《個別施策7》市民後見人の養成・育成
 - 《個別施策8》市民後見人養成講座修了者の活躍の場の提供
- 基本施策4 成年後見制度の普及啓発と適切な利用へのつなぎ
 - 《個別施策1》権利擁護・成年後見制度の普及啓発
 - 《個別施策2》法人後見の推進
 - 《個別施策3》権利擁護における支援検討会議の実施
 - 《個別施策4》所得や財産が少ない方への報酬助成の充実（利用支援事業）

第4章 計画の推進体制と進行管理 (P. 28)

4-1 計画の周知

4-2 計画の進捗管理・評価

計画を推進していく上で、計画に沿って施策が着実に実施されているか確認するため、計画の推進及び進捗管理を行い、毎年度、前年度の実施状況について確認。

スケジュール

8月 庁議付議

9月 福祉保険委員会に計画（案）を報告

10月 計画決定

国立市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例案について
国立市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例等の一部を改正する条例案について
国立市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例案について

1. 条例改正の目的

- (1) 国の基準改正により、満3歳以上限定小規模保育事業が創設されたため、条例の規定を改正するもの。
- (2) 国の基準改正により、理学療法士等を1人に限り職員配置基準に算定することができる規定が追加されることに伴い、条例の規定を改正するもの。
- (3) 国の基準改正により、3歳児の職員配置基準に関わる経過措置の期限が明示されたことに伴い、改正付則を改正するもの。
- (4) 「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」の施行に伴い、条例に規定を追加するもの

2. 改正内容

(1) 満3歳以上限定小規模保育事業の創設について

①改正の概要

国家戦略特区において実証実験が行われていた満3歳以上限定小規模保育事業について、児童福祉法が改正され全国で制度化されることとなった。近年、発達等に特性のある児童が増えている中で、3～5歳児においても、大規模なクラスではなく、少人数での保育が可能となる小規模保育事業が、多様な特性に応じた保育の選択肢を確保することに資するとの判断から、条例改正を行うものである。なお、第三期国立市子ども・子育て支援事業計画における量の見込みにおいては、保育の量については充足できていることから新たな保育施設整備は予定していないところではあるが、今後保育施設が定員を調整する中での選択肢として条例に位置付ける必要がある。

項目	従来の小規模保育事業	【新設】満3歳以上限定小規模保育事業
対象年齢	0歳～小学校就学前（国立市内の施設は、0～2歳児施設のみ）	満3歳以上～小学校就学前（3～5歳児）
利用定員	6人以上19人以下	6人以上19人以下（従来と同規模）
連携保育	①保育内容支援②代替保育③卒園後の受皿	①保育内容支援②代替保育

②改正する条例

- ・ 国立市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例
- ・ 国立市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例

（２）理学療法士等が職員配置基準に算定されることについて

①改正の概要

保育所等におけるしょうがいのある子どもや医療的ケア児の受入れは増加しており、多様なニーズを抱えた子どもについて、インクルージョンの観点から保育所等の受入れを推進するとともに、ニーズに応じた専門的な支援の確保・充実が必要なことから、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理職等（以下「理学療法士等」という。）の専門職の活用を進め、保育所等における専門的支援やインクルージョンを推進することとされた。

本改正により、保育所における保育士の数の算定に当たって、当該保育所に勤務する理学療法士等を１人に限り保育士とみなすことができるようになる。ただし、当該理学療法士等が保育を行うに当たっては、当該保育所の保育士による支援を受けることができる体制を確保しなければならない。

②改正する条例

- ・ 国立市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例

（３）３歳児の職員配置基準に関わる経過措置の期限の明示について

①改正の概要

小規模保育事業所Ａ型等については、満３歳以上満４歳未満の園児おおむね２０人につき１人以上の職員を置くこととされているところを、おおむね１５人につき１人以上とするよう改め、当分の間、なお従前の例によることができることとする経過措置を設けていたが、当該経過措置の期限が令和１０年３月３１日までと明示されたことから、改正付則を改正する。なお、市内の該当施設は２歳児までの園となっているため、本改正による市内施設への直接的な影響はない。

②改正する条例

- ・ 国立市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例（令和６年７月国立市条例第２２号）

(4)「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」の施行に伴う事業者の義務について

①改正の概要

同法の施行に伴い、児童等に教育・保育等を提供する事業者に対し、「児童対象性暴力等の防止」及び「児童対象性暴力等が行われた場合における利用乳幼児の適切な保護」のため、児童等対象業務従事者の犯罪事実確認その他の措置の実施が義務付けられる。

■義務事業者…学校・幼稚園・認可保育所・認定こども園・小規模保育施設・児童福祉施設など（同法第2条第3項に定める「学校設置者等」）

■認定事業者…認可外保育所・学童・学習塾・スポーツクラブなど（同法第2条第5項に定める「民間教育保育等事業者」）

市が認可権限を持つ、家庭的保育事業者等及び乳児等通園支援事業者に対し、必要な措置を義務付ける規定を新設する。

②改正する条例

- ・国立市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例
- ・国立市乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例

3. 施行期日

公布の日から施行する。ただし、(4)「学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律」の施行に伴う事業者の義務については、令和8年12月25日から施行する。

以上

組織改正の検討状況について

1. 経過

- 令和 8 年 5 月 組織改正方針の決定、部長ヒアリング・課長向け書面調査・庁内アンケートの実施
7 月 組織改正検討委員会の実施（第 1 回及び第 2 回）
8 月 第 3 回組織改正検討委員会の実施
9 月 令和 8 年国立市議会第 3 回定例会各委員会に、組織改正の検討状況を報告

2. 組織改正の目的

令和 8 年 3 月に第 5 期基本構想第 3 次基本計画が策定され、今後 4 年間で実現すべき目標、市政運営で重視すべき視点、重点項目等が明らかとなった。ついては、これらを効果的・効率的に推進するために適した組織とするよう組織改正を行うもの。

3. 組織改正の視点

- （1）第 5 期基本構想第 3 次基本計画に定める事項や社会情勢の変化に対応できる組織とすること。
- （2）細分化しすぎず、簡素で効率的な組織とすること。
- （3）あらゆる職員が働きやすい組織とすること。
- （4）市民に分かりやすい（市民が利用しやすい）組織とすること。
- （5）様々な課題に対して組織横断的に対応できる組織とすること。
- （6）「職員定数及び時間外勤務時間数の適正化計画」と整合の取れた組織とすること。

4. 主な検討項目及び検討状況

(1) 公共施設再編に向けた担当組織の検討

公共施設再編を含めた公共施設マネジメントを推進していくため、政策経営部政策経営課資産活用担当を増員し、(仮称)公共施設マネジメント課を組織することについて検討している。

(2) 自治体 DX の推進

更なる自治体 DX の推進に向けて、その推進体制について検討している。

(3) 建築営繕課の移管

公共施設の整備においては、周辺道路や景観等を含めた検討が必要であるとの議論もあることから、行政管理部建築営繕課の組織上の位置付けを検討している。

(4) 新たな人事制度に基づく職員課の再編

職員の働き方改革の推進、会計年度任用職員の月給制・異動の導入等に対応するため、現状2系の体制となっている行政管理部職員課を、3系体制とすることについて検討している。

(5) 防災安全課の移管

防災の強化に向けては、地域との連携が重要であることから、行政管理部防災安全課の組織上の位置付けを検討している。

(6) 新たな部の設置

市民にとって分かりやすい組織とするため、市民手続を主として行う部署をまとめた部を組織することについて検討している。

(7) 市民サービス向上の推進

駅前市民プラザにおけるマイナンバー関連手続の実施に向けて、他自治体の取組なども参考に、必要な対応策を検討している。

(8) 産業、観光分野の強化

産業・観光強化に向けて、まちの振興課に(仮称)商工振興担当課長を配置することについて検討している。

(9) 国立駅南口駅前広場整備が完了に近づくことによる国立駅周辺整備課の再編

令和9年度以降において、国立駅南口駅前広場の具体的な整備工事を行うことから、都市整備部国立駅周辺整備課を解消するとともに、国立駅南口駅前広場の活用に関する所管部署については、旧国立駅舎との一体的な活用を踏まえた組織の在り方について検討している。

(10) 南武線連続立体交差事業に伴う周辺地域整備の推進

南武線連続立体交差事業に伴い、進捗管理が求められる用地取得に対応していく必要があることから、南部地域まちづくり課用地担当を増員し、(仮称)用地係を組織することを検討している。

(11) 農業振興の強化

農業振興の強化に向けて、都市整備部南部地域まちづくり課農業振興係を独立した組織とし、(仮称)農業振興課を組織するとともに、水路関係事務を一括して管理するための組織の在り方について検討している。

(12) 健康・つながりのまちづくりの推進

健康まちづくり戦略室において、引き続き具体的な健康づくり事業を推進するとともに、生活福祉や地域包括ケアの更なる推進に向けて、健康福祉部福祉総務課庶務係及び相談保護係、健康福祉部高齢者支援課地域包括支援センターを独立した組織とし、健康福祉部に(仮称)生活福祉課、(仮称)地域包括ケア推進課を組織することについて検討している。

※部・課・係の名称変更や事務の移管等、上記項目にない事項についても、必要に応じて対応を行う。

5. 今後のスケジュール (予定)

令和8年10月	組織改正案を庁議決定
12月	市議会へ組織条例改正案及び補正予算案の提案
令和9年4月	組織改正実施

以 上